

東北地区 大学図書館協議會誌

第 72 号
令和 3 年 5 月



弘前大学附属図書館

寄稿 Stay connected with your library! コロナ禍の大学図書館利用活性化と今後の展望について	1
令和 3 年 2 月 1 3 日発生の福島県沖地震の被害・復旧状況について	6
第 75 回東北地区大学図書館協議會總會	25
日程	25
總會資料	26
總會議事メモ	89
図書館統計年報	90
東北地区大学図書館協議會總會当番地区・当番大学	93
東北地区大学図書館協議會役員館一覧	94
東北地区大学図書館協議會會則等	95
東北地区大学図書館協議會加盟館及び職員名簿一覧	106

寄稿

Stay connected with your library!

コロナ禍の大学図書館利用活性化と今後の展望について

国際教養大学 中嶋記念図書館 専門職員
相場 洋子

はじめに

2020年度もほぼ終わろうとしている今、まだまだ新型コロナウイルスパンデミックによる被害とその影響は収まる気配が毛ほどもない。およそ一年前、もともと学生の約85%が秋田県外の高校出身¹で、新入生全員の一年間の学生寮居住が義務づけられていることもあり、学生の89%がキャンパス内に居住する本学²は、いち早く全学オンライン授業に移行し、本館もそれに合わせてデジタルリソースの利用拡大と促進に努めてきた。思わぬ事態ではあったが、実際に図書館を訪れる利用者が激減したことを機に、これまでなかなか手を付けられなかった配架の見直し等を徹底的に行うことができた。今回はこのような取組をとおして学んだことを基に、大学図書館のこれからについても考察を試みる。但し、本学は国際教養学部のみ単科大学であり、リソースも国外のものがほとんどであるため、内容については少々偏りが生じている場合もあることを前もってご了承ください。

1. 遠隔学習支援サポート

全デジタルリソースへのリモートアクセス可能に向けて

冒頭で述べたように、本学は居住型の教育機関であるため、ほぼ全学生の居住エリアがキャンパス内であることから、これまで遠隔から本館のデジタルリソースへのリモートアクセストラブルの報告は皆無に等しかった。ところがコロナ感染拡大防止対策のため、2020年春学期より受講するには全学生が学外からアクセスしなければならないオンライン授業へ移行と決定したため、紙媒体の4倍以上の37万タイトルの電子図書と8倍近くの1600タイトル電子ジャーナルを所蔵する本館³では、全てのデジタルリソース⁴を学外からでもアクセスできるように再確認・整備することが急務となった。幸い本学が契約しているデジタルリソースは、リモートアクセス用ソフトウェア無しでも学外より学認を介して無料でアクセスできるものが多かった。但し、海外の販売元に直接交渉し、eduGAIN⁵に加入することでアクセス可能となったものや、期間限定で図書館用のIDとPWを販売元に一時的に交付してもらうことによりアクセスを可能にできたものもあった。特に本館の場合、語学堪能なITスタッフの協力なしでは学外から全デジタルリソースへのアクセスを可能にすることは非常に難しかったであろう。また教職員のテレワーク導入により、学外からのアクセス確認作業や、リモートアクセス対処法のガイドンス制作がしやすくなったことも速やかなアクセス整備完了へのキーとなった。さらに遠隔アクセスの充実と強化のため、リモートアクセス用ソフトウェアの導入が決定した。どのリモートアクセス用ソフトウェアを選択するかは判断材料としては、1) 本館図書システムとの親和性、2) 大学図書館での利用実績、3) 本学システムへの負荷の有無等に重点を置いた。

2. 図書館サービスのオンライン化と広報活動

デジタルリソースの遠隔アクセスの確保の後で必要となったのは、遠隔からでも利用できる図書館のサービスを広く知ってもらうための工夫と努力であった。先ず、図書館用のZOOMのアカウントを設定し、同時に本学のLearning Management SystemであるAIMSに図書館のページを設け、学生向け図書の郵送料出しや、ZOOMで画面共有などを活用し利用者の質問に対応する、オンラインレファレンスサービスNakajima Library Channel (NLC)の広報に役立った(図1)。

-  Nakajima Library Channel (Tuesdays & Fridays: 14:00-16:00)
-  Nakajima Library Channel Appointment Calendar
-  Fall 2020 Nakajima Library Orientation Part 1
-  Fall 2020 Nakajima Library Orientation Part 2
-  Nakajima Library Online Catalog
-  For help, contact lib1@aiu.ac.jp or enter Nakajima Library Channel

How to use the automated checkout machine

図1 AIMSの図書館のページ

次に、これまで対面で行っていた新入生オリエンテーションやガイダンスワークショップもYouTube上の動画やZOOMで行い、メールでの問い合わせに対しても、必要であれば、NLCへ誘導してわかりやすく説明する努力を続けた。

更に、NLCの入り口をAIMSの図書館ページトップに配置し、カレンダーにオンラインで予約可能なリンクを掲載した。図書館からの周知メールは利用者の受信メールに埋もれがちなので、AIMS上に、セミナーのお知らせ、スクリーンショットや動画のリンクを含んだアクセストラブルの対処法や記事を載せた。これらは図書館スタッフ同士の情報共有に役立った。

利用者の混乱を防ぐため、図書館のウェブページ6をメインとし、AIMSの図書館ページはその補足と位置付け、図書館のウェブページとAIMSの図書館ページの同期をとりながら、運用することにも留意していく必要があった。

AIMSは、トピックを即時追加・編集・削除できるため、学生教職員に対する広報媒体としてはベストといえる。今後は、学生にAIMSを図書館情報の収集のためにツールとして利用することをオリエンテーション等で強く薦めていくことにした。

3. 配架の見直し（新旧マップ参照）

2008年の新図書館の開館から10年以上が経過し、配架方法の分かりにくさや書架の狭隘化が顕在化してきた。これを緩和するため、学生の入構制限に伴う、図書館利用者の減少を機会に、2020年10月から12月まで図書を除却、和書及び洋書配架スペースの配架方法の見直しと図書の大幅な移動を行った。

まず、閉架書庫のレファレンス資料等の除却を956冊行い、貸出記録に基づいて利用頻度の少ない図書を開架から閉架書庫へ移動した。これにより、開架のレファレンス資料をすべて1階のレファレンス資料エリアに集約し、洋書の大判サイズも一カ所にまとめることが可能となった。

次に利用者が本を探しやすく、スタッフの返本が容易な書架の管理を目指して、業務担当者全員でアイデアを検討し、新しい配架マップを作成した。図書の大幅な移動を開始した。本館は、美しい外観がよく話題になるが、半円形で必ずしも請求記号順で図書が配架されていないため、図書を探す利用者の動線が規則的ではなかった。これらのことを踏まえて、以下のことを行った。

1. 洋書エリア・和書エリアの区別を明確にした。
2. 中嶋嶺雄コレクションを図書館の入口近くのわかりやすい場所に移動した。
3. 書架のロケーション表示を英数字の組み合わせから、よりわかりやすい数字のみに変更し、合わせてサインも変更した。

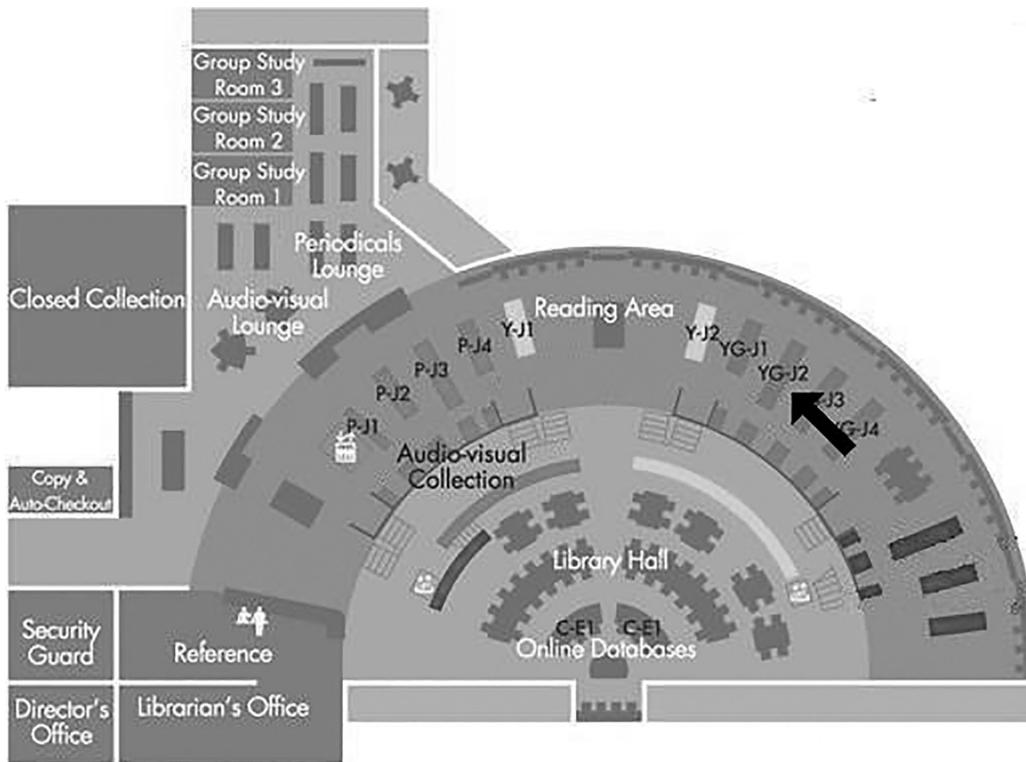


図2 旧和書エリア配架マップ

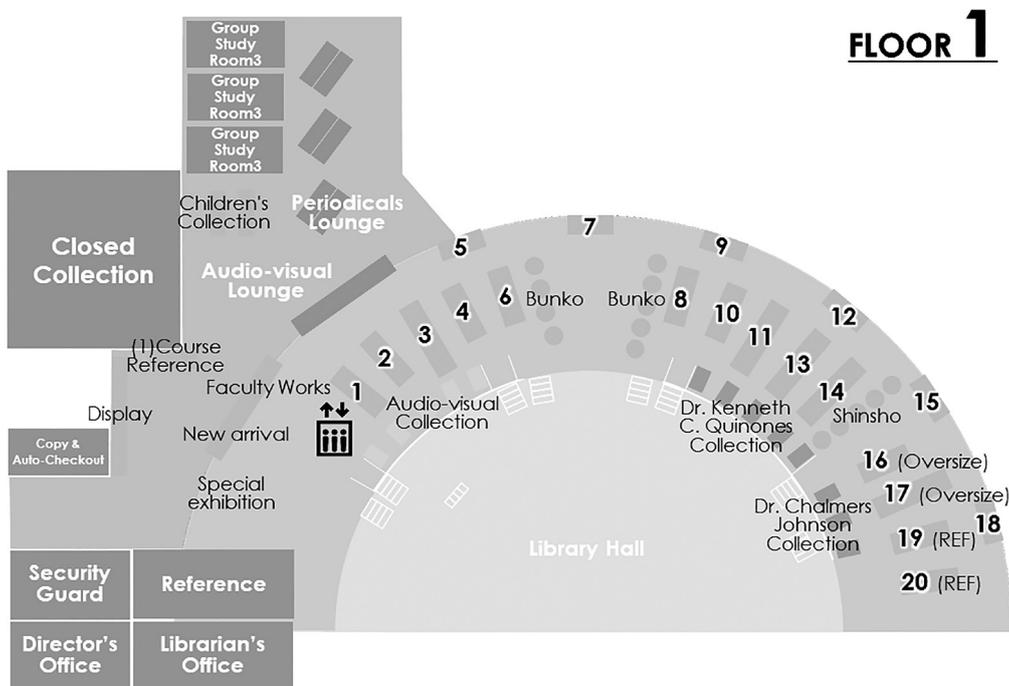


図3 新和書エリア配架マップ

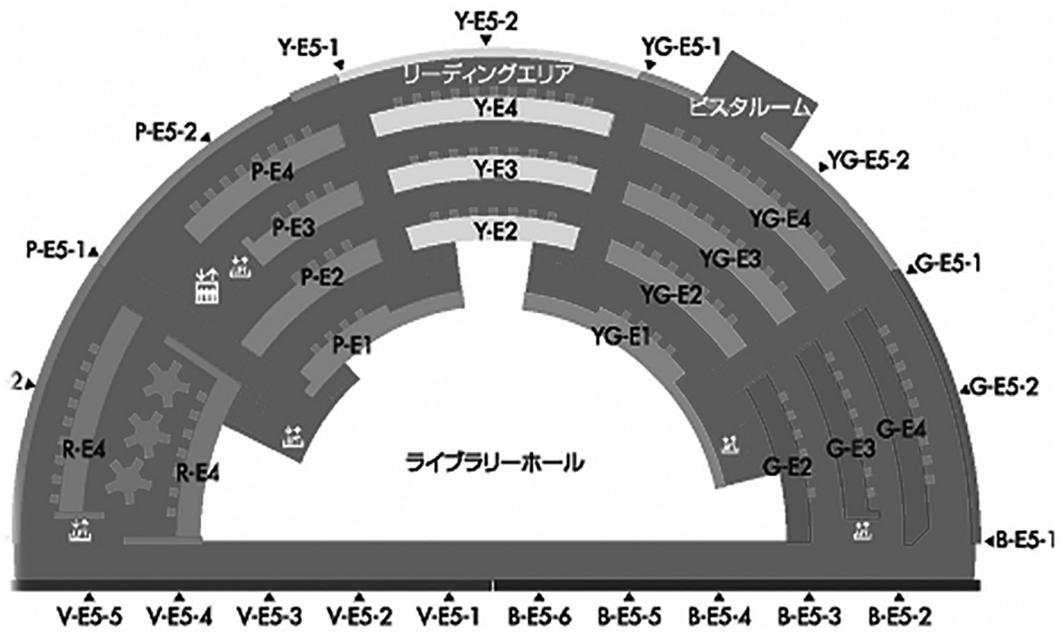


図4 旧洋書エリア配架マップ

FLOOR 2

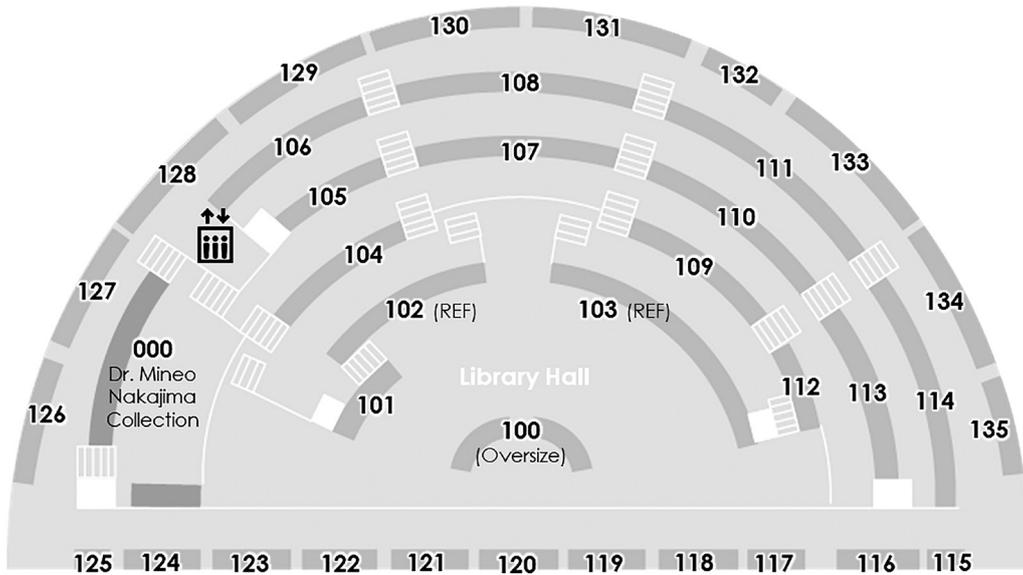


図5 新洋書エリア配架マップ

大規模な図書の移動は、館内表示やオンラインカタログのアップデート、図書館利用ガイドのアップデート、そして作業要員と時間の確保が必要なため、通常業務と並行して作業を行うことが大変難しいが、時期を見計らって作業を行い、一部の新入生の入寮が再開される 2021 年 1 月の前に終了できた。今後はさらに一定数の図書の除籍と移動を中心とした書架作業を毎年定期的の実施し、利用者が無理なく自然に図書を見つけて容易に手に取ることができる図書館を目指していきたい。

4. おわりに さらに身近な図書館へ

今回の経験を通して学んだことは、遠隔利用という制約はあるにせよ、ツールを駆使し、既存のサービスを拡大したことによって、より利用者に近づくことができ、それが今後のもっと多様で柔軟性に富んだ図書館利用の促進につながられる感触を得たことだ。具体的には、コロナ感染が収まったとしても、オンラインで図書館ガイダンスやワークショップに参加できる環境があれば、今まで来館できなかった忙しい利用者でも気軽に参加でき、図書館利用の活性化につながるだろう。また、今後こういった手法は一般市民に対するサービスに十分に応用できよう。

当面は図書館に学修支援のため電子図書などのデジタルリソースの充実が求められるだろう。段階的にキャンパスに戻りつつある学生のみならず教職員の活動と目標達成のために図書館が常にアンテナを張り巡らし、オンライン・オフライン両方でのリソースの充実と情報提供ができるようになれば、図書のウェアハウスという基本機能を超え、大学図書館が組織に大いに貢献していける未来が開けていくのではないだろうか？

参考文献

- 1 国際教養大学．“大学概要 詳細データ 3. 学生情報”．
https://web.aiu.ac.jp/wp/wpcontent/themes/aiu/doc/about/data/03_student.pdf, (参照 2021-02-08)
- 2 国際教養大学．“学生寮と学生宿舎”．
<https://web.aiu.ac.jp/campuslife/dormitory/>, (参照 2021-02-08)
- 3 国際教養大学．“中嶋記念図書館 24 時間 365 日開館の図書館”．
<https://web.aiu.ac.jp/library/outline/>, (参照 2021-02-08).
- 4 国際教養大学中嶋記念図書館．“デジタルリソース”．
https://library.aiu.ac.jp/?page_id=34, (参照 2021-02-08).
- 5 国立情報学研究所．“eduGAIN に参加する”．
<https://www.gakunin.jp/join/eduGAIN>, (参照 2021-02-08).
- 6 中嶋記念図書館ホームページ．<https://library.aiu.ac.jp/>, (参照 2021-02-08)

令和3年2月13日発生の福島県沖地震の被害・復旧状況について

図書館名	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
東北大学 附属図書館 本館	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・空調機配管破損による漏水のため使用停止 ・天井、壁からの剥離各所 ・メインフロア、学生閲覧室2階、グローバルフロア、製本室メインフロアで天井からの水濡れ各所 ・屋上チラーの囲み壁破損・壁面ひび割れ多数 ・2階天井梁の亀裂 ・業務用ネットワーク (館内無線 LAN) サーバ機器類浸水のため不通
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約15万冊 (学生用図書：約3万冊、 古典資料：約4万冊、製本雑誌：約8万冊) ・未製本の雑誌の水濡れあり
	2. 休館等の期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		休館の期間	2月14日(日)、2月20日(土)～2月21日(日)、 2月23日(火)
		開館した日	2月15日(月)
	3. サービスの復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を段階的に延長 2月15日(月)～19日(金) 9:00～17:00 2月22日(月)、24日以降：平日 9:00～20:00 2月26日(土)以降：土日祝日 13:00～20:00 ・貸出等のサービスは2月15日(月)より開始 ・業務用ネットワーク (館内無線 LAN) 等は2月16日(火)に復旧済 ・1号館メインフロア及び2号館の空調は復旧工事のため3月末日まで使用停止 	
	4. 被害状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>本館2号館 古典資料</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本館2号館 漏水</p> </div> </div>	

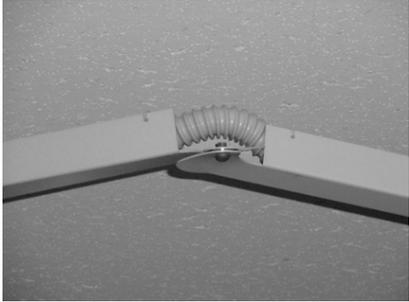
東北大学 附属図書館 医学分館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	□有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・天井の破損・小片落下 (各所) ・壁面ひび割れ多数 ・防煙垂れ壁の破損 ・外壁タイルの一部落下 ・空調機の部品落下
		書架等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・書架背板の落下・破損 ・ブックキーパーの破損
	蔵書・雑誌等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下約 75,000 冊 (図書 48,000 冊, 洋雑誌 27,000 冊)	
2. 休館等の 期間	休館の有無	■有 □無	
	休館の期間	2月15日(月)～16日(火)	
	開館した日	2月17日(水)	
3. サービスの 復旧状況	<p>・当館は改修後の移転作業・開館準備期間中であつたが、落下図書の復旧作業のため移転作業スケジュールを1ヶ月延長した。落下図書の復旧は3月12日(金)に完了した。</p> <p>・2月1日(月)～2月19日(金)の日程で開設中の臨時自習室を2月15日(月)から閉室した。</p> <p>・当初から予定していた臨時窓口サービスを2月17日(水)から開始した。</p> <p>・利用者の安全確保のため、開館前の補修工事が必要となり、リニューアルオープンの日程が未定となっている。</p>		
4. 被害状況 写真			
	天井の破損・小片落下		天井の破損・小片落下
			
	空調機の部品落下		資料の落下

東北大学 附属図書館 北青葉山 分館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・空調機配管破損による漏水のため使用停止 ・2-3階閲覧室の一部で天井からの水濡れ ・エントランス、1-3階閲覧室で排気口、ダクトのずれ、落ち ・1-3階閲覧室書架位置ずれ	
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下: 約6,000冊	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		休館の期間	2月15日(月)～2月19日(金)	
		開館した日	2月22日(月)～	
	3. サービスの 復旧状況	・エントランスホールの一部使用不可		
	4. 被害状況 写真	 <p>3階閲覧室漏水</p>		
 <p>1階エントランスホールダクト落下</p>				
 <p>2階閲覧室書架ずれ</p>				
 <p>3階閲覧室</p>				

東北大学 附属図書館 工学分館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	□有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・2階柱・壁のひび割れ ・機械室設備の破損及び水漏れ ・天井排風口設備の落下 ・4人掛け機の破損	
		書架等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・書架転倒防止用鉄骨のねじれ	
蔵書・雑誌等の被害		■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約6,500冊		
2. 休館等の 期間	休館の有無	■有 □無		
	休館の期間	2月15日(月)		
	開館した日	2月16日(火)		
3. サービスの 復旧状況	・サービスは地震前と同じ			
4. 被害状況 写真	   <p>2階柱・壁のひび割れ 機械室設備の破損及び水漏れ 天井排風口設備の落下</p>    <p>4人掛け機の破損 書架転倒防止用鉄骨のねじれ 資料の落下：2階洋雑誌</p>			

東北大学 附属図書館 農学分館	協議会誌及びウェブ公開		■可	□否
	1. 被害状況	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載） ・空調吹出口破損、脱落 ・天井、壁の剥離・亀裂各所 ・ドア開閉不可数か所 ・天井ブレース破損 ・天井仕上げ材落下	
	書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載） ・木製低書架 1 点破損 ・落下防止装置一部破損		
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載） ・2 階の開架資料ほとんどが落下 （図書約 4 万冊、雑誌約 7 万冊、計約 11 万冊）		
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	休館の期間	2 月 15 日（月）～ （現在も臨時休館中）		
	開館した日	未定		
3. サービスの 復旧状況	・2 月 16 日（火）から臨時窓口を設け、他館図書（搬送便含む）の貸出、返却本の受け取り、 複写物の受け渡しを行っている。 ・4/5（月）から、臨時窓口にて館内資料の予約貸出を行う予定 ・4 月中は空調設備復旧工事のため、引き続き臨時閉館予定			
4. 被害状況 写真				
	2 階閲覧室空調吹出口		2 階閲覧室	

宮城教育 大 学 附属図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可	□否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載）	
建物・設備等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載） ・天井、壁からの剥離・亀裂各所		
書架等の被害		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載）		
蔵書・雑誌等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（有の場合は状況を以下に記載） ・資料の落下：約 3 千冊		
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	休館の期間	2 月 15 日（月）9:00-13:00		
	開館した日	2 月 15 日（月）13:00		
3. サービスの 復旧状況	・2 月 15 日（月）13 時以降は通常通り			
4. 被害状況 写真				

山形大学 小白川 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) 5階：電動書架アームの破損 (要修理) 5階：書架側板の落下 (要修理) 4～5階：書架の落下防止用ブックキーパー作動 エレベーター停止 (震度3以上で停止→復帰には業者の点検が必要)	
蔵書・雑誌等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) 5階：手動書架 (東西方向) 資料の落下 (製本雑誌等 10数冊) 5階：貴重書庫和装本の落下と乱れ		
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 ■無		
	休館の期間			
	開館した日			
3. サービスの 復旧状況	通常通り			
4. 被害状況 写真	    			

山形大学 医学部 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可	□否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)		
	書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・製本雑誌架棚板の一部が書架から外れた。		
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約30冊 (和雑誌、製本雑誌)		
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	休館の期間			
	開館した日			
3. サービスの 復旧状況	・当日中に全て復旧した。			
4. 被害状況 写真	  <p style="text-align: center;">2階製本雑誌架の外れ、雑誌の落下</p>   <p style="text-align: center;">中2階雑誌の落下</p>			

山形大学 工学部 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可	□否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)		
	書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)		
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：数十冊		
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	休館の期間			
	開館した日			
3. サービスの 復旧状況	・特になし			
4. 被害状況 写真	・特になし			

福島大学 附属図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	□有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・天井、壁からの剥離各所 ・開架閲覧室天井壁面亀裂、破損 ・PC 転倒 ・落下防止装置の破損 ・エレベーターの緊急停止	
		書架等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・書架の傾き、固定金具の破損 ・電動集密書架の不具合	
		蔵書・雑誌等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下 15,048 点 (開架 8,594 点、書庫 6,454 点) ・落下による破損資料 98 点	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	■有 □無	
		休館の期間	2月15日(月)～19日(金)	
		開館した日	2月22日(月)	
	3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月22日(月)より再開(平日9:00～17:00) ・本館1F及び2F、新館1Fの天井や壁の一部亀裂・破損のため、当面の間、窓際席などの閲覧席の利用を制限 ・新館B階段は1Fから4Fまで、壁面の亀裂・破損のため、当面の間立入禁止 ・本館2F開架閲覧室の天井のボードの一部亀裂・破損のため、書架の一部を当面の間立入禁止 ・利用者の書庫への立入を禁止していたが、3月中に一部書架の修繕工事が終了するため、4月1日より入庫再開予定 ・エレベーターについては15日には復旧 		
	4. 被害状況 写真	 <p>新館2階 シラバス参考図書コーナー</p>		

岩手県立 大 学 メディア センター	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・書籍落下防止装置が数台落下	
	書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約 500 冊	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (フロアを限定して開館。詳細は下記3のとおり。)	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧作業、安全確認のため、下記2日間フロアを限定して開館 2月15日(月)～16日(火)9時～17時(14日(日)は休館日) 立入規制をしたフロアは2階 ・2月17日(水)から全フロアの利用再開 		
4. 被害状況 写真			

会津大学 情報センター 附属図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・2F 閲覧室の書架プレート2個落下 ・1F 閲覧室の書架プレート2個落下 ・資料、POP、飾り等の傾倒	
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下4～5冊	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通常開館 		
4. 被害状況 写真	 2F 書架  2F 書架  BF 閉架書庫		

八戸学院 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・館内2階東側、1階文庫、絵本、書庫内の本が数十冊単位で落下
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	・無		
4. 被害状況 写真	・無		

岩手医科 大学附属 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・内丸図書館では落下資料なし ・矢巾図書館では図書・雑誌併せて49冊落下 (図書13、大型本3、和雑誌14、洋雑誌19)
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間	(2月13日(土)、2月14日(日))は通常の休館日)	
	開館した日	2月15日(月)から通常どおり開館	
3. サービスの 復旧状況	通常どおりサービス提供		
4. 被害状況 写真	 <p>矢巾図書館 洋雑誌 落下 (傾斜スライド棚 未整備の箇所)</p> <p>矢巾図書館 傾斜スライド棚作動により落下防止の様子</p>		

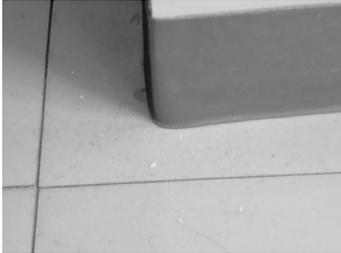
仙台大学 附属図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下(約1万冊)
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	・2月15日(月) 8:30-12:00 復旧作業のため閉館、12:00より開館。 以降通常開館		
4. 被害状況 写真			

仙台白百合 女子大学 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・エレベーター停止 (復旧済) ・館内内装に若干の亀裂 ・館内トイレシンの排水管折損・漏水	
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・約半数 (50,000 冊程) の図書・雑誌が落下 ・25 冊の図書が破損した。(修復済)	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 ■無	
		休館の期間	なし	
		開館した日	2月15日 (月)	
	3. サービスの 復旧状況	・地震発生後の翌開館日2月15日 (月) に異常のなかった閲覧室と書架は通常通り開館し、 図書が落下した部分のみ閉鎖して館員で復旧作業を行った。同日夕方には全館復旧でき、 翌日2月16日 (火) より全館通常開館とした。		
	4. 被害状況 写真			

東北学院 大 学 図 書 館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・中央図書館分室3階書庫壁ひび割れ	
		書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・中央図書館M4階書庫、書架固定バー一部破損	
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：中央図書館および中央図書館分室全体で数万冊 ・資料の破損：128冊	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (中央図書館分室のみ)	
		休館の期間	2月15日(月)～2月19日(金) (中央図書館分室のみ)	
		開館した日	2月15日(月)	
	3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月15日(月)～2月22日(月)の期間に落下資料の復旧作業を実施。中央図書館は復旧作業期間中でも、書庫の利用を一部制限したものの、通常開館とした。 ・書架固定バーが一部破損した中央図書館M4階については、まだ修理ができていないため、現在も一部で利用を制限している。 		
	4. 被害状況 写真	 <p>中央図書館M4階書庫・書架固定バー破損</p>		
		 <p>中央図書館M4階書庫・資料落下</p>		
		 <p>中央図書館分室3階書庫・壁ひび割れ</p>		
		 <p>中央図書館分室4階書庫・資料落下</p>		

東北工業 大 学 附属図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・天井、壁各所の損壊、剥離・亀裂 ・八木山本館 3F エキスパンションを中心に大きく損壊・破損 ・天井からのネジ・ボルト等の落下 ・長町分館 集密書架が歪みにより稼働時に異音発生	
		書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・棚の落下 ・耐震固定具の変形	
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：八木山本館 約4万冊 ・資料の落下：長町分館 約5千冊 ・落下による表紙、ページの破損	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		休館の期間	2月15日(月)～17日(水)	
		開館した日	2月18日(木)	
	3. サービスの 復旧状況	・2月18日(木)から八木山本館 書庫を除いて開館を再開 ・八木山本館書庫は復旧・整備作業のため3月末まで入庫停止(4月1日より入庫再開予定) ・ILL受付を3月末まで停止(4月1日より受付再開予定) ※3月20日(土)発生の地震による大きな被害はありませんでした		
	4. 被害状況 写真	  		
		八木山本館：閲覧室 壁損壊	八木山本館：閲覧室 壁損壊	
		長町分館：開架書架		

東北福祉 大学図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否	
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・天井、壁からの剥離各所 ・壁破損・壁面ひび割れ多数	
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約9,000冊 ・破損資料：43冊	
	2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		休館の期間	2月15日(月)	
		開館した日	2月16日(火)	
	3. サービスの 復旧状況	・積層書庫への入庫は、落下資料の復旧作業中のため2月16日から18日の期間出庫対応		
	4. 被害状況 写真	 		
		積層書庫	壁面ひび割れ	

東北文化 学園大学 総合情報 センター 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・壁の剥離各所
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下、数冊程度 ・書棚の資料横倒し各所
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	・サービスへの影響なし		
4. 被害状況 写真	   <p>閲覧室 壁の剥離 地下雑誌書架 資料の落下 閉架書庫 資料の横倒し</p>		

東北医科 薬科大学 附属図書館 【本館】 【医学分館】	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		建物・設備等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
		蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下 【本館】約 700 ～ 800 冊 (主に学生用図書) 【医学分館】数十冊 (主に学生用図書)
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日		
3. サービスの 復旧状況	【本館】 ・2月15日(月) 10:00 復旧作業完了 (8:30 から開館しながら実施) 【医学分館】 ・2月15日(月) 11:30 復旧作業完了 (8:30 から一時閉館して実施)		
4. 被害状況 写真	  <p>【本館】 【医学分館】</p>		

尚綱学院 大学図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・2階セミナールーム1 壁面と天井の電動スクリーン基部付近にクラック発生 ・2階コミックスクエア付近の天井の既存クラック (塗装により補修済) が更に伸びたことを確認	
	書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	蔵書・雑誌等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下 (コミック約 100 冊)	
2. 休館等の期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間	無	
	開館した日	2月15日 (月)	
3. サービスの復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月15日 (月) よりセミナールーム1 電動スクリーンを使用禁止とし、同18日 (木) にその基礎にあたる天井裏の鉄骨を屋根部分で固定するボルトの増し締めを実施 ・落下した資料は2月15日 (月) の開館 (9:00) までに復旧 		
4. 被害状況写真	 <p>2階セミナールーム1 電動スクリーン基部付近のクラック</p>  <p>2階コミックスクエア付近天井のクラック</p>  <p>2階コミックスクエア 資料の落下</p>		

聖和学園 短期大学 図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・カウンター付近と、ラーニング・コモンズの壁面ひび割れ ・エアコンのフィルターが外れてぶら下がる	
	書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・紙芝居用の棚が転倒により破損	
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下 (図書・紙芝居) : 約 1,600 冊	
2. 休館等の期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日	2月15日 (月)	
3. サービスの復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月15日 (月) から復旧作業をしながら通常サービスを開始 		
4. 被害状況写真	 <p>転倒した紙芝居の棚</p>		

仙台青葉 学院短期 大 学 図 書 館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
建物・設備等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・壁、天井の亀裂	
書架等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・簡易設置書架の接合ビス破損	
蔵書・雑誌等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下:長町キャンパスの資料約4800冊(開架:図書約2400冊・雑誌(未製本)約1200冊、閉架:雑誌(未製本)約1200冊)	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	休館の期間	2月14日(日):休館日 2月15日(月):臨時休館	
	開館した日	2月16日(火)	
3. サービスの 復旧状況	・2月16日(火)から通常通り開館		
4. 被害状況 写真	 <p>中央キャンパス 地震クラック 長町キャンパス書架</p> <p style="text-align: right;">長町キャンパス書架 接合ビス破損</p>		

東北芸術 工科大学 図 書 館	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
建物・設備等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・飲料自動販売機の停止	
書架等の被害		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
蔵書・雑誌等の被害		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下 約30冊	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	休館の期間		
	開館した日	2月14日	
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通常開館。 ・書架は開館前に復旧完了。 ・自動販売機は当日の開館中に復旧完了。 		
4. 被害状況 写真	 <p>1階 東北文化研究センター資料</p>		

奥羽大学 図書館	協議会誌及びウェブ公開	■可 □否
1. 被害状況	人的被害	□有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・柱に亀裂が入る。 ・壁に亀裂が入る。 ・配管破損による漏水。 ・天井、壁からの剥離各所。
	書架等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載)
	蔵書・雑誌等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下：約 52800 冊 ・資料の破損：262 冊
2. 休館等の 期間	休館の有無	■有 □無
	休館の期間	2月14日(日)～3月11日(木)
	開館した日	3月12日(金)
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月12日(金)から通常の開館時間 ・平日 8:45～17:45 ・土曜 8:45～12:15 (日祝日は休館日) ・貸出など通常通りサービスを開始した。 ・2階は危険箇所がいくつかあるため、閲覧や自習は不可とし、1階のみ閲覧や自習を可能とした。ただし、貸し出しのため、2階に行くことのみ可能とした。 ・4月以降は通常 8:45～19:00 の開館だが、状況を鑑み、8:45～17:45 に短縮し開館することにする。 	
4. 被害状況 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>書籍の落下 (1階)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>書籍の落下 (2階)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>柱の損壊 (2階)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>壁の亀裂 (2階)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井の損壊 (2階)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漏水 (2階)</p> </div> </div>	

郡山女子 大学図書館	協議会誌及びウェブ公開		■可	□否
	1. 被害状況	人的被害	□有 ■無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	建物・設備等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・積層書庫の一部壁面にひび割れ ・階段の一部壁面にひび割れ ・外壁の一部ひび割れ		
	書架等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・3階木製書架の位置ずれ(複数) ・3階木製書架の補強金具が位置ずれにより破損 ・3階窓下架の転倒 ・積層書架4層の書架の一部に傾斜 ・閉架書庫床の隆起に伴う書架の一部に傾斜		
	蔵書・雑誌等の被害	■有 □無 (有の場合は状況を以下に記載) ・2階3階閲覧室、積層書架内1～5層、閉架書庫内全てにおいて書架から多数の図書の落下、散乱があり、床・通路がふさがれる。落下による図書・雑誌の破損は約150冊。		
2. 休館等の 期間	休館の有無	■有 □無		
	休館の期間	令和3年2月15日(月)から2月23日(火)まで復旧作業のため閉館。 なお3月1日(月)から3月12日(金)まで蔵書点検のため閉館。		
	開館した日	令和3年2月24日(水)		
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月24日は余震での被害を避けるため、落下した図書の一部は床に積み上げたまま開館 ・蔵書点検終了後、床に積み上げた図書のほとんどを元に戻す ・閉架書庫を除いて損傷した書架は3月23日(火)に修復工事を実施 ・積層書架壁面、閉架書庫床面、外壁は4月中に修復工事を実施予定 			
4. 被害状況 写真				
	2階参考図書書架		3階木製書架	
				
	積層書架5層			

桜の聖母 短期大学 図書館 情報センター	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・天井や壁のひび割れ、剥離各所 ・グループ学習室(館内)の天井から水漏れ ・吊り下げ式照明器具(2台)破損	
	書架等の被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)	
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・資料の落下: 約2.5万件(図書、製本雑誌、視聴覚資料等) ・図書の破損: 約100冊	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	休館の期間	2月14日(日)、2月15日(月)、 2月18日(木)～3月3日(水)	
	開館した日	2月16日(火)、2月17日(水)	
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2月16日(火)、2月17日(水): 通常通りに開館。(落下した資料は床に平積みした状態) ・2月18日(木)～3月3日(水): 蔵書点検および復旧作業のため休館。3月3日(水)にすべての復旧作業が完了。 		
4. 被害状況 写真	 <p>一般書架</p>  <p>展示コーナー(照明器具破損)</p>		

福島学院 大学図書 館情報セ ンター	協議会誌及びウェブ公開		■可 □否
	1. 被害状況	人的被害	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載)
	建物・設備等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・飲料用タンク転倒 ・掛時計落下: 破損 ・花台脚: 破損 ・4階学習用椅子: 破損2脚	
	書架等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) ・宮代図書館 特別書庫書棚倒壊: 変形 ・雑誌棚・新聞ラック倒壊: 一部変形	
	蔵書・雑誌等の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合は状況を以下に記載) 宮代図書館 ・飲料タンク転倒により図書水濡れ: 約15冊 ・資料の落下: 約4万冊(修復不能約20冊) 駅前図書室 ・書架下に挟まり図書破損(修復不能約5冊) ・資料の落下: 約1万冊(修復不能約3冊)	
2. 休館等の 期間	休館の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	休館の期間	2月14日(日)～3月1日(月)	
	開館した日	3月2日(火)	
3. サービスの 復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2/15～3/1休館中だが返却図書は受付。閲覧・自習室利用時間短縮→落下防止テープ購入費用を日本図書館協会へ申請中。書架の安全確保ができた時点で自習室・閲覧室の利用時間を通常に戻す予定 ・3/2貸出再開 ・業務用ネットワーク異常なし: LINEで開館時間等を配信 		
4. 被害状況 写真	 <p>宮代図書館書庫 ・落下した図書</p>  <p>駅前図書室開架書棚 ・落下した図書</p>		

第75回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催日時 令和2年9月24日(木)～令和2年9月30日(水)

総会会場 メール会議(当番館:弘前大学附属図書館)

1. 総会

(1) 報告事項

- ① 令和元年度活動報告について
- ② 令和元年度一般報告について
- ③ 令和元年度研修部会活動報告について

(2) 協議事項

- ① 令和元年度決算報告について
- ② 令和元年度記念事業基金決算報告について
- ③ 令和元年度監査報告について
- ④ 令和2年度事業計画について
- ⑤ 令和2年度予算について
- ⑥ 令和2年度記念事業基金予算について
- ⑦ 東北地区大学図書館協議会会則の改正について
- ⑧ 第76回総会の当番地区(館)について

(3) 承合事項

- ① 新型コロナウイルス感染症対策の具体的な取組について
- ② コロナ禍を契機とした今後の方向性について
- ③ 中・長期的な資料整備計画の策定及び電子ブックの整備状況について
- ④ 特集・展示コーナーの運用方法について

第 75 回総会資料

令和元年度 活動報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

第 7 4 回 (令和元年 9 月) 以降の協議会の活動について、以下の通り報告する。

1. 研修会等の開催

1) 令和元年度国立大学図書館協会東北地区協会職員研修 (職員の企画・運営による職員のためのワークショップ)

主 催：国立大学図書館協会東北地区協会／

後 援：東北地区大学図書館協議会

日 時：令和 2 年 2 月 14 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 15

会 場：東北大学附属図書館農学分館 ラーニングコモンズ

テーマ：『編集』のチカラ ―図書館を動かす新たな視点―

講 師：藤本 智士 氏 (有限会社りす代表)

受講者：49 名

(内訳：国立大学 33 名，公立大学 5 名，

私立大学 6 名，公共図書館 5 名

青森 1 名，秋田 3 名，岩手 3 名，

宮城 36 名，山形 4 名，福島 2 名)

2) 令和元年度東北地区大学図書館協議会合同研修会

日 時：令和 2 年 9 月 17 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 00

会 場：オンラインセミナー

テーマ：電子コンテンツ、オープンアクセス、そして JUSTICE

講 師：細川 聖二 氏 (東北大学附属図書館総務課長／JUSTICE 運営委員会委員長)

受講者：71 名

(内訳：国立大学 45 名，公立大学 8 名，

私立大学 18 名

青森 5 名，岩手 10 名，宮城 36 名，

秋田 9 名，山形 1 名，福島 10 名)

2. 協議会誌の刊行

令和 2 年 8 月付で『東北地区大学図書館協議会誌』

第 71 号を刊行し、令和 2 年 8 月に加盟館及び国立国会図書館等関係機関に配付した。

3. 加盟館数 (令和 2 年 8 月現在)

63 館 (国立 15 館，公立 12 館，私立 36 館)

令和元年度 一般報告

国公立大学図書館等の動向

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

1. 国公立大学図書館協力委員会 関連

<https://julib.jp/>

1) 図書館総合展フォーラム

主 催：国公立大学図書館協力委員会著作権検討委員会

日 時：令和元年 11 月 12 日 (火) 15 : 30 ~ 17 : 00

会 場：パシフィコ横浜 (第 21 回図書館総合展会場)

テーマ：大学の授業の ICT 化と図書館の役割

2) 令和元年度大学図書館シンポジウム

主 催：国公立大学図書館協力委員会，日本図書館協会大学図書館部会

日 時：令和元年 11 月 14 日 (木) 13 : 00 ~ 17 : 00

会 場：パシフィコ横浜 (第 21 回図書館総合展会場)

テーマ：学生協働の到達点

報 告：<https://doi.org/10.20722/jcul.2064>

「大学図書館研究」115 号 (2020.8)

3) 第 87 回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和元年 11 月 27 日 (水) 13 : 00 ~ 14 : 50

会 場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎

出 席：常任幹事館 筑波大学 (委員長館)，

東京大学，横浜市立大学，

名古屋市立大学，早稲田大学，

慶應義塾大学

委 員 館 京都大学，名古屋大学，

東京都立大学，國學院大學，

法政大学，名城大学

(欠席：佛光大学)

オブザーバ 文部科学省，国立国会図書館，

国立情報学研究所

議 事：1. 報告事項

(1) 委員長館会務報告

(2) 「大学図書館研究」編集委員会報告

(3) 大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ報告

(4) 大学図書館シンポジウム企画・運営委員会報告

(5) Web サイト運用チーム報告

(6) 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 報告

(7) オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) 報告

(8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告

(9) 関係機関報告

2. 協議事項

(1) 平成30(2018)年度決算(案)及び監査報告について

(2) 専門委員会のファイル共有システムおよび加盟館限定ページの設定について

(3) 令和元(2019)年度予算(案)について

(4) 監事館の選出について

3. 懇談事項

(1) 研究データ基盤について

議事録：<https://julib.jp/docs/minutes>

4) 第88回国公立大学図書館協力委員会

日時：令和2年7月22日(水)14:30～17:00

会場：オンライン会議により実施

議事：1. 報告事項 ※第87回と同様につき省略

2. 協議事項

(1) 専門委員会主査について

(2) 次期委員長館の選出について

(3) 文化庁文化審議会著作権分科会への検討依頼の提出について

2. 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議 関連

<https://www.nii.ac.jp/content/cpc/>

1) 第19回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日時：令和2年3月4日(水)15:00～17:00

会場：国立情報学研究所 20階 実習室1・2

出席：筑波大学, 東京大学, 名古屋市立大学, 慶應義塾大学, 早稲田大学

国立情報学研究所

(欠席：横浜市立大学)

議事：1. トピック・レクチャー「大学における図書館の役割－大学評価の観点から－」(大学改革支援・学位授与機構特任教授 土屋 俊)

2. 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)の活動について

3. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

4. オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の活動について

5. SCOAP3 タスクフォースの活動について

6. 国立情報学研究所の学術コンテンツ事業について

7. 国立情報学研究所教育研修事業について

8. 国公私立大学図書館協力委員会の最近の動向について

議事録：<https://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/>

2) 第20回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日時：令和2年7月13日(月)～17日(金)

会場：メール会議により実施

議事：※第19回と同様につき省略

3) 2019年度大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)総会

<https://www.nii.ac.jp/content/justice/>

日時：令和2年3月17日(火)～23日(月)

会場：ウェブ審議により実施

議事：1. 審議事項

(1) 2019年度総会の取り扱いについて

(2) 2019年度決算について

(3) 2020年度の活動について

(4) 2020年度の予算について

(5) 2020年度の運営委員会委員について

2. 報告事項

(1) 2019年度の活動について

会議資料・議事録：会員館限定ページに掲載

4) これからの学術情報システム構築検討委員会

<https://www.nii.ac.jp/content/korekara/>

第25回(令和元年10月29日),

第26回(令和2年1月27日)

に委員会を開催

会議資料・議事録：<https://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/>

5) 2019年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)総会

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

日時：令和2年3月5日(木)～

3月16日(月)17:00

会場：オンライン投票により実施

議事：1. 2020年度会長選出について

2. 2020年度監事選出について

3. 2020年度運営委員会委員について

- 4. 2020年度活動について
- 5. 2020年度予算について
- 6. 専任の事務局員確保の方策について
- 7. 会費規定の改正について

会議資料・議事録：https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=44

3. 令和元年度国立情報学研究所（N I I）研修事業
<https://www.nii.ac.jp/hrd/>

1) 専門研修

- (1) 目録システム書誌作成研修
- (2) 情報処理技術セミナー

2) 総合研修

- (1) 大学図書館職員短期研修（主催：京都大学・東京大学，共催：N I I）
- (2) 大学図書館員のための IT 総合研修

4. 国立国会図書館 関連

1) 令和元年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日 程：令和元年11月27日（水）

会 場：国立国会図書館東京本館

報 告：「国立国会図書館による社会貢献活動について」（国立国会図書館）

「大学図書館における社会貢献～市民協働型の公共図書館との連携」（筑波大学附属図書館副館長 呑海 沙織）

5. 最近のトピックス

1) 「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」について

（令和2年6月5日通知）

https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_5.pdf

「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」p.26より

8 その他

(2) 大学図書館に関すること

大学等における教育研究の上で、重要な役割を担っているサービス（図書・文献取寄せサービス等）については、引き続きオンラインサービスの充実を図りつつ、ニーズを踏まえ、感染拡大防止のための措置を最大限講じた上で、貴重書や寄託物、著作権、契約上の制限等に配慮しつつ、可能な範囲での早期利用可能化について、以下の事項を含め検討いただきたい。

（大学図書館サービスの工夫について）

- ・国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の参加館において、館内閲覧・複写サービスを継続・再開する。
- ・閲覧が館内に限定されているデータベース、電子ジャーナル、電子書籍等の館外利用を可能にする。
- ・図書館への来館を伴わない貸出及び複写サービスを実施する。
- ・日時・場所を限定したサービスを実施する。（短時間の入館許可、事前申込制、閲覧を伴わない貸出、古典籍資料や貴重書などの図書・文献取寄せサービスになじまない資料の閲覧等）

2) 授業目的公衆送信補償金制度の早期施行（令和2年4月28日施行）

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う遠隔授業等のニーズに対応するため、本制度の緊急的かつ特例的な運用を開始。
- ・指定管理団体である「一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会」（サートラス）からの申請に基づき、令和2年度に限った特例的措置として、保証金額を無償とした。
- ・「著作物の教育利用に関する関係者フォーラム」において、令和2年度の緊急的かつ特例的な運用のためのガイドライン「改正著作権法第35条運用指針（令和2（2020）年度版）」を策定。

<https://sartras.or.jp/unyoshishin2020/>

3) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画（令和2年7月14日公表）

- ・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）に基づき、関連施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定。
 - ・施策の方向性（大学図書館関連事項）
https://www.mext.go.jp/content/20200714-mxt_kyousei02-000008566_2.pdf
- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」p.9-10より

1. 視覚障害者等による図書館の利用に係る体制の整備等（第9条関係）

【基本的な考え方】

公立図書館、大学及び高等専門学校の附属図書館、学校図書館（以下「公立図書館等」という。）並びに国立国会図書館について、点字図書館とも連携して、アクセシブルな書籍等の充実、アクセシブルな書籍等の円滑な利用のための支援の充実その他の視覚障害者等によるこれらの図書館の利用に係る体制整備を図る。

【円滑な利用のための支援の充実】

・インクルーシブ教育システムの理念にのっとり、視覚障害等のある児童生徒及び学生等が在籍する初等中等教育機関及び高等教育機関において読書環境を保証することが重要であり、以下の取組を推進する。

③全国の大学及び高等専門学校の附属図書館が保有するアクセシブルな書籍等の所在情報を共有するためのリポジトリを国立情報学研究所において整備し、視覚障害者等による円滑な利用を促進する。また、同リポジトリと国立国会図書館のデータベースとの連携について検討を進める。更に、同リポジトリやデータベース等で公開される学術論文等について、視覚障害者等のアクセシビリティの向上に努める。

④全国の大学等の障害学生支援を担う施設は、大学図書館に類する役割や機能を有する施設であれば、著作権法施行令（昭和45年政令第335号）において視覚障害者等のための複製が認められる者として位置づけられていることについて大学等に周知するとともに、大学等の図書館と学内の障害学生支援担当部局等の関係部局との情報共有を促進し、相互の連携を強化する。

4) 電子ジャーナル問題：文部科学省ジャーナル問題検討部会の検討状況

- ・購読価格上昇の問題に加え、近年のオープンアクセス・ジャーナルの急速な普及に伴い、論文投稿時に出版社に支払う「論文投稿料（論文処理費用）（Article Processing Charge: APC）」の負担増大の問題が顕在化し、学術誌を取り巻く問題がより複雑化している状況を踏まえ、学術誌の費用負担や、オープンアクセス・ジャーナルに対する総合的な対応策を検討するため、科学技術・学術審議会 情報委員会のもとに、「ジャーナル問題検討部会」を設置。
- ・今後の検討の進め方について、我が国としての方向性も見据えつつ、研究成果発表・公開に係る経費増への支援、オープンアクセス化への動きへの対応、研究成果の発信力強化の在り方、論文数のみに依存しない研究者評価の在り方等の課題を、短期的、中期的、長期的な課題に分け議論していくこととした。
- ・短期的な課題として、研究成果発表・公開に係る経費高騰への対応の在り方として、価格交渉力、バックファイルの整備状況等について議論し、バックファイル整備等、セーフティネットを確保する必要があること、大学等内部でジャーナル等の経費確保の交渉をする際に、図書館の声だけではなく、研究者の声を吸い上げる必要があること、JUSTICE にすぐに経営層を混ぜるといったことは困難なため、各大学等で、経営層の一部を巻き込んだ組織を作るなど、JUSTICE と大学等の両方向から進める必要があること等の方向性が議論された。

- ・今後は APC 負担増に対する支援策等について議論する予定。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/001/index.html

5) オープンサイエンスの推進に向けた大学図書館の役割

- ・日本学術会議提言「オープンサイエンスの深化と推進に向けて」（令和2年5月28日公開）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t291-1.pdf>

「オープンサイエンスの深化と推進に向けて」p.17-20より

5.1 オープンサイエンスの深化と推進に向けて

オープンサイエンスの深化と推進のためには、大学を中心とした研究機関がどのようなデータを共有し、どのようなデータを守るかが重要になっている。例えば、大学はオープンな場であって、原則的に、全ての学位論文をオープンにしなくてはならないという姿勢そのものが意思表示であり、大学というものの在り方に関わってくる。それゆえ、産業界と連携する場合には、秘匿性が高く非公開とすべきデータの取り扱いについて、関係者の合意によって守る仕組みを考えなければならない。

5.2 提言

2020年1月31日に NIH、AMED など世界の研究資金配分機関や論文誌出版社が協力し、COVID-19 に関する論文投稿前に実験データを WHO に提供することの合意形成がなされたが、これはすなわちプレプリントが最前線における処置の実践データとして最も重要であることを示したことになる。

オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会では、研究データやデータ駆動科学に関連して、個別学術分野や基盤整備に関する国内外の動向調査を進めてきた。各学術分野における研究データの管理や共有の状況には差異はあるものの、それぞれがもつ課題は、以下の3つの必要性に集約される。

- (1) データが中心的役割を果たす時代のルール作りの必要性
- (2) データプラットフォームの構築・普及の必要性
- (3) 第1次試料・資料の永久保存の必要性

国立大学部会関係

（幹事館：東北大学附属図書館）

1. 国立大学図書館協会 関連 <https://www.janul.jp/>

1) 第67回国立大学図書館協会総会

日 程：令和2年6月19日（金）正午～

29日（月）正午

場 所：オンライン投票により実施

議 事：1. 令和2年度理事・監事の選出について

2. 令和元年度決算報告について
3. 令和元年度記念基金決算報告について
4. 令和2年度事業計画について
5. 委員会設置要項について
6. 令和2年度予算について
7. 令和2年度記念基金予算について
8. 令和3年度以降の総会開催地区ローテーションについて

関連資料：<https://www.janul.jp/ja/operations/general>

2) 令和元年度国立大学図書館協会秋季理事会

日 時：令和元年11月8日（金）14：00～17：00

場 所：広島大学図書館ライブラリーホール

議 事：1. 報告事項

- (1) 第66回総会等について
- (2) 各委員会等報告
- (3) 各地区協会報告
- (4) 令和元年台風19号による会員館の被害状況について
- (5) 地区助成事業申請状況について
- (6) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (7) 日本図書館協会関連報告
- (8) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告
- (9) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (10) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告

2. 協議事項

- (1) 協会現ビジョン総括及び次期ビジョン策定スケジュールについて
- (2) オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画について
- (3) 新たな「大学設置基準」に向けた大学図書館機能の考え方について
- (4) 令和元年度国立大学図書館協会シンポジウムについて
- (5) 海外派遣事業実施要項の改正および令和2年度海外派遣事業の実施について
- (6) 第67回総会の日程について

3) 令和元年度国立大学図書館協会春季理事会

日 時：令和2年5月15日（金）14：00～17：00

場 所：オンライン会議により実施

議 事：1. 報告事項

- (1) 各委員会等報告
- (2) ビジョン推進事業報告
- (3) 各地区協会報告
- (4) 地区協会助成事業報告
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告
- (8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (9) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告

2. 協議事項

- (1) 委員会設置要綱について
- (2) ビジョン推進事業費の繰り越しについて
- (3) 国立大学図書館協会シンポジウムについて
- (4) オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画にかかる予算措置について
- (5) 大学図書館等の閉館を維持したままでも可能な緊急支援施策に関する要望書（第一次）について
- (6) 令和元年度決算（案）について
- (7) 令和2年度事業計画（案）について
- (8) 令和2年度予算（案）について
- (9) 関係団体への派遣役員について
- (10) 第67回総会について
- (11) 第68回総会の当番館・日程について

4) 令和2年度国立大学図書館協会第1回理事会

日 時：令和2年6月30日（火）

～7月2日（木）（議事1）

令和2年7月3日（金）

～7月10日（金）（議事2～5）

場 所：オンライン投票（議事1）・メール会議（議事2～5）により実施

議 事：1. 会長・副会長の選出について

2. 委員長の指名について
3. 理事会付託事項について
4. 今後の日程について
5. その他
 - (1) 令和2年度海外派遣事業について
 - (2) 第67回総会の議事、またはその他の事業に関する意見について

5) 声明の公表

標 題：オープンサイエンスの推進に向けた協会の
行動計画

公表日：令和2年1月15日（水）

内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20200115>

6) 報告書の公表

標 題：シェアード・プリントWG 報告書

作 成：国立大学図書館協会 学術資料整備委員会
シェアード・プリントWG

公表日：令和2年6月11日（木）

内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20200611>

標 題：研究データに関する研究者の実態とニーズ
の把握のための調査の手引き・研究データ
のオープン化とそのメリット

作 成：国立大学図書館協会 オープンアクセス委員会

公表日：令和2年6月15日（月）

内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20200615>

2. 国立大学図書館協会東北地区協会 関連

1) 令和元年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

日 時：令和元年12月16日（月）13:30～17:00

場 所：東北大学附属図書館

議 事：1. 報告事項

(1) 令和元年度国立大学図書館協会秋季
理事会について

(2) 令和元年度国立大学図書館協会地区
助成事業について

(3) 図書系専門試験委員会について

2. 協議事項

(1) 図書館担当職員の確保について

3. 承合事項

(1) オープンアクセス方針の策定状況に
ついて

(2) 危機管理マニュアルの整備状況につ
いて

(3) 時間外開館担当アルバイト学生の指
導方法について

2) 第51回国立大学図書館協会東北地区協会総会

日 時：令和2年4月14日（火）～4月27日（月）

場 所：メール会議により実施

議 事：1. 国立大学図書館協会東北地区協会理事・
当番館等について

2. 第67回国立大学図書館協会総会に向
けての準備事項について

3. 国立大学図書館協会地区助成事業への対応について

3. その他

1) 第93次国立七大学附属図書館協議会

日 時：令和元年11月8日（金）10:00～12:00

場 所：広島大学中央図書館ライブラリーホール

議 事：1. 講義資料・教材の電子的配信について

2. 図書館における国際交流の状況について

3. 図書館運営経費と学生用図書費の確保
について

4. 電子ジャーナル購読方式について

5. 「OA2020へのロードマップ」実現
のための具体的なアクションについて

6. 研究データ管理・公開のための学内の
体制整備について

7. 協議事項等の記録の引継ぎについて

8. 本協議会における陪席の取り扱いにつ
いて

公立大学部会関係

（幹事館：公立大学法人岩手県立大学メディアセンター）

○第52回2020年（令和2年）度公立大学協会図書館協議会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月12日（金）に予定していたが中止とした。今後の総会については、集会形式を行わず、メール審議による形式で9月中に実施する予定。

開催館（会長館）：都留文科大学附属図書館

○令和2年度公立短期大学図書館協議会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面回議による開催

期 日：令和2年8月中旬以降（予定）

総会当番館：鹿児島県立短期大学附属図書館（会長館）

議 事

報告事項

1) 令和2年度役員紹介

2) 令和元年度事業報告

3) 令和元年度決算報告及び監査報告

協議事項

1) 令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について

2) 日本図書館協会代議員選出について

3) 旅費規程について

その他

1) 承合事項

2) 令和3年度役員紹介

○令和2年度公立短期大学図書館協議会研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

私立大学部会関係

(幹事館：仙台青葉学院短期大学，東北芸術工科大学)

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に（2019年8月29日～2020年8月31日）

加盟校 524校（2019年8月29日現在） 東地区部会 266校

※東北地区加盟校（50音順） 23校

石巻専修大学、医療創生大学、奥羽大学、郡山女子大学、尚綱学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北医科薬科大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北女子大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、日本大学工学部、ノースアジア大学、八戸学院、八戸工業大学、東日本国際大学・いわき短期大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

○ 2020年度私立大学図書館協会東地区部会総会

日時：2020年6月16日（火）

～2020年6月19日（金）

主催：法政大学

形式：e-mailとWeb入力フォームを活用した個別回答方式

I. 協議事項

(1) 報告事項

なし

(2) 協議事項

- ① 2019年度 東地区部会事業報告
- ② 2019年度 東地区部会決算報告及び監査報告
- ③ 2019年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告
- ④ 2020年度 東地区部会事業計画（案）及び予算（案）
- ⑤ 2020年度 東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

II. 館長会

中止

III. 研究講演会

中止

令和元年度 研修部会 活動報告

1. 研修部会名簿

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日

部会	所 属	職 名	氏 名
国立	秋田大学 附属図書館	主 査	杉山 禎広 〔主査〕
国立	東北大学 附属図書館工 学分館	係 員	上村 法子 〔庶務幹事〕
公立	岩手県立大学 メディア センター	係 員	木村 祐子
私立	八戸工業 大学図書館	係 員	正部家 真由
私立	東北学院大学 図書館	課長補佐	小山 純

2. 研修部会開催状況

2-1. 第1回研修部会

日時：令和2年7月29日（水）10：00～11：10

会場：オンライン会議により実施

出席者：杉山禎広（秋田大）、上村法子（東北大）、
木村祐子（岩手県立大）、
正部家真由（八戸工業大）、
小山純（東北学院大）

陪 席：細川聖二・田口秀樹（協議会事務局：東北大）

概 要：今期部会の体制を確認し、今後の活動内容・方針・スケジュールについて審議・意見交換を行った。次回（令和3年）のフレッシュパーソンセミナーについてオンライン形式での開催を基本として今後検討していくこととした。

3. その他の活動状況

3-1. 「大学図書館職員初任者マニュアル」の改訂について

研修部会で作成し改訂した「大学図書館職員初任者マニュアル」（初版：2011年3月発行、第2版：2012年3月発行）について、前期から継続して改訂を行い、今期中の改訂完了を目指すこととした。

3-2. 東北地区に必要な研修の検討

フレッシュパーソンセミナーとは異なるレベルの研修の必要性の検討に向けて、まずは研修ロードマップを作成することとした

令和元年度決算書（案）

自 令和元年 9月 1日
至 令和2年 8月31日

項 目	元年度予算額	元年度決算額	増△減	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	1,200,900	1,200,900	0	
会 費	945,000	945,000	0	15,000円×63館
雑 収 入	140,017	120,015	△ 20,002	協賛広告 協議会誌第71号 (20,000円×6社) 郵貯等利子 (15円)
計	2,285,917	2,265,915	△ 20,002	
(支 出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	484,000	34,000	会誌第71号
總會補助費	200,000	0	△ 200,000	
事業費	150,000	0	△ 150,000	
部会活動費	150,000	0	△ 150,000	
通信運搬費	40,000	33,106	△ 6,894	会誌郵送料、会費納入依頼郵送料等
積立繰入金	94,500	94,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	20,000	0	△ 20,000	
雑 費	30,000	15,880	△ 14,120	会計監査旅費等
予備費	1,131,417	0	△ 1,131,417	
次年度繰越	0	1,638,429	1,638,429	
計	2,285,917	2,265,915	△ 20,002	

令和元年度 記念事業基金決算書（案）

自 令和元年 9月 1日
至 令和2年 8月31日

項 目	元年度予算額	元年度決算額	増△減	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	643,236	643,236	0	
積立金	94,500	94,500	0	記念事業実施のための積立
利 息	4	6	2	郵貯利子
計	737,740	737,742	2	
(支 出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	737,740	737,742	2	
計	737,740	737,742	2	

令和元年度監査報告

令和元年度東北地区大学図書館協議会監査報告

1. 日 時：令和2年9月9日（水）14：00 ～15：00
2. 場 所：東北大学附属図書館
3. 監査対象期間：令和元年9月1日～令和2年8月31日
4. 監査結果：

東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。

監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

令和2年9月9日

監査館

青森公立大学図書館

教務・学生チーム主査 一町田



尚絅学院大学図書館

教育研究支援課長 小島里美



令和2年度 事業計画（案）

令和2年9月1日～令和3年8月31日

1. 第75回総会の開催

令和2年9月24日（木）～9月30日（水）、弘前大学を当番館として開催（メール会議により実施）

2. 会誌第72号の刊行

令和3年5月 刊行予定

3. 研修部会の活動

① 2021（令和3）年フレッシュパーソンセミナーの開催

（オンライン形式での開催を前提に企画・運営を検討）

② 「大学図書館職員初任者マニュアル」の改訂

③ 東北地区に必要な研修の検討：研修ロードマップの作成

（フレッシュパーソンセミナーとは異なるレベルの研修の必要性）

4. 合同研修会の開催

開催当番 青森地区の予定（次頁のとおり）

5. 職員の表彰

① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者

② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

6. 記念事業基金の積立

令和2年度通常会計から、記念事業基金（75,600円）を繰入予定

26	青 森	弘前大学	電子書籍サービスと学習・教育支援
27	岩 手	岩手大学	図書館のコミュニケーション能力を考える：メディアリテラシーからの考察と初歩的な対応手法を学ぶ
28	秋 田	秋田大学	これからの大学図書館員が進むべき方向を探る：オープンサイエンスが秘める可能性
29	山 形	山形大学	著作権法改正と図書館サービス
30	福 島	福島大学	「新しい学び」を創発する大学図書館・図書館職員の役割とは
元	宮 城	東北大学 宮城教育大 学	電子コンテンツ、オープンアクセス、そして JUSTICE [オンライン開催]
02	青 森		
03	岩 手		

注：会場大学の決定については、当番地区において協議するものとする。

令和2年度合同研修会について

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

〔提案理由〕

令和2年度は 青森地区 が開催当番の予定になっているので、確認願いたい。

〔参考〕

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

（平成22年9月16日承認，平成28年9月30日更新）

年度	当番地区	会場大学	テーマ
22	秋 田	秋田大学	図書館を守る
23	山 形	山形大学	学生、教職員そして社会が求める大学図書館職員像
24	福 島	福島大学	図書館における学習支援に関するサービスの現状と展望について
25	宮 城	東北大学	アクティブラーニングとは何か？その実践とは？：アクティブラーニングを通じて大学図書館と大学のつながりを考える

令和 2 年度 予算書 (案)

自 令和 2 年 9 月 1 日
至 令和 3 年 8 月 31 日

項 目	元年度予算額	2 年度予算額	増△減	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	1,200,900	1,638,429	437,529	
会 費	945,000	756,000	△ 189,000	12,000 円× 63 館
雑 収 入	140,017	120,015	△ 20,002	協賛広告 協議会誌第 72 号 (20,000 円× 6 社) 郵貯等利子 (15 円)
計	2,285,917	2,514,444	228,527	
(支 出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	480,000	30,000	会誌第 72 号
総会補助費	200,000	200,000	0	実費精算
事業費	150,000	150,000	0	合同研修会補助, 表彰関係
部会活動費	150,000	150,000	0	研修部会 (会議開催等)
通信運搬費	40,000	40,000	0	郵送料等
積立繰入金	94,500	75,600	△ 18,900	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	20,000	0	総会打合せ旅費等
消耗品費	20,000	20,000	0	会誌送付用封筒等
雑 費	30,000	30,000	0	会計監査旅費等
予 備 費	1,131,417	1,348,844	217,427	
計	2,285,917	2,514,444	228,527	

令和 2 年度 記念事業基金予算書 (案)

自 令和 2 年 9 月 1 日
至 令和 3 年 8 月 31 日

項 目	元年度予算額	2 年度予算額	増△減	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	643,236	737,742	94,506	
積 立 金	94,500	75,600	△ 18,900	通常会計から繰入
利 息	4	6	2	郵貯利子
計	737,740	813,348	75,608	
(支 出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
次年度繰越	737,740	813,348	75,608	
計	737,740	813,348	75,608	

令和 2 年 9 月 2 4 日
常任幹事館 東北大学附属図書館

東北地区大学図書館協議会会則の改正について（案）

第 7 4 回東北地区大学図書館協議会総会（令和元年 9 月 2 0 日開催）において承認された令和 2 年度からの年会費の改訂等について、東北地区大学図書館協議会会則の改正をお諮りするものである。

- ・会則の改正（別紙 1 参照）
第 9 条第 1 項「会費は年額 1 5, 0 0 0 円とする。」を「会費は年額 1 2, 0 0 0 円とする。」に変更。
- ・令和 2 年度会費から、1 2, 0 0 0 円の請求とする。

(案)
東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年 5月30日 制定
令和 2年 9月30日 最近改正

- 第 1 条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。
- 第 2 条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。
- 第 3 条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。
- 第 4 条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。
- 第 5 条 本会に顧問を置くことができる。
顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。
顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。
- 第 6 条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。
1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2カ年とする。但し、重任することができる。
- 第 7 条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2カ年とする。但し、重任することができる。
- 第 8 条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。
- 第 9 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額~~15,000円~~
12,000円とする。
2 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。
- 第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。
- 第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

(略)

附 則 (令和2年9月30日第75回総会)

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

東北地区大学図書館協議会 会費の変更について

当協議会における近年の活動状況および予算執行状況に鑑みて、会費額の変更および会費納入対象年度の変更を提案したい。

1. 会費額の変更について

〔背景〕

この5年間、予備費（翌年度への繰越金）が100万円を超えている。
実質的な支出額とほぼ同じか、それ以上の額が繰越になっている。（別紙参照）

〔変更案〕

令和2年度会費から、年額15,000円を12,000円に変更する。

〔変更案への対応方法〕

- ・会則（参考資料1参照）の改正
第9条第1項「会費は年額15,000円とする。」を「会費は年額12,000円とする。」に変更
→次回総会で協議（令和2年9月施行）
- ・令和2年度会費から、12,000円の請求とする。

2. 会費納入対象年度の変更について

〔現状〕

- 毎年5月に会費を請求し、7月を納入期限としている。
国立と公私立とは、納入する対象年度が異なる。
- ・国立 当該年度の会費
例：令和元年7月に平成30年度（平成30年9月－令和元年8月）の会費を納入
 - ・公私立 翌年度の会費
例：令和元年7月に令和元年度（令和元年9月－令和2年8月）の会費を納入

〔変更案〕

すべて、当該年度の会費納入に変更する。

〔変更案への対応方法〕

- ・請求・納入時期（毎年5月請求、7月までに納入）は変更なし。
 - ・令和2年5月に、国立にのみ、令和元年度会費（15,000円）の請求を行う。
- ※公私立は、令和元年7月に令和元年度会費（15,000円）を納入済
→令和元年度予算の時点では、収入額に変更はない。
- ・令和3年5月に、全加盟館へ、令和2年度会費の請求を行う。（以後、毎年同様）

第76回総会の当番地区（館）について

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

〔提案理由〕

第76回総会は 宮城地区 が当番の予定になっているので、確認願いたい。

〔参考〕

東北地区大学図書館協議会総会当番地区（館）予定

（第81回まで、平成29年9月22日承認）

回	年度	当番地区	会 場 大 学	備考
64	21	宮 城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋 田	国 際 教 養 大 学	
66	23	山 形	山 形 大 学	
67	24	宮 城	東 北 大 学	
68	25	青 森	八 戸 工 業 大 学	
69	26	岩 手	岩 手 大 学	
70	27	宮 城	宮 城 教 育 大 学	
71	28	福 島	福 島 大 学	
72	29	秋 田	秋 田 公 立 美 術 大 学	
73	30	宮 城	東 北 学 院 大 学	
74	元	山 形	山 形 大 学	
75	2	青 森	弘 前 大 学	メール会議
76	3	宮 城	宮 城 大 学	
77	4	岩 手		
78	5	福 島		
79	6	宮 城		
80	7	秋 田		
81	8	山 形		

注1：会場大学については、当該地区において協議の上、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注2：開催地区のローテーションの確認について

- ①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので、3年に1回割り振る。
- ②その他の地区は、次のローテーションによる。
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

承合事項 1 : 新型コロナウイルス感染症対策の具体的な取組について

(提案館 : 東北大学附属図書館、山形大学小白川図書館、盛岡大学図書館)

提 案 理 由	<p>提案館では現在、一部サービスを制限した上で開館、貸出等も実施しているが、サービスの提供と利用者の安全のバランスに苦慮しているところである。各館の提供しているサービスと感染拡大防止策について、情報を共有したい。については以下の項目について各館の状況をご教示いただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開館状況 2. 開館時の施設・設備の利用制限 3. 入館対象 4. 提供しているサービス 5. 館内の感染拡大防止策 6. 今後のサービス予定 <p>※本件の回答についてはとりまとめの上、協議会ウェブサイトでの公開を予定しております。公開の可否について、回答用紙に記入ください。</p>
------------------	---

弘前大学 附属図書館	ウェブ公開	■可 □否	
1. 開館状況	臨時休館	4/23 (木) ~ 5/10 (日)	
	時間短縮開館	4/6 (月) ~ 4/22 (水) 平日 9:00(試行 8:30) ~ 17:00, 土日祝 休館 5/11 (月) ~ 5/31 (日) 平日 9:00(試行 8:30) ~ 17:00, 土日祝 休館 6/1 (月) ~ 7/19 (日) 平日 9:00 ~ 17:00, 土日祝 休館 7/20 (月) ~ 8/7 (金) 平日 9:00 ~ 20:00, 土 10:00 ~ 17:00, 日祝 休館	
	通常開館	8/17 (月) ~ 現在 平日 9:00 ~ 17:00, 土日祝 休館	
	2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/11 (月) ~ 5/31 (日) 利用休止 6/1 (月) ~ 現在 座席定数の約 5 割を利用可
		共用 PC	5/11 (月) ~ 現在 PC サテライト利用休止
		その他	3/30 (月) ~ 現在 ラーニング・コモンズ利用休止 5/11 (月) ~ 現在 視聴覚コーナー利用休止
	3. 入館対象	学内	
		学外者	4/1 (水) ~ 現在 入館不可 7/6 (月) ~ 現在 カウンターでの出納制による貸出及び利用証の 新規登録・更新のみ対応 (入館利用は不可)
	4. サービス	閲覧	4/23 (木) ~ 5/10 (日) 休止
		来館貸出	4/23 (木) ~ 5/10 (日) 休止
郵送貸出		未実施	
複写		4/23 (木) ~ 5/10 (日) 複写依頼は公費のみ受付 5/11 (月) ~ 現在 通常運用	
ILL		4/23 (木) ~ 5/10 (日) 相互貸借依頼は休止 5/11 (月) ~ 現在 通常運用	
レファレンス		4/23 (木) ~ 5/10 (日) 休止	
電子資料の学外アクセス		以前から可 (学認または VPN 接続)	
その他		返却期限の延長 (返却期限が 4/1 ~ 5/10 → 5/11 に変更)	
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 窓口に飛沫防止ビニールシート設置 ・ ドアノブ、カウンター、キーボード、コピー機等の消毒 ・ 閲覧室の換気 ・ 職員のマスク着用 ・ ブックポストの常時利用 		
6. 今後のサービス予定	後期の対面授業開始に伴い、開館時間を延長する。 9/28 (月) ~ 平日 9:00 ~ 22:00, 土日 10:00 ~ 17:00, 祝日 休館		

岩手大学 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/18(土)～5/6(水)	
	時間短縮開館	4/6(月)～4/17(金) 平日 9:00～17:00 土日 10:00～18:00		
	通常開館	～4/5(日)、5/7(木)～7/19(日) 平日 9:00～21:00 土日 10:00～18:00 7/20(月)～8/7(金) ※試験期間・延長開館 平日 9:00～21:45 土日 10:00～18:00 8/18(火)～現在 ※夏季短縮開館 平日 9:00～17:00 土日 10:00～18:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/7(木)～5月31(日) 利用停止 6/1(月)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	共用 PC	6/1(月)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	その他	4/6(月)～現在 グループ学修室・エリアの利用休止		
3. 入館対象	学内	身分・年次等による制限はしていない。		
	学外者	4/6(月)～6/14(日) 入館不可・全てのサービスを休止 6/15(月)～6/30(火) 入館不可・利用証の作成、出納での貸出等、一部サービスを再開 7/1(水)～現在 短時間の入館可		
4. サービス	閲覧	4/18(土)～5/6(水) 休止		
	来館貸出	4/18(土)～5/6(水) 休止		
	郵送貸出	未実施		
	複写	4/18(土)～5/6(水) 休止 5/7(木)～現在 通常どおり実施		
	ILL	4/18(土)～5/6(水) 休止 5/7(木)～現在 通常どおり実施		
	レファレンス	休館中は電話・メール等で受付 5/7(木)～現在 通常どおり実施		
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (VPN 接続)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・簡易マスクの提供 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター前等での待機位置指定 (フットプリント等) ・閲覧席、PC、共有物品の消毒 ・換気 ・館内でのマスク着用義務化 ・会話の禁止・グループでの活動不可 ・学外利用者への段階的なサービス再開によるカウンターの混雑緩和 		
6. 今後のサービス予定		大学のBCPに準拠しながら状況に応じて、持続可能なサービスを継続して提供する。		

東北大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/13(月)～6/21(日)	
	時間短縮開館	4/7(火)～4/10(金) 平日 9:00～17:00 6/22(月)～現在 平日 9:00～17:00		
	通常開館	～4/6(月) 平日 8:00～22:00・土日祝日 10:00～22:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/22(月)～7/10(金) 利用休止 7/13(月)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	共用 PC	4/1(水)～現在 利用休止 (貸出用ノート PC を含む)		
	その他	3/3(火)～現在 グループ学習室利用休止		
3. 入館対象	学内			
	学外者	4/7(火)～現在 入館不可 7/13(月)～現在 事前予約・出納制による貸出時のみ来館可 (玄関の受付で対応、ゲート内入館は不可)		
4. サービス	閲覧	4/13(月)～6/21(日) 休止		
	来館貸出	4/13(月)～5/13(水) 休止 5/14(木)～6/19(金) 教員等へ事前申込・出納制による貸出		

	郵送貸出	5/20(水)～6/18(木) 学生対象(送料大学負担) 6/19(金)～現在 市外在住学生対象(送料大学負担)
	複写	4/13(月)～5/21(木) 休止 5/22(金)～6/19(金) 教員等へ事前申込・引渡しによる提供 6/22(月)～現在 通常運用
	ILL	4/13(月)～5/31(日) 休止
	レファレンス	4/13(月)～現在 オンラインレファレンス
	電子資料の学外アクセス	以前から可(学認またはVPN接続)
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・非接触型体温測定装置の設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター前等での待機位置指定(フットプリント等) ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気 ・館内巡回による不適切な利用時の注意
6. 今後のサービス予定		<ul style="list-style-type: none"> ・大学BCPに合わせた「図書館サービス再開ロードマップ」により実施 ・10/1(木)より開館時間延長(平日9:00～20:00)

宮城教育 大学附属 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/2(木)～5/14(木)	
	時間短縮開館	4/1(水) 平日 9:00-17:00 (春季休業期間のため) 5/15(金)～6/28(日) 平日 10:00-16:00 6/29(月)～7/7(火) 平日 9:00-17:00 7/8(水)～現在 平日 9:00-20:00, 土日 10:00-17:00 (7/23, 24, 8/10は祝日だが通常授業が行われたため平日として開館)		
	通常開館	【予定】10/1(木)～ 平日 9:00-22:00, 土日 10:00-17:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/15(金)～6/28(日) 利用休止 6/29(月)～現在 座席定数の約3割を利用可		
	共用PC	5/15(金)～7/7(火) 利用休止 7/8(水)～現在 5割を利用可		
	その他	7/20(月)～現在 人数制限の上で館内施設を予約利用可		
3. 入館対象	学内	5/15(金)～7/19(日) 学生は前日までの来館予約必要 7/20(月)～現在 制限なし		
	学外者	4/2(木)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/2(木)～5/14(木) 休止		
	来館貸出	4/2(木)～5/14(木) 休止		
	郵送貸出	実施せず		
	複写	4/2(木)～5/14(木) 休止		
	ILL	4/2(木)～5/14(木) 休止		
	レファレンス	4/2(木)～5/14(木) 休止		
	電子資料の学外アクセス	以前から可(学認またはVPN接続) 一部のDBは期間限定アカウントがバンダーから配布		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・貸出中ではない資料への予約可 ・貸出期間の延長・罰則の解除 ・自動貸出装置の停止 ・消毒液の設置 ・非接触型体温測定装置の設置 ・窓口への飛沫防止カーテンの設置 ・職員へのフェイスシールド配布 ・閲覧席への使用済カードの設置 ・カウンター、コピー機、閲覧席等の定期消毒 ・閲覧室の換気 		
6. 今後のサービス予定		後期の対面授業が開始される10/1から通常開館とする予定(平日9:00-22:00・土日10:00-17:00)。また、閲覧席の消毒は使用した利用者が各自持参の消毒用ウェットティッシュで行う予定。		

秋田大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/27(月)～6/18(木)	
	時間短縮開館	6/19(金)～現在 10:00～16:00 (入館予約制)		
	通常開館	～4/1(水) 平日 8:30～22:00・土日祝日 12:00～18:00, 長期休業期 平日 8:30～17:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/19(金)～7/3(金) 利用不可 7/6(月)～現在 上限 30 席		
	共用 PC	3/9(月)～現在 利用休止 (貸出ノート PC 含む)		
	その他	3/9(月)～現在 グループ学習室利用休止		
3. 入館対象	学内	4/2(木)～現在 予約者のみ		
	学外者	3/9(月)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/2(木)～6/18(木) 休止		
	来館貸出	4/2(木)～6/18(木) 事前予約・出納制		
	郵送貸出	未実施		
	複写	4/2(木)～6/18(木) 事前予約		
	ILL	4/2(木)～6/2(火) 複写のみ		
	レファレンス	4/2(木)～現在 事前予約		
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (学認)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用 ・消毒薬設置 ・非接触型体温計設置 ・窓口へのビニール及び飛沫防止パネル設置 ・距離確保のためのフットプリント設置 ・共用場所、使用座席、返却資料の消毒 ・閲覧室の換気 ・館内巡回による不適切な利用時の注意 		
6. 今後のサービス予定		県及び大学の方針に沿って決定。		

秋田大学 附属図書館 医学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/25(土)～6/18(木)	
時間短縮開館		3/2(月)～4/24(金) 平日 8:30～17:00 6/19(金)～現在 平日 10:00～16:00		
通常開館				
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/19(金)～現在 利用者限定及び予約制		
	共用 PC	3/2(月)～現在 利用休止 (貸出用ノート PC を含む)		
	その他	3/2(月)～現在 各学習室利用休止		
3. 入館対象	学内	6/19(金)～現在 学生は予約制にて入館		
	学外者	3/2(月)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/13(月)～6/21(日) 休止		
	来館貸出	～6/18(金) 教職員のみ事前予約にて実施 6/19(金)～現在 教職員及び一部学生のみ可		
	郵送貸出			
	複写	4/25(土)～6/18(木) 休止 6/19(金)～現在 教職員及び一部学生のみ可		
	ILL	4/25(土)～6/18(木) 現物貸借休止		
	レファレンス	3/2(月)～現在 来館できない利用者には電話もしくはメールで対応		
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (学認)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター前等での待機位置指定 (フットプリント等) ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気 ・閲覧機の定期消毒 ・館内巡回による不適切な利用時の注意 		
6. 今後のサービス予定				

山形大学 小白川 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/17(金)～現在(7/1(水)以降一部開館)	
	時間短縮開館	7/1(水)～現在		
	通常開館	11月以降を予定		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	3/3(火)～現在 利用中止 ・1階リフレッシュルーム ・1階プレゼンテーションエリア ・2階各個室 ・3階各個室 4/1(水)～現在 利用中止 ・1階グループワークエリア 4/1(水)～7/1(水) 利用中止 ・1階情報検索エリア 4/17(金)～6/30(火) ・2-5階閲覧室 利用中止 7/1(水)～現在 ・2-3階閲覧室の一部を資料閲覧目的に開放		
	共用PC	4/1(水)～7/1(水) 利用中止 (貸出用ノートPCは現在まで)		
	その他			
3. 入館対象	学内	4/9(木)～6/30(火) ・学部生、大学院生、研究生 入館不可 7/1(水)～現在 ・学部4年生、大学院生 来館予約後、入館可能 8/18(火)～現在 ・学部3年生 来館予約後、入館可能		
	学外者	4/1(水)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/9(木)～6/30(火) 休止		
	来館貸出	4/9(木)～6/30(火) ・学部生、大学院生、研究生および学外者利用不可 (学外者は現在まで利用不可) 7/1(水)～現在 ・学部4年生、大学院生 来館予約後、手続き可能 8/18(火)～現在 ・学部3年生 来館予約後、手続き可能		
	郵送貸出			
	複写	4/9(木)～6/30(火) ・学部生、大学院生、研究生および学外者利用不可 (学外者は現在まで利用不可) 7/1(水)～現在 ・学部4年生、大学院生 来館予約後、複写可能 8/18(火)～現在 ・学部3年生 来館予約後、複写可能		
	ILL	4/9(木)～5/31(日) ・学部生、大学院生、研究生および学外者利用不可 6/1(月)～6/30(火) ・学部生、大学院生、研究生 指導教員を通して申し込み可 7/1(水)～現在 ・学部4年生、大学院生 来館予約後、手続き可能 8/18(火)～現在 ・学部3年生 来館予約後、手続き可能		
	レファレンス	以前から可 (電話またはオンライン)		
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (学認接続)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)	・消毒液およびマスクの設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気(9時、12時、15時)			
6. 今後のサービス予定	大学活動制限指針に合わせた「小白川図書館感染症対策ガイドライン」(8/21付け)を基に9/23(水)以降の対応を予定			

山形大学 医 学 部 図 書 館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/27(月)～5/31(日)	
	時間短縮開館	4/3(金)～4/24(金) 平日 8:45～17:00 6/1(月)～現在 平日のみ 8:45～17:00		
	通常開館			
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/24(金)まで学内者のみ通常 6/1(月)～6/8(月)まで使用不可 6/8(月)以降半減 6/8(月)～最終学年のみ使用可 6/22(月)～医5-6年, 看4年のみ使用可		
	共用PC	4/24(金)まで通常 6/1(月)～6/8(月)使用不可 6/8(月)以降半減 6/8(月)～最終学年のみ使用可 6/22(月)～医5-6年, 看4年のみ使用可		
	その他	5/11～入館経路を1ヶ所に制限 個室の利用停止～現在 4/3(金)～現在まで入館記録簿への記入		
3. 入館対象	学内	6/1(月)～6/5(金)教職員のみ 6/8(月)～学内者利用可(短時間)		
	学外者	4/3(金)～入館不可		
4. サービス	閲覧	4/24(金)まで学内者のみ通常 6/1(月)～6/5(金)教職員のみ 6/8(月)～学内者		
	来館貸出	4/24(金)まで学内者のみ通常 6/1(月)～6/5(金)教職員のみ 6/8(月)～学内者		
	郵送貸出	なし		
	複写	短時間のみ		
	ILL	4/24(金)まで通常 4/25～5/10 全て停止 5/10～依頼再開 5/17 まで受付停止		
	レファレンス	開館時は可(短時間)		
	電子資料の学外アクセス	以前から可(学認)に加え、医中誌は特別措置でのアクセスを適用。 学認対応の購読型電子ブックを新たに契約		
	その他	4/25(土)～現在まで無人開館休止 6/1(月)～返却資料の配架を2日保留(ウイルス不活化のため) 資料返却期限の留保		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		※感染対策は「医学部における対面による活動再開のためのガイドライン」に準じる ・三密を避ける。室内を換気する。 ・マスクを着用し、手指衛生を徹底する。 ・同時滞在人数を減らす。利用時間を分ける。 ・備品の供用はできるだけ避ける。 ・ドアノブ等の消毒、供用備品の消毒を行う。 ・長時間の滞在を避ける。		
6. 今後のサービス予定		大学の活動指針レベル1に合わせ、感染対策を徹底した上で通常通り(感染対策のため一部運用が異なる)。		

山形大学 工 学 部 図 書 館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/25(土)～6/18(木)、7/17(金)、7/20(月)	
時間短縮開館		4/1(水)～4/24(金) 平日 8:45～17:00 6/19(金)～8/7(金) 平日 8:45～17:00		
通常開館		8/11(火)～現在平日 8:45～17:00(夏期休業期のため)		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/20(月)～4/24(金) 座席数 1/3 程度の制限 6/19(金)～現在全面利用不可		
	共用PC	4/20(月)～現在間隔をあけて利用可		
	その他	4/1(水)～現在ラーニングコモンズ利用の停止		

3. 入館対象	学内	4/27(月)～6/18(木) 自宅でのオンライン受講が困難な学生は臨時休館中平日 8:45～17:00 の間入館を許可 5/24(月)～6/18(木) 教職員および学部4年生、大学院生のみ臨時休館中平日 8:45～17:00 の間入館を許可 開館日は制限なし	
	学外者	4/1(水)～現在利用不可	
	4. サービス	閲覧	開館日は利用可
		来館貸出	開館日は利用可
		郵送貸出	開館日は利用可
		複写	開館日は利用可
		ILL	開館日は利用可
		レファレンス	開館日は利用可
電子資料の学外アクセス	学認対応資料はアクセス可		
その他	6/19(金)～現在長時間の利用は不可		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)	入館の際に手指消毒及 6/1(月)～現在入館記録表記入		
6. 今後のサービス予定	10/1(木)から通常開館の予定だが、詳細については現時点では不明である。		

山形大学 農学部 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/18(土)～6/18(木)	
時間短縮開館		4/3(金)～4/17(金) 平日 8:45～17:00 6/19(金)～7/10(金) 平日 9:00～15:00 7/11(土)～現在 平日 9:00～17:00		
通常開館		本来の通常開館：平日 8:45～21:00・土日祝日 10:00～17:00 4/2(木)まで春期休業による時間短縮開館、 4/3(金)以降コロナによる時間短縮開館のため、 今年度は通常開館実績なし。		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/19(金)～現在 利用休止 後期 座席定数の約5割を利用可で検討中		
	共用PC	同上		
	その他			
3. 入館対象	学内	4/8(水)～6/18(木)【学生】入館不可 5/22(金)～6/18(木)【教職員】臨時休館中 一部サービス再開 5/27(水)～6/18(木)【卒研学生】臨時休館中 一部サービス再開 6/19(金)～現在【学内者】制限付開館		
	学外者	4/2(木)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/18(土)～6/18(木) 休止		
	来館貸出	4/18(土)～6/18(木) 休止 5/22(金)～6/18(木)【教職員】臨時休館中 貸出再開 5/27(水)～6/18(木)【卒研学生】臨時休館中 貸出再開 6/19(金)～現在 通常貸出		
	郵送貸出	—		
	複写	4/18(土)～6/18(木) 休止 5/22(金)～6/18(木)【教職員】臨時休館中 対応 5/27(水)～6/18(木)【卒研学生】臨時休館中 対応 6/19(金)～現在 通常運用		
	ILL	同上		
	レファレンス	同上		
	電子資料の学外アクセス	以前から可(学認)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター前等での待機位置指定(フットプリント等) ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気 ・返却本の取り置き 		
6. 今後のサービス予定		大学の活動指針レベルに合わせ、学部にて検討中		

福島大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/22(水)～5/17(日)	
	時間短縮開館	5/18(月)～5/29(金) 平日 10:00～15:00 6/1(月)～7/10(金) 平日 9:00～17:00 7/11(土)～8/7(金) 平日 9:00～17:00、土曜 10:00～17:00 8/8(土)～現在 平日 9:00～17:00、土曜 11:00～17:00		
	通常開館	～4/21(火) 【授業期間】 平日 9:00～21:45、土曜 10:00～21:00、 日祝 10:00-17:00 【休業期間】 平日 9:00～17:00、土日祝 11:00～17:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	3/31(火)～4/21(火) 通常の5～6割程度 4/22(水)～5/29(金) 利用休止 6/1(月)以降、サービスの状況に合わせて、1割未満～3割程度の座席数としている。現在は3割程度。		
	共用PC	4/22(水)～8/7(金) 利用休止 8/8(土)～現在 学習用PCは66台中25台が利用可。蔵書検索専用PCは6台全て利用可。		
	その他	3/10(火)～現在 学習個室の利用休止 4/10(金)～現在 2人以上での利用、及び館内での利用者同士での会話禁止		
3. 入館対象	学内	5/18(月)～5/29(金)、8/24(月)～8/29(土) 本学教員、修士・博士論文研究または卒業研究を行う本学学生のみ 6/1(月)～8/22(土)、8/31(月)～現在 学内者		
	学外者	3/27(金)～4/9(木) 利用制限 4/10(金)～現在 利用休止		
4. サービス	閲覧	4/22(水)～6/30(火) 休止		
	来館貸出	4/22(水)～5/17(日) 休止		
	郵送貸出	6/12(金)～8/7(金) 本学学生対象に実施(往路の送料のみ大学負担)		
	複写	4/22(水)～5/17(日) 休止 6/1(月)～6/30(火) 代行コピーを実施 7/1(水)～現在 通常のセルフコピーと代行コピーを実施		
	ILL	4/22(水)～5/17(日) 休止 5/18(月)～6/30(火) 教員のみ 7/1(水)～現在 通常運用		
	レファレンス	4/22(水)～5/17(日) 休止 5/18(月)～5/29(金) 来館によるレファレンスは不可 6/1(月)～現在 通常運用(メール推奨)		
	電子資料の学外アクセス	学認やVPN等を使用した学外アクセスの環境は無し		
	その他	5/18(月)～現在 貸出希望図書の事前申込(準備完了後に来館して受渡)を実施		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		・手指消毒用アルコールの設置 ・平日毎朝の共用部分等のアルコール消毒 ・窓口に飛沫防止のビニール設置 ・全館の換気(事務室を含む) ・事前申込の図書や返却資料等の除菌		
6. 今後のサービス予定		大学の方針に基づきサービス内容を決定するため、現時点で図書館独自の予定は立てにくい。		
青森公立 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/20(月)～5/1(金)、5/2(土)、5/9(土)、5/16(土)、 5/23(土)、5/30(土)、6/6(土)、6/20(土)、6/27(土)	
	時間短縮開館	5月 平日 9:00～18:30、土曜休館 6月 平日 9:00～19:30、 土曜 9:00～17:00(13日のみ) 7月 平日 9:00～19:30、 土曜 9:00～13:00(毎週) 8月 平日 9:00～17:00、土曜休館 9月 平日 9:00～19:30 土曜 9:00～17:00(5、19、26日)		
	通常開館	8/6(木)～9/4(金) 9:00～17:00		

	2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	5/7(木)～現在 座席数の約5割を利用可、一部ついたてを設置。
		共用PC	5/7(木)～現在 消毒液を設置し、通常利用
		その他	
	3. 入館対象	学内	
		学外者	5/7(木)～現在 返却のみ対応
		閲覧	4/20(月)～5/1(金) 休止
		来館貸出	4/20(月)～5/1(金) 休止
		郵送貸出	実施なし
		複写	4/20(月)～5/1(金) 休止
		ILL	通常実施
		レファレンス	通常実施
5. 館内の感染防止対策(1.～4.以外)	電子資料の学外アクセス	各出版社の臨時アクセス開放情報をHPにて案内。	
	その他		
6. 今後のサービス予定			

青森県立 保健大学 附属図書館	ウェブ公開		■可 □否
	1. 開館状況	臨時休館	4/23(木)～5/6(水・祝)
		時間短縮開館	なし
		通常開館	～4/7(火) 春季休業期間平日8:45～17:00 4/8(水)～4/22(水) 平日及び土曜授業日8:45～19:00 5/7(木)～現在 平日及び土曜授業日8:45～19:00、6月以降の第1・第3土曜日10:00～16:00
	2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	4/9(木)～現在 在席定数の約5割を利用可
		共用PC	制限なし
		その他	4/1(水)～5/31(日) グループ学習室・グループワークルーム・自習室の利用休止 6/1(月)～現在 グループ学習室・グループワークルームの限定的利用、自習室の利用制限なし
	3. 入館対象	学内	通常どおり
		学外者	4/1(水)～5/31(日) 入館不可 6/1(月)～6/7(日) 青森県在住者のみ可 6/8(月)～現在 通常どおり
		4. サービス	閲覧
	5. 館内の感染防止対策(1.～4.以外)	来館貸出	4/23(木)～5/6(水・祝) 教職員のみ可
郵送貸出		なし	
複写		4/23(木)～5/6(水・祝) 教職員のみ可	
ILL		通常どおり	
レファレンス		4/23(木)～5/6(水・祝) 教職員のみ可	
電子資料の学外アクセス		以前から可 (ID・パスワード認証またはVPN接続)	
その他			
6. 今後のサービス予定	特になし		

岩手県立 大 学 メディア センター	ウェブ公開		■可 □否
	1. 開館状況	臨時休館	4/18(土)～5/2(土)、5/9(土)～6/20(土) 毎週土曜日
		時間短縮開館	4/1(水)～17(金)、5/7(木)～6/5(金) 平日9:00～17:00 6/8(月)～現在 平日9:00～19:00 ※無人開館なし

		通常開館	平日 9:00～21:00 (再開時期未定) ※19:00～21:00 無人開館 土曜日 9:00～17:00 (6/27(土)～現在)
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席		5/7(木)～6/5(金) 利用休止 6/8(月)～現在 座席定数の約5割を利用可
	共用PC		5/7(木)～6/5(金) 利用休止 6/8(月)～現在 固定端末の約5割を利用可貸出用は、利用休止
	その他		5/7(木)～現在 グループ学習室利用休止
3. 入館対象	学内		
	学外者		5/7(木)～6/19(金) 入館不可 6/22(月)～現在 入館可
4. サービス	閲覧		5/7(木)～6/5(金) 休止 6/8(月)～現在 通常運用
	来館貸出		5/7(木)～現在 通常運用
	郵送貸出		実施なし
	複写		通常運用
	ILL		通常運用
	レファレンス		4/18(土)～5/2(土) メール、電話等で受付 5/7(木)～現在 通常運用
	電子資料の学外アクセス		以前から可 (VPN 接続または外部 ID) 4～8月末 無料提供による臨時リモートアクセスを利用
5. 館内の感染防止対策 (1.～4. 以外)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 什器の消毒 ・ 換気 ・ カウンターに飛沫防止ガード設置 ・ 利用者自身による座席周り (パソコン等の機器を含む) の消毒実施 ・ ふたがないゴミ箱の撤去 ・ マスク着用、滞在時間の短縮等の協力要請
6. 今後のサービス予定			岩手県立大学新型コロナウイルス感染症対応指針に合わせて検討

宮城大学 総合情報 センター	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館		3/5(木)～6/7(日)
時間短縮開館			6/8(月)～現在 平日 9:00-17:00 (時間外利用は不可)	
通常開館			～3/4(水) 平日 9:00-19:00 (19:15-22:00 時間外利用) 土日祝日 9:00-22:00 (時間外利用)	
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席		3/5(木)～7/6(月) 利用休止 7/7(火)～現在 座席数の約5割が利用可	
	共用PC		3/5(木)～7/6(月) 利用休止 7/7(火)～現在 利用可能	
	その他		3/5(木)～ 時間外利用は不可。グループ閲覧室等の利用不可。ロッカーの利用不可。	
3. 入館対象	学内		6/8(月)～ 現在 教職員は入館記録簿の記入必須 7/7(火)～ 現在 学生は事前申請制	
	学外者		3/5(木)～現在 利用休止	
4. サービス	閲覧		3/5(木)～6/7(日) 休止 6/8(月)～ 教職員のみ利用可 6/16(火)～ 院生の利用可 7/7(火)～ 学生の利用可 (事前申請制)	
	来館貸出		3/5(木)～6/15(火) 学生・院生は利用休止 3/5(木)～6/7(日) 教職員は出納制による貸出 (館内への入館は不可) 6/8(月)～ 教職員の入館による貸出可 6/16(火)～ 院生の入館による貸出可 7/7(火)～ 学生の入館による貸出可	
	郵送貸出		5/25(月)～現在 4年生・大学院生対象 (送料は学生負担)	

	複写	3/5(木)～6/7(日) 教職員は事前に資料を調査のうえ、利用可 6/8(月)～ 現在 教職員は通常運用 3/5(木)～6/15(火) 学生・院生の入館による利用休止 5/25(月)～ 4年生・大学院生を対象に郵送での対応を開始(複写料金・送料は学生負担) 6/16(火)～ 院生の入館による利用可 7/7(火)～ 学生の入館による利用可
	ILL	教職員は通常運用 3/5(木)～5/24(日) 学生・院生は利用不可 5/25(月)～ 4年生・大学院生を対象に郵送での対応を開始(送料は学生負担) 6/16(火)～ 大学院生の入館による申込可 7/7(火)～ 学生の入館による申込可
	レファレンス	3/5(木)～ 休止 6/8(月)～現在 通常運用(教職員) 7/7(火)～現在 通常運用(学生)
	電子資料の学外アクセス	以前より可(リモートアクセスおよびVPN接続) EBookのリモートアクセスIDの作成支援を実施
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・入退館記録簿の記入(教職員) ・事前申請制(学生) ・入口に消毒液の設置 ・感染防止にかかる掲示 ・カウンターに飛沫防止の亚克力板を設置 ・入館口・カウンター付近の待機位置指定 ・カウンター、コピー機、プリンター、検索用端末等の定期消毒 ・閲覧室の定期的な換気 ・返却図書の消毒および一定時間の別置を実施
6. 今後のサービス予定		9/17(木)からの後期授業実施方針にもとづき、図書館でも対応案を作成

秋田県立 大学図書 ・情報 センター	ウェブ公開		■可 □否
	1. 開館状況	臨時休館	4/25(日)～5/6(水)
		時間短縮開館	4/9(木)～現在 平日 8:30～17:00(有人開館) 平日 17:00～22:00(無人開館)
		通常開館	～4/8(水) 平日 8:30～17:00(有人開館) 平日 17:00～22:00(無人開館) 土日祝日 9:00～17:00(無人開館) ※春季休業期間のため、平日は時間短縮開館と同じ開館時間。
	2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	他の利用者と離れて座るよう掲示 椅子の撤去
		共用PC	
		その他	グループ学修室の複数人での利用制限
	3. 入館対象	学内	
		学外者	4/20(月)～5/7(木) 入館不可
	4. サービス	閲覧	
来館貸出			
郵送貸出		5/11(月)～現在 学生対象(送料大学負担)	
複写			
ILL			
レファレンス		5/13(水)～現在 オンラインレファレンス	
電子資料の学外アクセス		臨時のID/PW発行	
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・カウンターへの飛沫防止シートの設置 ・自動貸出返却機、返却ポストの利用推奨 ・自動貸出返却機、カウンター、コピー機等の共有場所の定期消毒 ・閲覧室、グループ学修室、個室の換気 ・館内巡回による不適切な利用時の注意 	
	6. 今後のサービス予定		

秋田公立 美術大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/6 (月) ~ 5/8 (金)	
	時間短縮開館	4/1 (月) ~ 9/30 (水) 平日 8:30 ~ 17:00		
	通常開館	10/1 (木) 予定 ~ 平日 8:30 ~ 20:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/11 (月) ~ 8/12 (水) 座席の約 9 割を利用不可 8/17 (月) ~ 現在 座席の約 5 割を利用可		
	共用 PC			
	その他			
3. 入館対象	学内			
	学外者	5/11 (火) ~ 現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/6 (月) ~ 5/8 (金) 休止		
	来館貸出	4/6 (月) ~ 5/8 (金) 休止		
	郵送貸出			
	複写	4/6 (月) ~ 5/8 (金) 休止		
	ILL			
	レファレンス			
	電子資料の学外アクセス			
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> 消毒液の設置・窓口への飛沫防止板の設置 共用場所の定期消毒・閲覧室の換気 館内巡回による不適切な利用時の注意 		
6. 今後のサービス予定				

国際教養 大 学 中嶋記念 図 書 館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館		
	時間短縮開館	平日: 10:00-18:00 (※カウンターサービスは平日 10:00-18:00) ※ 4/1 (木) 現在 土日祭日: 13:00-20:00		
	通常開館			
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	教職員のみの利用に制限されている (全学オンライン授業のため)		
	共用 PC	学外者の利用不可		
	その他			
3. 入館対象	学内	教職員		
	学外者	利用不可		
4. サービス	閲覧	教職員		
	来館貸出	教職員		
	郵送貸出	図書 5/12 (月) ~ 6/12 (金) 6/15 (月) ~ 7/10 (金) 紙媒体のみで契約の雑誌の文献複写 6/15 (月) ~ 7/31 (金)		
	複写	教職員		
	ILL	教職員		
	レファレンス	対面では教職員、メール及びオンラインレファレンスは全利用者に対応		
	電子資料の学外アクセス	学認、eduGAIN、機関 ID と PW 等により可		
	その他			
	5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		透明なアクリル板で飛沫感染予防のためのパーティションをサービスカウンター、職員のデスク、閲覧席、スタディールームに設置。消毒用のアルコールスプレー、ふき取り用の使い捨てワイプ、ゴミ箱なども多数設置。返却資料の消毒ルームの設置。サービスカウンターでのフェイスシールドの利用。職員による定期的なクリーニングと確認。	
6. 今後のサービス予定		大学のコロナ感染予防対策 BCP に基づいた図書館サービスの範囲について案を策定 (7/22) 平日閉館後の定期的なオンラインレファレンス対応		

山形県公立 大学法人 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/20 (月) ~ 6/1 (月)	
	時間短縮開館			

	通常開館	～ 4/3 (金) 平日 9 : 00 ～ 19 : 00、土曜日 9 : 30 ～ 16 : 00
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	6/2 (火) ～ 8/3 (月) 座席定数の約 2 割を利用可 8/4 (火) ～現在 座席定数の約 5 割を利用可
	共用 PC	4/6 (月) ～ 6/1 (月) 利用休止 6/2 (火) ～現在 各階 1 台のみ、蔵書検索のみ使用可としている。
	その他	
3. 入館対象	学内	
	学外者	4/6 (月) ～ 8/3 (月) 入館不可 8/4 (火) ～現在 利用可 (利用者カードの提示要)
4. サービス	閲覧	4/20 (月) ～ 6/1 (月) 休止
	来館貸出	4/20 (月) ～ 6/1 (月) 休止
	郵送貸出	
	複写	4/20 (月) ～ 6/1 (月) 学内者対象とし、メールで申請、郵送対応 (送料個人負担) 6/2 (火) ～ 8/3 (月) 学内者通常運用 (郵送対応も継続) 8/4 (火) ～現在 通常運用 (学内者のみ郵送対応も継続)
	ILL	
	レファレンス	4/20 (月) ～ 6/1 (月) 学内者対象とし、メールで対応 6/2 (火) ～現在 通常運用 (学内者のみメール対応継続)
	電子資料の学外アクセス	一部のみアクセス可
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 利用者のマスク着用 ・ 体調不良の場合の利用制限 ・ 利用時間を 1 時間以内に限定 ・ 窓口への飛沫防止板の設置 ・ 返却後一定期間をおいてから書架に配架 ・ コピー機の使用休止 ・ 館内の換気
6. 今後のサービス予定		

会津大学 情報センター 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
1. 開館状況	臨時休館	4/21 (火) ～ 5/24 (日)		
	時間短縮開館	5/25 (月) ～ 7/1 (水) 平日 9 : 00 ～ 17 : 00		
	通常開館	7/2 (木) ～現在 (通常期間) 平日 9 : 00 ～ 20 : 00 土曜日 9 : 00 ～ 17 : 00		
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	4/2 (木) ～現在 座席数を制限して利用可		
	共用 PC	利用可		
	その他	4/1 (水) ～現在 グループ閲覧室、個人閲覧室、AV ルームの利用休止		
3. 入館対象	学内			
	学外者	3/10 (火) ～現在 利用休止		
4. サービス	閲覧	通常運用		
	来館貸出	4/21 (火) ～ 5/17 (日) 学内者のみ完全予約制で対応		
	郵送貸出	未実施		
	複写	通常運用		
	ILL	通常運用		
	レファレンス	通常運用		
	電子資料の学外アクセス	コロナ禍以降学外からアクセス可能なタイトル数を増やした		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入館時に手指消毒を依頼 ・ 館内利用の際はマスク着用、咳エチケット、うがい・手洗い等の励行、他の利用者から適度な距離を取っての利用を依頼 ・ 発熱・風邪等体調不良の方や自宅待機が必要な方の入館制限 ・ 飛沫防止用ビニールシート、除菌用ウェットシートの設置 ・ 注意喚起のポスター掲示 ・ カウンター前の待機位置指定 (フロア誘導シール) ・ 館内巡回による不適切な利用時の注意 		
6. 今後のサービス予定		未定		

福島県立 医科大学 附属学術 情報センター	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/21 (火) ~ 5/19 (火)	
	時間短縮開館	4/10 (金) ~ 4/20 (月)、5/20 (水) ~ 6/5 (金)		
	通常開館	6/8 (月) から 但し、時間外開館は休止中		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/20 (水) ~ 7/17 (金) 利用休止 7/20 (月) ~ 座席数約 1/3 に減らしている。		
	共用 PC	貸出用は無、PC 席は半分に減らして利用。		
	その他	4/21 (火) グループ・個室用閲覧室利用休止		
3. 入館対象	学内			
	学外者	4/10 (金) ~ 入館不可、福島県立図書館経由で貸出可		
4. サービス	閲覧	4/21 (火) ~ 5/19 (火) 教職員のみ可		
	来館貸出	4/21 (火) ~ 5/19 (火) 教職員のみ可 5/20 (水) ~ 7/17 (金) 貸出図書取り置きサービス 7/20 (月) ~ 通常		
	郵送貸出	実施せず		
	複写	4/21 (火) ~ 6/5 (金) 教職員のみ可 6/8 (月) ~ 通常		
	ILL			
	レファレンス			
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (VPN 接続、学認可)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒液設置 ・カウンター飛沫防止ビニールカーテン設置 ・閲覧席除菌用品設置 (利用者使用) ・返却図書の消毒 ・不定期にカウンターほか館内消毒 		
6. 今後のサービス予定		学内の方針に合わせてサービス再開を検討。		

東北女子 大 学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	休館措置はとりませんでした	
時間短縮開館		4/1 (水) ~ 5/31 (日) 平日 8:30 ~ 17:00 土日祝日 閉館日		
通常開館		6/1 (月) ~ 現在 平日 8:30 ~ 20:00 土日祝日 閉館日		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	通常運用		
	共用 PC	通常運用		
	その他			
3. 入館対象	学内	入館可		
	学外者	弘前市内大学生のみ可 (事前連絡必須) 本学を退任された先生方 (事前連絡必須)		
4. サービス	閲覧	通常運用 (本学関係者に限る)		
	来館貸出	通常運用 (本学関係者に限る) ※但し、就職活動等で県外に出る利用者に対して貸出期間延長の措置をとる。(本学で定める経過観察期間を経てからの返却とする。)		
	郵送貸出	未実施		
	複写	通常運用		
	ILL	不参加		
	レファレンス	通常運用		
	電子資料の学外アクセス	以前よりアクセス不可		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒用アルコール設置 ・マスク着用をお願い (スタッフ・利用者ともに) ・感染拡大防止協力や利用上の注意を明記したポスター掲示 ・閲覧室の定期的な換気 ・返却本、閲覧本の除菌 ・閲覧席、カウンター、コピー機等使用後の定期的な消毒 		
6. 今後のサービス予定		・特になし		

八戸学院 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/16(木)11:00～5/8(金)	
	時間短縮開館	3/30(月)～4/13(月)、4/14(火)～5/6(水)		
	通常開館	5/11(月)～現在 月-木 8:40～19:00・金 8:40-20:00・土日祝日 休館 5/16・23・30, 6/6・13・20・27, 7/4・11・18 土曜臨時開館 8:40～17:30 7/23(木) 祝日臨時開館 8:40～19:00 7/24(金) 祝日臨時開館 8:40～20:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/11(月)～現在 座席数の約半分を利用可		
	共用 PC	5/11(月)～現在 元から間隔を空けて設置しているため、利用可 (貸出用ノート PC を含む)		
	その他			
3. 入館対象	学内			
	学外者	3/30(月)～5/21(木) 入館不可 5/22(金)～現在 時間制限付で入館可 玄関受付で用紙に「日付・氏名・利用登録者は利用登録番号・連絡先(住所か電話番号)・滞在時間」を記入し入館、滞在は最長3時間		
4. サービス	閲覧	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用		
	来館貸出	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用		
	郵送貸出	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用 元から希望者は無く行っていないが、希望があれば対応する形		
	複写	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用		
	ILL	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用		
	レファレンス	4/16(木)11:00～5/8(金) 休止 5/11(月)～現在 通常運用		
	電子資料の学外アクセス	不可		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		・消毒液の設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気		
6. 今後のサービス予定				

八戸工業 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/21(火)～5/1(金)	
	時間短縮開館	・4/14(火)～4/20(月)、5/7(火)～5/29(金): 平日 8:40～18:00、土日祝休館 [5/9(土)と5/23(土)を除く] ・6月: 土日休館		
	通常開館	・7/1(月)～8/3(月)、9/7(月)～現在: 平日 8:40～20:30、(土) 10:00～17:00 ・8/4(火)～9/4(金)【夏季休業】: 平日 8:40～17:00 土日祝休館		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/21(火)～5/1(金) 利用休止 5/7(木)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	共用 PC	4/21(火)～5/1(金) 利用休止 5/7(木)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	その他			
3. 入館対象	学内	4/21(火)～5/1(金) 休止		
	学外者	4/21(火)～5/1(金) 休止		
4. サービス	閲覧	4/21(火)～5/1(金) 休止		
	来館貸出	4/21(火)～5/1(金) 休止		
	郵送貸出	行っていない		
	複写	通常運用		
	ILL	通常運用		

	レファレンス	通常運用
	電子資料の学外アクセス	通常運用
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入りに消毒液の設置 ・ 出入り口での利用者の学籍番号あるいは名前の記入 (お願い) ・ 「新型コロナウイルス感染症対策のための利用上の注意」を出入りに掲示 ・ カウンター、コピー機、テーブル・椅子等の共用場所の定期消毒 ・ 閲覧室の換気 ・ 閲覧室に扇風機 2 台設置 ・ 館内巡回による不適切な利用時の注意 (必要時)
6. 今後のサービス予定		検討中

ウェブ公開		■可	□否
1. 開館状況	臨時休館		
	時間短縮開館		
	通常開館	4/6(月)～現在	
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席		
	共用 PC		
	その他		
3. 入館対象	学内		
	学外者		
4. サービス	閲覧		
	来館貸出		
	郵送貸出		
	複写		
	ILL		
	レファレンス		
	電子資料の学外アクセス		
その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 窓口への飛沫防止シートの設置 ・ 共用場所の定期消毒 ・ 館内の換気 ・ ソーシャルディスタンスの呼びかけ ・ マスク着用の呼びかけ 	
6. 今後のサービス予定			

ウェブ公開		■可	□否
1. 開館状況	臨時休館	4/22(水)～5/10(日)	
	時間短縮開館	5/11(月)～5/22(金) 平日 8:30-17:40	
	通常開館	～4/21(火)、5/25(月)～ 平日 8:30-21:00・土 8:50-17:00	
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	座席数の 5 割を利用可	
	共用 PC		
	その他		
3. 入館対象	学内		
	学外者	無期限で利用不可	
4. サービス	閲覧	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	来館貸出	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	郵送貸出	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	複写	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	ILL	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	レファレンス	4/22(水)～5/10(日) 休止	
	電子資料の学外アクセス	4/22(水)より、出版社のコロナ対策支援で利用可能。支援終了後はアクセス不可。	
	その他		

5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ カウンター前等での待機位置指定 (フットプリント等) ・ 閲覧室の換気 ・ 館内巡回による不適切な利用時の注意 ・ 入館人数制限 (100 名)
6. 今後のサービス予定	特になし (学内感染症対策本部の決定により変動する)

岩手医科大学 附属 図書館	ウェブ公開		■可 □否
	1. 開館状況	臨時休館	休館していない
		時間短縮開館	4/20(月)～6/19(金) 平日 9:00～20:00
		通常開館	～4/17(金)、6/22(月)～現在 平日 9:00～22:00、第1・4土曜 9:00～17:00
	2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	通常通り
		共用 PC	通常通り
		その他	4/28(火)～6/19(金) ラーニングコモンズ閉鎖 6/22(月)～現在 席数を減らして利用可
	3. 入館対象	学内	制限していない
		学外者	制限していない
	4. サービス	閲覧	休止・制限していない
来館貸出		休止・制限していない	
郵送貸出		実施していない	
複写		休止・制限していない	
ILL		休止・制限していない	
レファレンス		休止・制限していない	
電子資料の学外アクセス		以前から可 (リモートアクセス)	
その他		特になし	
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 (入館時の手指消毒) ・ 館内に注意喚起を掲示 ソーシャルディスタンス保持 マスク着用 咳エチケット 会話を慎む ゴミ放置禁止 		
6. 今後のサービス予定	特になし		

富士大学 図書館	ウェブ公開		■可 □否
	1. 開館状況	臨時休館	
		時間短縮開館	9:00-17:00 (夏季休暇中)
		通常開館	8:45-18:00
	2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	仕切り板の設置。席の間隔を間引き対応。利用時間の制限無し。
		共用 PC	席の間隔を空け対応。利用時間の制限無し。
		その他	ソファ席の使用不可
	3. 入館対象	学内	通常通り
		学外者	入館不可
	4. サービス	閲覧	通常通り
来館貸出		通常通り	
郵送貸出		要望があれば検討	
複写		通常通り	
ILL		通常通り	
レファレンス		通常通り	
電子資料の学外アクセス		今後対応を検討中	
		データベース講習会 (オンライン)	
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> マスクの着用・手指消毒, 換気, 貸出・閲覧資料の消毒, 机の仕切り板の設置。カウンター等での飛沫防止ガード設置, ポスターの掲示, 来客 (業者の方) の名簿記入, 夏期休暇中の入館者の検温 		
6. 今後のサービス予定	電子資料の充実をはかる		

盛岡大学 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/1 (水) ~ 6/28 (日) 但し学内者限定で利用可	
	時間短縮開館	6/29 (月) ~ 9/18 (金) ① 9:00 ~ 15:00 (7/30) ② 11:00 ~ 15:00 (7/31 ~ 8/7) ③ 9:00 ~ 16:30 (6/29 ~ 7/29、8/8 ~ 9/18)		
	通常開館	9/23 (水) ~ 9:00 ~ 19:00 (土日祝日休館)		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/1 (水) ~ 7/19 (日) 利用休止		
	共用 PC	4/1 (水) ~ 8/11 (火) 利用休止		
	その他	4/1 (水) ~ ラーニング・コモンス利用不可		
3. 入館対象	学内	臨時休館中は大学許可制により利用可		
	学外者	4/1 ~ 利用不可、9/23 (水) から利用可		
4. サービス	閲覧	6/29 (月) 限定的に利用開始		
	来館貸出	4/1 (水) 学内者限定で可		
	郵送貸出	4/24 (金) 開始 (送料大学半額負担)		
	複写	5/12 (火) ~ 館内資料に限り郵送実施 (送料大学負担)		
	ILL	来館を伴わないものは対応 (臨時休館中)		
	レファレンス	同上		
	電子資料の学外アクセス	期間限定で実施		
		オンラインによる図書館利用講座を実施		
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		・消毒液の設置、・非接触型体温測定装置設置 (予定)・入館者の記録・ カウンター飛沫防止シート設置、・換気、・什器等の消毒、・返却図 書資料の3日間留置、・閲覧席の間引き利用、・空気清浄機設置 (予定)		
6. 今後のサービス予定		電子資料の充実 自動貸出機・図書殺菌機の導入 無人開館サービスの検討		

修紅短期 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/20 (月) ~ 5/6 (水)	
	時間短縮開館	無		
	通常開館	5/7 (木) ~ 通常開館		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/7 (木) ~ 座席数約6割利用可		
	共用 PC	時間制限有りで通常利用可		
	その他	複数人での利用は基本的に不可		
3. 入館対象	学内	入館可		
	学外者	以前より入館不可		
4. サービス	閲覧	4/20 (月) ~ 5/6 (水) 休止		
	来館貸出	4/20 (月) ~ 5/6 (水) 教職員のみ可		
	郵送貸出	運用しておりません		
	複写	4/20 (月) ~ 5/6 (水) 教員のみ希望に応じて		
	ILL	不参加		
	レファレンス	通常対応 (予防対策を講じながら)		
	電子資料の学外アクセス	運用しておりません		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ~ 4. 以外)		・消毒液、ウェットティッシュ、空間除菌剤の設置 ・アクリル板の仕切りの設置 ・返却資料の除菌 ・パソコンや学習機、椅子の除菌作業 ・学習機や椅子の間引き、配置換え ・感染予防の掲示物 ・その他、状況に応じて声掛け (特に複数人での来館時)		
6. 今後のサービス予定		オンラインを利用したレファレンスやリクエストの対応を検討中		

仙台白百合 女子大学 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/2(木)～5/29(金)	
	時間短縮開館	6/1(月)～6/30(火) 平日 9:00～17:00		
	通常開館	7/1(水)～現在 平日 9:00～19:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/1(月)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	共用PC	6/1(月)～現在 座席定数の約5割を利用可		
	その他			
3. 入館対象	学内	4/2(木)～5/29(金) 入館不可 6/1(月)～現在 事前予約制		
	学外者	4/2(木)～6/30(火) 入館不可 7/1～現在 事前予約制		
4. サービス	閲覧	7/1(水)～現在 閲覧可		
	来館貸出	7/1(水)～現在 貸出可		
	郵送貸出	5/1(金)～現在 郵送貸出可		
	複写	4/2(木)～6/30(火) 休止 7/1～現在 通常運用		
	ILL	4/2(木)～6/30(火) 休止 7/1～現在 通常運用		
	レファレンス	6/1(月)～現在 通常運用		
	電子資料の学外アクセス	4/30(木)～現在 オンラインデータベースの一部のリモートアクセスを提供		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		消毒液の設置 非接触型体温計の設置 窓口への飛沫防止板の設置 ソーシャルディスタンスの掲示等による励行 利用者への消毒綿の配布(各自でも消毒できる) カウンター前での待機位置指定(フットプリント等) カウンター、コピー機等、共用場所の定期消毒 閲覧室の換気 館内巡回による不適切な利用時の注意		
6. 今後のサービス予定		対面授業再開に向け、長期化するコロナ対策への対応を検討中。		

石巻専修 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/27(月)～5/6(水) 土日祝日含む	
時間短縮開館		3/30(月)～5/15(金) 平日 9:00～17:30		
		5/18(月)～6/26(金) 平日 9:00～17:00		
		6/29(月)～現在 平日 9:00～18:30		
	8/31(金)～9/18(金) 平日 9:00～15:00			
	通常開館	平日 9:00～19:30		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/18(月)～6/26(金) 利用休止 6/29(月)～現在 座席定数の約4割を利用可		
	共用PC	5/18(月)～現在 利用休止		
	その他	5/18(月)～現在 グループ閲覧室等利用休止		
3. 入館対象	学内	教職員(必要に応じて) 5/18(月)～現在 学生(対面授業受講者等)		
	学外者	3/6(金)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	5/18(月)～6/26(金) 休止		
	来館貸出	5/18(月)～現在 メール事前申込制		
		6/29(月)～現在 通常貸出		
	郵送貸出	原則対応せず		
	複写	通常運用		
	ILL	通常運用		
	レファレンス	通常運用		
	電子資料の学外アクセス	一部のみ(期間限定臨時ID等)		
その他				
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		・入館時マスク着用 ・手指消毒液の設置 ・閲覧席、受付カウンターの飛沫防止パーテーションの設置 ・閲覧室等の換気(吸排気口) ・館内巡回による不適切な利用時の注意		
6. 今後のサービス予定				

東北学院 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/25(土)～5/30(土)	
	時間短縮開館	6/1(月)～7/4(土) 【中央】月～土 9:00～17:00 【中央分室】月～金 10:00～16:00 【泉・多賀城】月～金 9:00～17:00 7/6(月)～8/12(水) 【中央】月～土 9:00～19:30 【中央分室】月～金 10:00～18:00 【泉・多賀城】月～金 9:00～18:00 8/17(月)～9/5(土) 【中央】月～土 9:00～17:00 【中央分室】月～金 10:00～16:00 【泉・多賀城】月～金 9:00～17:00 9/7(月)～9/16(水) 【中央】月～土 9:00～19:30 【中央分室】月～金 10:00～16:00 【泉・多賀城】月～金 9:00～17:00		
	通常開館	～4/24(金)※長期休業期間 【中央】月～土 9:00～19:30 【中央分室】月～金 10:00～18:00 【泉・多賀城】月～土 9:00～17:00 9/17(木)～ 【中央】月～土 8:30～22:00 【中央分室】月～金 10:00～21:00 土 10:00～17:00 【泉・多賀城】月～土 8:30～20:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/25(土)～5/30(土) 利用休止		
	共用 PC	6/1(月)～現在 座席定数の約2割を利用可		
	その他	4/25(土)～5/30(土) 利用休止		
		6/1(月)～現在 グループ学習室利用休止		
3. 入館対象	学内			
	学外者	4/16(木)～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/25(土)～5/30(土) 休止		
	来館貸出	4/25(土)～6/15(月) 事前予約制		
	郵送貸出	5/25(月)～現在 学生対象(仙台市および周辺地域を除く)		
	複写	4/25(土)～6/15(月) 事前予約制		
	ILL	4/25(土)～5/30(土) 休止		
	レファレンス	4/25(土)～現在 オンラインレファレンス		
	電子資料の学外アクセス	以前から可(学認またはVPN接続)		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・入口付近に消毒液の設置 ・入館者に体温測定(非接触型)実施 ・カウンターへビニールカーテンの設置 ・カウンター前等での待機位置指定(フットプリント等) ・コピー機、OPAC用PC等の共用場所の定期消毒 ・閲覧室の換気 		
6. 今後のサービス予定		後期授業が開始される9/17(木)からは、通常開館時間に戻すことを予定しているが、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開館時間を変更する場合がある。		

東北工業 大学附属 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/13(月)～7/1(水) 7/15(水)～9/25(金)	
時間短縮開館		4/1(水)～4/10(金)		
通常開館		7/2(木)～7/14(火) 9/28(月)～(予定)		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	7/2(木)～7/14(火)、9/28(月)～席定数の約6割を利用可		
	共用 PC	4/13(月)～現在 利用休止		
	その他			

3. 入館対象	学内	学生、常勤・非常勤教職員、名誉教授	
	学外者	4/13（月）～現在 入館・利用休止	
	4. サービス	閲覧	4/13（月）～7/1（水）、7/15（水）～9/25（金） 学生休止、教職員可
		来館貸出	4/13（月）～7/1（水）、7/15（水）～9/25（金） 学生休止、教職員可
		郵送貸出	5/13（水）～現在 学生対象（送料大学負担）
		複写	4/13（月）～7/1（水）、7/15（水）～9/25（金） 学生休止、教職員可
		ILL	4/20（月）～5/6（水） 休止
		レファレンス	4/13（月）～7/1（水）、7/15（水）～現在 学生：電話、メール対応、 教職員：電話、メール、来館対応
電子資料の学外アクセス		5月下旬から学認対応のもののみ可	
その他	郵送返却：7/2（木）～現在 学生対象（送料大学負担） 複写物の郵送：5/13（水）～現在 郵送（送料大学負担）		
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ カウンター、閲覧席への飛沫防止シート設置 ・ カウンター前への待機位置指定 ・ 閲覧席使用後の消毒 ・ 室内の換気 ・ 館内巡回時に利用注意 ・ ICリーダー仮設（入館ゲートのIC化未対応のため） 		
6. 今後のサービス予定	文献検索講習の動画配信		

東北福祉 大学図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	3/20（金）～22（日） 4/6（月）～現在	
	時間短縮開館			
	通常開館	3/23（月）～26（木）9:00-17:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席			
	共用PC			
	その他			
3. 入館対象	学内	4/16（木）～現在 教職員（予約制） 6/1（月）～現在 大学院生（予約制） 6/29（月）～現在 学部学生（予約制・貸出のみ）		
	学外者	4/6（月）～現在 入館不可		
4. サービス	閲覧	4/6（月）～現在 休止		
	来館貸出	4/6（月）～4/15（水） 休止 4/16（木）～現在 教員等へ事前申込による貸出 6/1（月）～現在 大学院生へ事前申込による貸出 6/29（月）～現在 学部学生へ事前申込による貸出		
	郵送貸出	7/6（月）～現在 学生対象（送料自己負担）		
	複写	4/16（木）～現在 教員等へ事前申込による 6/1（月）～現在 オンライン申込のみ運用		
	ILL	4/6（月）～5/31（日） 休止 6/1（月）～文献複写のみ運用		
	レファレンス	6/1（月）～現在 オンラインレファレンス		
	電子資料の学外アクセス	サービス提供コンテンツのみ		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 窓口への飛沫防止板の設置 ・ カウンター前等での待機位置指定（フットプリント等） ・ カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・ 閲覧室の換気 ・ 返却図書の一時的隔離 			
6. 今後のサービス予定	大学行動指針に合わせた図書館サービスを検討			

東北文化 学園大学 総合情報 センター 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/6(月)～5/29(金)	※教職員は利用可
	時間短縮開館	6/1(月)～8/21(金) 平日 8:40～19:00 4/1(水)～4/3(金)、8/24(月)～9/24(木) 平日 9:00～17:00		
	通常開館	9/25(金)～ 平日 8:40～21:00・土 9:00～18:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	8/3(月)～ 座席数を減らして利用可 (収容率 50%以下)		
	共用 PC	8/3(月)～ 貸出用ノート PC 利用可 9/1(火)～ PC コーナーの利用可 (収容率 50%以下)		
	その他	3/30(火)～現在 グループ学習室利用停止		
3. 入館対象	学内	6/1(月)～7/31(金) 遠隔授業の受講で入構許可された学生のみ 7/1(水)～7/31(金) 上記及び予約図書の受け取りを許可された学生のみ 8/3(月)～ 通常運用		
	学外者	4/6(月)～現在 利用不可		
4. サービス	閲覧	4/6(月)～7/31(金) 停止 8/3(月)～ 通常運用		
	来館貸出	4/6(月)～6/30(火) 停止 7/1(水)～7/31(金) 予約貸出 8/3(月)～ 通常運用		
	郵送貸出	実施せず		
	複写	4/6(月)～7/31(金) 停止 8/3(月)～ 通常運用		
	ILL	4/6(月)～7/31(金) 停止 8/3(月)～ 通常運用		
	レファレンス	4/6(月)～7/31(金) 停止 8/3(月)～ 通常運用		
	電子資料の学外アクセス	一部可 (ID・PW 認証、シリアル認証) 発行元提供の学外アクセス用臨時コードで対応		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・入館、滞在時のマスク着用の義務づけ ・入館時、健康管理シート提示 ・入退館管理シートへの記入 ・常時換気 ・消毒液の設置 ・グループでの利用不可 (会話一切禁止) ・返却本の 24 時間隔離 ・カウンターへ飛沫防止シート設置 ・カウンタースタッフはライブラリーグローブ (KIHARA) を常時着用 ・カウンター付近の床にフットマーク貼付 ・1 日 2 回の定期清掃 (消毒) 		
6. 今後のサービス予定		図書館ガイダンス		

東北医科 薬科大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	【本館】 4/4(土)～8/23(日) 【分館】 4/25(土)～8/31(月)	
時間短縮開館		【本館】 8/24(月)～現在 【分館】 9/1(火)～現在 両館とも 8:30～17:15		
通常開館		【本館】 ～4/3(金) 平日 8:30～19:00・土 9:00～15:00 【分館】 ～4/24(金) 平日 8:30～22:00・土日 8:30～17:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	【本館】 8/24(月)～現在 【分館】 9/1(火)～現在 両館とも利用休止		
	共用 PC	同上		
	その他			
3. 入館対象	学内	教職員及び入構許可学生		
	学外者	【本館】 4/4(土)～現在 【分館】 4/25(土)～現在 両館とも入館不可		
4. サービス	閲覧	【本館】 4/4(土)～8/23(日) 【分館】 4/25(土)～8/31(月) 両館とも休止		

	来館貸出	【本館】4/4(土)～8/23(日)【分館】4/25(土)～8/31(月)両館とも休止 【本館】8/24(月)～現在【分館】9/1(火)～現在 両館とも教職員・入構許可学生のみ貸出
	郵送貸出	未実施
	複写	【本館】4/4(土)～8/23(日)【分館】4/25(土)～8/31(月)両館とも休止
	ILL	通常運用
	レファレンス	【本館】8/24(月)～現在【分館】9/1(火)～現在 教職員・入構許可学生のみ
	電子資料の学外アクセス	VPN接続またはリモートアクセス(一部対応資料のみ) にて、利用可能。
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・カウンター窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター前の待機位置指定(床に表示) ・カウンター、OPAC用端末周辺機器、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・返却図書(ビニール製カバーが使用)は、表面のアルコール消毒を行う。 ・返却された図書は、返却日を含め3日間は別置き、保管する。
6. 今後のサービス予定		新型コロナ感染症の状況を鑑み段階的にサービスを上げていく。

尚絅学院 大学図書館	ウェブ公開		■可 □否
1. 開館状況	臨時休館	4/6～4/8 全面閉館 4/9～6/3 教職員限定での開館	
	時間短縮開館	4/9～4/21・5/1～6/30 16:00閉館 7/1～現在 18:15閉館	
	通常開館	4/22～4/30	
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/4～6/30 学生5席・教職員98席 7/1～現在 学生10席・教職員98席	
	共用PC		
	その他	4/9～8/27 コラボックス(コラボレーションスペース)1部屋の 申込を教員に限定 8/28～現在 コラボックス3部屋を使用禁止	
3. 入館対象	学内	4/9～6/3 教職員のみ 6/4～現在 教職員、事前申込を行った学生	
	学外者	4/6～現在 入館不可(入構不可に伴う)	
4. サービス	閲覧	4/9～現在 通常運用	
	来館貸出	4/9～現在 教職員:通常運用 6/4～現在 学生・院生:事前申込制	
	郵送貸出	5/15～現在 学生対象(送料大学負担)	
	複写	通常運用(4/6～4/8含む)	
	ILL	通常運用(4/6～4/8含む)	
	レファレンス	通常運用(4/6～4/8含む)	
	電子資料の学外アクセス	不可(以前より学外アクセスを提供していた1種類を除く)	
	その他		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・窓口への飛沫防止シートの設置 ・学生が使用する閲覧席の清掃 ・閲覧室の換気(平日8:30-9:00) 	
6. 今後のサービス予定		9/1現在、9/24開始の後期講義より席数や人数の制限を引き下げ、 学生は事前申込不要で入館できるようにすることを検討中である。 ただし、今年度中の土曜は閉館することとした。	

聖和学園 短期大学 図書館	ウェブ公開		■可 □否
1. 開館状況	臨時休館		
	時間短縮開館	4/1(水)～5/29(金) 平日9:10～17:20 6/1(月)～8/26(水) 平日9:10～18:20 8/27(木)～8/31(月) 平日9:10～17:20 9/11(金)8:40～17:20	
	通常開館	9/14(月)～ 平日8:40～18:20	

	2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	5/25 (月)～現在 座席定数の約5割を利用可 (一人用閲覧席は利用制限なし)
		共用 PC	特に制限なし
		その他	4/1 (水)～ラーニング・コモンズ利用休止
	3. 入館対象	学内	特に制限なし
		学外者	サービスなし
	4. サービス	閲覧	特に制限なし
		来館貸出	特に制限なし
		郵送貸出	サービスなし
		複写	特に制限なし
		ILL	サービスなし
レファレンス		特に制限なし	
電子資料の学外アクセス		サービスなし	
	その他	特になし	
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・マスクの設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・カウンター、コピー機等の共用場所の定期消毒 ・館内の換気 ・返却図書消毒 	
6. 今後のサービス予定		当面の間は変更なし (本学の対応方針に合わせた運用を予定)	

仙台青葉学院短期大学図書館		ウェブ公開		■可 □否	
1. 開館状況	臨時休館	3/9～5/24			
	時間短縮開館	なし			
	通常開館	5/25～ 平日 9:00～18:00			
2. 開館時の施設・設備の利用制限	閲覧席	～6/28 利用休止 6/29～現在 座席定数の3割を利用可 ※カウンターで座席指定・一人二時間までの制限あり			
	共用 PC	OPAC は可			
	その他				
3. 入館対象	学内				
	学外者	卒業生は可			
4. サービス	閲覧	3/9～6/28 休止			
	来館貸出	3/9～5/24 休止 5/25～6/28 出納制による貸出のみ可 (入口カウンターで対応)			
	郵送貸出	なし			
	複写	通常運用			
	ILL	通常運用			
	レファレンス	通常運用			
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (外部アクセス用 ID/PW は LMS で周知)			
	その他				
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・窓口への飛沫防止板の設置 ・閲覧席利用後は都度消毒 ・常時換気、図書館入口は常時開放 			
6. 今後のサービス予定					

東北生活 文化大学 ・東北生活 文化大学 短期大学部 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/16～6/28	
	時間短縮開館	6/29～8/28, 9/17～	9:00-17:00	
	通常開館			
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	76席中13席に制限		
	共用PC	OPAC用PC3台中、2台利用可		
	その他	視聴覚機器の利用休止		
3. 入館対象	学内			
	学外者	入館不可		
4. サービス	閲覧	通常運用（ただし視聴覚資料の利用は休止）		
	来館貸出	通常運用		
	郵送貸出	運用していない		
	複写	利用休止		
	ILL	通常運用		
	レファレンス	通常運用		
	電子資料の学外アクセス	学内のみ利用可（学外からのアクセス不可）		
	その他	図書館を利用した授業・グループ学習の休止 リクエスト、予約サービスは通常運用		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・館内入口及び各階にアルコール消毒液を設置 ・マスク着用、アルコール消毒の徹底 ・換気 ・1階カウンターにビニールカーテンを設置 ・返却BOXを設置 ・トイレにタオルペーパーを設置 		
6. 今後のサービス予定		状況をみながら、現在休止中のサービスを再開していく		

羽陽学園 短期大学 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	なし	
	時間短縮開館	なし		
	通常開館	平日 8:45～17:00 土 8:45～13:00		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/12(火)～現在 座席定数の約4割を減らし間隔をあけている		
	共用PC	なし		
	その他	AVブースは1人利用のみとし、グループ視聴は不可		
3. 入館対象	学内	4/7(火)～5/16(土) 学生は事前連絡のうえ来館 5/18(月)～現在 通常通り		
	学外者	4/6(月)～現在 附属園教職員以外入館不可		
4. サービス	閲覧	通常通り		
	来館貸出	4/7(火)～5/16(土) 休止		
	郵送貸出	—		
	複写	通常通り		
	ILL	通常通り		
	レファレンス	通常通り		
	電子資料の学外アクセス	—		
	その他	学外書店で行っていた「選書ツアー」を、学内の代替企画で実施		
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 ・閲覧室の換気 ・閲覧室等の定期消毒 ・館内巡回による不適切な利用時の注意 		
6. 今後のサービス予定				

東北文教 大学・東北 文教大学 短期大学部 附属図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	なし	
	時間短縮開館	(休校期間) 4/13(月)～6/8(月) 平日 9:00～16:00 土曜 9:00～16:00 (授業日) 6/9(火)～現在 ※通常より1時間短縮して開館 平日 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00		
	通常開館	未定		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	3/11(水)～現在 AVコーナー利用休止(貸出用PCでの閲覧、ヘッドホンは個人のものを使用) 集密書架の利用休止(希望者に対しては職員が対応) 個人キャレル、グループ学習エリアの席数減少		
	共用PC	ヘッドホンのみ貸出休止		
	その他			
3. 入館対象	学内			
	学外者	利用休止 電話、メールでの文献調査のみ対応		
4. サービス	閲覧	教職員・学生のみ可		
	来館貸出	教職員・学生のみ可		
	郵送貸出	休止		
	複写	教職員・学生のみ可		
	ILL	教職員・学生のみ可		
	レファレンス	教職員・学生のみ可		
	電子資料の学外アクセス			
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)		<ul style="list-style-type: none"> 館内の換気 入口への消毒液の設置、カウンターへの飛沫防止対策板の設置 返却された書籍、PC等の消毒 3密での利用、マスク未着用での利用時の注意 閉館後、1時間かけ、机、椅子、手すり等接触する箇所の消毒 		
6. 今後のサービス予定				

東北公益 文科大学 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/8(水)～5/10(日)	
	時間短縮開館	5/11(月)～現在 平日 9:00～19:00 土日祝 閉館 現在夏季休業期間中のため、10:00～18:00開館(例年通り)だが、土日祝休館は継続中。		
	通常開館	再開未定		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/11(月)～6/17(水) 利用休止 6/18(木)～現在 座席定数の1/3を利用可。 利用できないよう椅子は撤去。		
	共用PC	5/11(月)～6/17(水) 利用休止 6/18(木)～ 利用再開(1時間程度)		
	その他	5/11(月)～現在 グループ学習室利用休止		
3. 入館対象	学内	4/8(水)～5/10(日) 入館不可 5/11(月)～6/17(水) 貸出、ILLの申込・受取のみ可。書架利用可。 6/18(木)～現在 閲覧席利用可(1時間程度)		
	学外者	4/2(木)～現在 入館不可 6/18(木)～現在 図書の返却、予約資料の貸出、酒田市立図書館資料の受渡し		

4. サービス	閲覧	4/8(水)～5/10(日) 休止
	来館貸出	4/8(水)～5/10(日) 休止 5/11(月)～現在 学内者は通常通り 学外者は予約資料のみ窓口で貸出
	郵送貸出	実施していない
	複写	4/8(水)～5/10(日) 休止 5/11(月)～6/17(水) 申込後スタッフが複写し、終了後連絡、引き渡し 6/18(木)～現在 通常通り ※学外利用者は利用不可
	ILL	4/8(水)～5/10(日) 教員依頼、受付のみ可 学生依頼休止 5/11(月)～現在 通常通り
	レファレンス	4/8(水)～5/10(日) 休止 5/11(月)～現在 学内者は通常通り 学外者は時間がかかるものについては後日またはオンラインで回答
	電子資料の学外アクセス	以前から可 (IDパスワードまたはVPN接続)
5. 館内の感染防止対策 (1.～4.以外)	その他	○市立図書館資料受渡し 学内者 4/2(木)～6/14(日) 利用休止 6/15(月)～現在 通常通り 学外者 4/2(木)～6/17(水) 利用休止 6/18(木)～現在 通常通り ○市立図書館資料返却 学内者・学外者共にブックポストへ返却
		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置、利用の徹底（呼び掛け） ・非接触型体温計設置（業者等に検温実施） ・窓口に飛沫感染防止フィルム設置 ・閲覧席や入退館ゲート、コピー機、OPAC 端末の消毒 ・窓口前に待機位置指定のシール ・常時換気 ・利用者にマスク着用を呼び掛け ・館内巡回時の呼び掛け ・返却ボックスの増設（窓口での返却対応を原則休止） ・情報端末利用申込時に消毒用ウェットシートを渡し、利用者による消毒を実施 ・貸出窓口の限定（2→1） ・返却資料を図書用アルコールで消毒 ・窓口対応スタッフのマスク・ビニール手袋着用 ・貸出袋提供の中止 ・空気循環のため送風機設置
6. 今後のサービス予定		予定なし

奥羽大学 図書館	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	実施 4/20(月)～5/6(月) ※特別休暇含む	
時間短縮開館		5/8(金)～5/21(木) 平日 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00		
通常開館		～4/18(土), 5/22(金)～現在 平日 8:45～19:00・土曜 8:45～12:15		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	利用制限なし		
	共用 PC	利用制限なし		
	その他			
3. 入館対象	学内	利用制限なし		
	学外者	利用制限なし ※事前連絡		
4. サービス	閲覧	利用制限なし		
	来館貸出	利用制限なし		
	郵送貸出	実施なし		
	複写	利用制限なし		
	ILL	利用制限なし		
	レファレンス	利用制限なし		
	電子資料の学外アクセス	一部可		
	その他			

5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 入館者のマスク着用 ・ 密閉、密集、密接を避ける注意喚起
6. 今後のサービス予定	

郡山女子 大学図書館		ウェブ公開	■可 □否
1. 開館状況	臨時休館	4/20(月)～4/30(木)	
	時間短縮開館	4/2(木)～4/17(金)、5/7(木)～5/29(金) 平日 8:30～16:50	
	通常開館	6/1(月)～ 平日 8:30～18:00	
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/7(木)～現在 座席定数の約3割を利用可	
	共用 PC	約5割を利用可(利用後は必ず消毒)	
	その他		
3. 入館対象	学内	特に制限なし	
	学外者	今年度は科目等履修生のみ利用可	
4. サービス	閲覧	4/2(木)～現在 通常運用	
	来館貸出	4/2(木)～9/2(水) 貸出期間と貸出冊数を変更し運用(貸出期間: 後期授業開始迄、貸出冊数:無制限) 9/3(木)～現在 貸出期間を変更して運用(学生14日を28日、 大学院生30日を60日)	
	郵送貸出	以前から実施していない	
	複写	4/2(木)～現在 通常運用	
	ILL	4/2(木)～現在 通常運用	
	レファレンス	4/2(木)～現在 通常運用	
	電子資料の学外アクセス	以前から可(SSLVPN接続)	
	その他		
	5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ カウンターへ飛沫飛散防止パネルの設置 ・ 閲覧机、椅子の定期消毒 ・ 閲覧室の換気 ・ 空気衛生期の設置(大学全体) 	
6. 今後のサービス予定	年度内は上記継続予定		

東日本国際 大学・いわき 短期大学 昌平図書館		ウェブ公開	■可 □否
1. 開館状況	臨時休館	4/15(水)～5/9(土)	
	時間短縮開館	5/11(月)～5/30(土) 平日 9:30～15:00 (土) 休館 6/1(月)～8/31(月) 平日 9:30～16:00 (土) 休館 事前申込の上、貸出時のみ来館可。	
	通常開館	～4/14(火) 春期休業中の開館時間 平日 8:30～18:00 (土) 8:30～13:00 9/1(火)～現在 平日 8:30～19:00 (土) 8:30～13:00	
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/15(水)～5/9(土) 利用休止 6/1(月)～現在 座席定数の約5割を利用可	
	共用 PC	5/11(月)～8/31(月) 事前申込制	
	その他	5/11(月)～8/31(月) グループ学習室利用休止 9/1(火)～現在 個人のみ利用可(複数名での利用不可)	
3. 入館対象	学内		
	学外者	4/15(水)～現在 入館不可 7/1(水)～現在 予約本受け取り時のみ来館可(入口付近の窓口 対応、入館不可)	
4. サービス	閲覧	4/15(水)～5/9(土) 休止	
	来館貸出	4/15(水)～5/9(土) 休止 5/11(月)～8/31(月) 事前予約による貸出 9/1(火)～現在 通常貸出	
	郵送貸出	6/17(水)～9/30(水) 学生対象(送料大学負担)	
	複写	4/15(水)～5/9(土) 休止 5/11(月)～8/31(月) 事前申込による引き渡し 9/1(火)～現在 通常運用	
	ILL	4/15(水)～5/31(日) 休止	
	その他		

	レファレンス	
	電子資料の学外アクセス	不可
	その他	
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ カウンターへの飛沫防止板の設置 ・ カウンター前に待機位置指定 (フットプリント等) ・ 館内 (ドアノブ、閲覧机等) の定期的な消毒 ・ 定期的な換気
6. 今後のサービス予定		

日本大学 図書館 工学部分館		ウェブ公開		■可 □否	
1. 開館状況	臨時休館	4/8 (水) ～ 5/31 (日)			
	時間短縮開館	～ 4/7 (火) 平日 9:00 ～ 17:00 土曜 9:00 ～ 13:00 6/1 (月) ～ 6/30 (火) 平日 9:00 ～ 17:00 土曜 9:00 ～ 13:00 8/10 (月) ～ 8/21 (金) 平日 9:00 ～ 17:00 8/24 (月) ～ 9/11 (金) 平日 10:00 ～ 16:00 9/14 (月) ～ 9/17 (木) 平日 9:00 ～ 17:00			
	通常開館	7/1 (水) ～ 8/7 (金) 平日 9:00 ～ 20:00 9/18 (金) ～ 土曜 9:00 ～ 15:00			
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	6/1 (月) ～ 現在 座席定数の約 5 割を利用可			
	共用 PC	6/1 (月) ～ 現在 利用休止			
	その他	6/1 (月) ～ 現在 グループ学修室利用休止 イベント・スペース利用休止			
3. 入館対象	学内	大学が定めた入構許可者のみ入館可			
	学外者	4/8 (水) ～ 現在 入館不可			
4. サービス	閲覧	4/8 (水) ～ 5/31 (日) 休止			
	来館貸出	4/8 (水) ～ 5/31 (日) 休止			
	郵送貸出	5/11 (月) ～ 5/31 (日) 最終学年のみ			
	複写	4/8 (水) ～ 5/31 (日) 休止			
	ILL				
	レファレンス	4/8 (水) ～ 5/31 (日) 休止			
	電子資料の学外アクセス	学認対象資料のみ			
	その他				
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学構内入構時にサーモグラフィの実施 ・ 消毒液及びペーパータオルの設置 ・ 加湿器の設置 ・ 窓口への飛沫防止シートの設置 ・ カウンターでの待機位置指定 ・ 閲覧室換気 ・ 館内巡回 ・ エレベーター人数制限 			
6. 今後のサービス予定		学外から利用できる電子資料の充実			

桜の聖母 短期大学 図書館 情報センター		ウェブ公開		■可 □否	
1. 開館状況	臨時休館	4/4 (土)、4/18 (土)、4/21 (火) ～ 5/2 (土) ※その他、第 2・4・5 土曜日、日曜日、祝日は休館			
	時間短縮開館	4/1 (水) ～ 現在 平日 8:30 ～ 17:00 第 1・3 土曜 8:30 ～ 13:00			
	通常開館				
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	4/1 (水) ～ 現在 座席数の約 5 割を利用可			
	共用 PC	4/1 (水) ～ 現在 蔵書検索機の台数を減らして稼働			
	その他	5/11 (月) ～ 現在 ラーニングコモンズ利用中止			
3. 入館対象	学内				
	学外者	3/19 (木) ～ 現在 入館不可			

4. サービス	閲覧	
	来館貸出	
	郵送貸出	未実施
	複写	
	ILL	
	レファレンス	
	電子資料の学外アクセス	以前より可(リモートアクセス)
その他		
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3密にならないような利用、マスク着用、手指消毒の呼びかけ、ポスターの掲示 ・ 消毒液の設置 ・ カウンターへの飛沫防止シートの設置 ・ 蔵書検索機、コピー機、閲覧席、グループ学習室などの定期的な消毒 ・ 閲覧室の換気 ・ 返却資料の消毒(クリーナーで拭き取りをし、カウンターで数日保管後、配架)
6. 今後のサービス予定		

福島学院 大学 図書館 情報センター	ウェブ公開		■可	□否
	1. 開館状況	臨時休館	4/2(木)～5/15(金)	
	時間短縮開館	5/18(月)～7/14(火) 平日9:30～16:00 土曜日休館		
	通常開館	5/19(水)～8/3(月) 平日9:00～17:00 8/4(火)～現在 平日9:00～18:00 土曜日休館		
2. 開館時の 施設・設備 の利用制限	閲覧席	5/18(月)～6/9(火) 利用が休止 6/10(水)～現在 ソーシャルディスタンスでの使用		
	共用PC	5/18～現在 検索用パソコンのみ使用可		
	その他	4/2(木)～現在 ラーニングcommons・ラウンジ休止		
3. 入館対象	学内	在学生・教員		
	学外者	利用不可		
4. サービス	閲覧	4/2(木)～6/5(金) 休止		
	来館貸出	4/2(木)～5/15(金) 休止 5/18(月)～LINEでの予約貸出し開始		
	郵送貸出	4/2(木)～現在 休止		
	複写	4/2(木)～5/15(金) 休止 5/18(月)～現在 通常運用		
	ILL	4/2(木)～6/5(金) 休止		
	レファレンス	4/2(木)～5/15(金) 休止 5/18(月)～6/5(金) LINEでの対応 8/8(月)～現在 通常運用		
	電子資料の学外アクセス	行っていない		
	その他			
5. 館内の感染防止対策 (1. ～ 4. 以外)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液の設置 ・ 窓口への飛沫防止ビニールシート設置 ・ アクリルパーテーション設置 (視聴覚閲覧場・検索用パソコンなど) ・ カウンター前フットプリント ・ 図書館内の換気 ・ エレベーターの使用禁止 ・ カウンター、コピー、パソコンキーボードなど共用場所の定期消毒 		
6. 今後のサービス予定		9/1(火)～ ラウンジ、ソーシャルディスタンスでの使用		

承合事項 2 : コロナ禍を契機とした今後の方向性について
(提案館:秋田大学附属図書館、青森中央学院大学・
青森中央短期大学図書館情報センター)

<p>提 案 理 由</p>	<p>本館ではこれまでデジタルコンテンツの拡充とともに「アクティブラーニング」「commons」などをキーワードに「場」としての環境整備を進めてきたが、現在は予約制入館、グループ学習室の使用禁止など来館利用にブレーキをかけるような措置をやむを得ず取っている。しかし収束の見込みは立たず、ウィズコロナ・ポストコロナにおける大学図書館の在り方を根本的に考え直す段階に入ったと思われる。(秋田大学附属図書館)</p> <p>コロナ禍で、例年とは違った図書館運営をされていることと思います。本学では、滞在人数を制限したり、席数を通常の半分にしたり、一般開放を中止するなどの対応をしております。当然のことながら、図書館は活発に活用されておりません。また、コロナ禍関係なく、昨年度より図書館利用が減ってきている状況でもあります。(青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター) については各館の以下の事項をご教示いただきたい。</p> <p>(1) これまでの運営方針(過去)とコロナ禍を契機とした変更点(現在)。 また、利用促進についての独自の取組み(利用ガイダンス、図書館に興味をもってもらえるようなイベントの開催、アルバイト学生との企画展示、授業とのコラボ展示等)があればその具体的事例</p> <p>(2) 館運営に関する今後の方向性(未来)及びポストコロナの視点についての見解や検討した事項</p>
<p>弘前大学附属図書館</p>	<p>(1) これまでは、学内者のみならず、学外者も含めて利用促進を図ってきたが、コロナ禍により、毎年利用が増加していたラーニング・commonsの利用を休止せざるを得ず、また学外者の入館も停止している。昨年度実施した利用者アンケートの要望に応え、開館時間を9:00から8:30へと変更し試行として開始したところであったが、感染防止対策のため開館前に消毒作業を行う必要が生じ、9:00開館に戻すこととなった。今年度春季のガイダンスについては、対面での実施は取りやめ、動画を配信した。4月以降、学外者の入館を停止しているため、7月からカウンターでの出納制による貸出を開始した。また、学内者に対しても、メールによる来館前資料予約サービスを開始した。利用促進についての独自の取組みとして、毎年行っている「POPコンテスト」では、教養英語の授業とコラボしており、多読の本を読んでPOPを作成するという課題が出て、そこで選ばれたPOP数点を、図書館のPOPコンテストに応募してもらっている。今年度は感染防止対策として、POPの応募をメールでの提出も可とし、投票はWeb投票とシール投票の両方で受け付けている。</p>

	<p>学生が自分の関心の対象となる書籍等を自由に選書できる企画として「ブックハンティング」を毎年行っているが、昨年度までは書店に集合して開催していたが、今年度はオンライン選書も検討している。</p> <p>(2) グループで学修するスペースやPCサテライトについては、感染防止対策を実施した上での利用の仕方について検討しているところである。9月から雑誌棟改修工事を予定しており、書庫の一部を利用者用スペースに転用し、ラーニング・commonsの拡充を図る予定である。来年4月中旬リニューアル・オープン予定なので、その頃までに感染状況が収束していれば良いのだが、多くの人に来館し利用してもらいたい一方で、密にならないか心配でもある。</p> <p>電子リソースの更なる充実や、具体的な利用方法に関するガイドブック等の作成・利用促進も必要だと思われる。</p>
<p>岩手大学図書館</p>	<p>(1) これまでの運営方針(過去)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手大学図書館は本学の教育及び学術研究の推進に資するとともに、社会の文化的・知的発展に貢献することを目的に掲げ、地域に開かれた大学として、土日も開館しており、学生や社会人、地域住民、放送大学の学生も集う知的活動の拠点となっている。コロナ禍を契機とした変更点(現在) ・上記の運営方針に変更はないが、緊急事態宣言発令及び本学BCPに対応し、閲覧室等の席数を減らし、グループ学修エリアや長時間滞在を制限するなど、一部サービスを縮小している。 <p>なお、電子ブックの充実を図ることを今後の方針とした。</p> <p>利用促進についての独自の取組み(利用ガイダンス、図書館に興味をもってもらえるようなイベントの開催、アルバイト学生との企画展示、授業とのコラボ展示等)があればその具体的事例・対面式の授業で「図書館への招待」を開講し、学生の利用促進を図っていく。</p> <p>(2) 館運営に関する今後の方向性(未来)及びポストコロナの視点についての見解や検討した事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Withコロナ時代を見据え、利用者が来館することなく、図書館サービスを受けられるよう、電子ブックなどの充実、図書の郵送貸出サービス(返送は受益者負担)も視野に検討している。 ・体温測定カメラと連動する入退館システムへの切替を検討中である。
<p>東北大学附属図書館</p>	<p>(1) これまでの運営方針としては、当館では学生向けにはラーニングcommons等の自発的な学習環境の整備、学習に必要な情報資源の提供、調査・学習スキル取得のための人的サービス提供、グローバル・ラーニングサポートを学習支援ポリシーとして定め、その方針のもとに様々な取り組みを行ってきた。</p>

	<p>コロナ禍においても基本的な方向性に変更は無いが、しかし、感染拡大防止のために特にラーニングcommonsでのグループ学習や対面での人的サービス提供は中止ないし制限せざるを得ない状況である。また学生の登校が制限されていたため、学生・留学生とのコラボも困難であった。この状況下であったため、サービスのオンライン化を積極的に進めた。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子ブックの導入促進 ・図書館で企画運営している教育科目「大学生のレポート作成入門」のオンライン化 ・新入生向けに図書館利用ガイダンスの動画化 ・情報探索の講習会の資料の動画化などである。また新入生向けの企画展示については、動画を作成・配信した。 <p>○【Web 公開】新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ」 https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2020/04/event20200427-01.html</p> <p>一方で、情報資源の提供について、電子ブックではコンテンツが不足しているため、入構制限下での資料出納（入館不可）、郵送貸出など、物理的な資料の貸出も進めた。</p> <p>(2) 附属図書館ミッションステートメント「ニューノーマルを見据えた図書館の在り方を考える」を策定し、大学における教育研究環境の変容に対応した図書館環境整備を行っていく。具体的には、オンライン授業等の増加に対応した、電子ブックを含むオンラインコンテンツの整備拡充、学習支援のオンライン化促進としてオンライン授業での教材の充実、ウィズコロナにおける利用環境整備、バーチャル機能を活用した資料公開、オンラインの訴求力を活かした広報展開、さらに、大学のオンライン事務化宣言への対応や業務改善等々を随時検討・実施予定である。</p> <p>特に、今後は大学全体の行動指針（BCP）レベルに対応した図書館サービス展開を定型化して利用者への周知を図るものである。</p> <p>図書館サービスは、今後、前述のオンラインサービスに主軸を移していくことが求められていると考えており、本学においても今年度前期の授業は、全面的にオンラインでスタートし後期についてもオンライン授業と対面授業を平行して行われる予定であり、図書館サービスについても電子ブック等を中心としたオンライン化は必須であり、場所や時間に制約されないなど、大きなメリットも見いだされると考えている。</p> <p>その一方で、リアルなサービスについても、オンラインでは代替できない部分が多数存在し、学習空間提供をはじめとするリアルな図書館サービスをいかに安</p>	<p>全に提供するかも大きな課題と考えている。具体的には以下の検討を行っている。</p> <p><オンラインサービスの強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子ブックの拡充、特にシラバス掲載図書の電子ブック整備推進 ・電子資料へのナビゲート機能の強化 ・授業目的公衆送信補償金制度を活用した資料の電子化とオンラインでの提供の試行 ・古典資料などのデジタルアーカイブ化の推進 ・企画展示等の資料公開のバーチャル化<リアルなサービスの見直し> ・アクティブラーニングスペースの安全な運用 ・利用者向けのオンライン授業、オンライン会議、オンライン面接等のスペースの整備 ・オンライン化できない資料の郵送貸出 <p>宮城教育 大 学 附属図書館</p> <p>(1) これまでは来館を前提とした相談活動やイベント・展示を行ってきたが、今年度は以下のようなオンラインでの活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修サポーターによるオンラインでの活動（Google チャットを使用した相談受付、学修支援用のポータルサイト作成、Google Meet を使用したオンラインツアー 2 回等） ・学生希望図書 of オンライン受付（Google Form 使用） ・オンライン授業への講習用スライドの提供 ・データベースのトライアル <p>(2) 今後検討予定である。</p> <p>秋田大学 附属図書館</p> <p>(1) 国大図協ビジョン 2020 を受けて独自のアクションプランを策定。1. 蔵書を超えた知識と情報の共有、2. 新たな知を紡ぐ「場」の提供、3. 知の共有・創出のための人材の構築を 3 本柱とし、これを運営方針として活動してきた。</p> <p>しかしコロナ禍を契機に、電子版化・オープンアクセス化を進めるにあたっては追い風となるものの、出版資料の利活用、共有空間など物理的なサービス提供は著しく制限され、予約制入館により利用者の図書館を利用しようとする気持ちが消沈した。</p> <p>対策として業者との交渉やトライアルの活用により、可能な限り各種電子ツールを自宅からアクセスできる体制を整える、利用案内や文献収集ガイドの動画コンテンツを作成し、学生がリモートで利用できるようにするなどしている。</p> <p>(2) ちょうど上記アクションプランの通過点評価の年と重なったことから、これまでの活動評価と、新たにコロナ禍の視点を加えた課題を洗い出し、現在「今後の活動方針」の策定作業を行っている。概要は以下のとおり。</p> <p>【知の共有】場や物（紙）の提供から、電子ブック・電子ジャーナル・データベース等電子ツールや、所蔵する貴重資料・図書館出版物の web 版発行など電子リソースの拡充へ重点を移す。</p>
--	---	--

	<p>【知の創出】対面型・集会型の学びの制約が大きいため、利用案内や文献検索講習会などの図書館サービスをリモートまたはオンデマンドで提供するなど、ICTの活用により、能動的な学びを支援する。</p> <p>【人材の養成】加速するオープンアクセスや学修支援に対応できる人材の育成を図るため、各種研修への参加や勉強会の実施などにより、職員のスキル向上を促進する</p>		(2) 上述のとおり「体験型」図書館を目指し、学生・教職員が一体となり、コロナ禍においても利用者の満足度の高い図書館運営を目指しているところではあるものの、運営内容は今後の状況により流動的になると思われるため、ぜひ他大学の見解を参考にさせていただきたい。
山形大学 小白川 図書館	(1) 承合事項(総会)1の回答をご参照ください。 (2) 今後は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大学の活動制限指針レベルの上げ下げに応じて、図書館の利用方法も制限を強めたり弱めたりしながら、柔軟に対応していく必要がある。	青森県立 保健大学 附属図書館	(1) ・図書館内の話しながら勉強できるスペースについて、利用を制限している。 ・学生に書店店頭で本を選んでもらう「ブックハンティング」を、今年度は各自インターネット書店の情報をもとに選定する形に変更した。 (2) 電子書籍の積極的購入方針を令和2年7月31日に図書館委員会で決定した。
山形大学 医学部 図書館	(1) 購読型の電子ブックの契約継続を検討している。コロナ禍によりとりあえず単年度の購読型を契約し、利用促進のためのQRコード付のパンフレットを作成した。 (2) 非来館型資料の更なる導入。	岩手県立 大学 メディア センター	(1) 学生や教員と連携した学修イベントの実施など、ラーニング・コモンズ機能を活用した「場」の利用促進を中心に組みこんできたが、コロナ禍を契機に、対面、集合以外の図書館を活用した学修支援の方法を模索している。取組みとしては、学外からオンラインで利用できるデータベースやその利用方法について、図書館ホームページから一覧で紹介しているほか、図書館学生スタッフとの協働により、Twitterを活用した図書館利用案内や本の紹介を実施している。また、オンラインによる選書イベントを計画している。 (2) 電子ブックの充実や、webを活用した利用案内などについて検討している。
山形大学 工学部 図書館	(1) これから検討する事であり、特に具体的事例はない。 (2) まずは現状復帰に戻す事が最優先のため今後の方向性等についてはこれから検討する事になる。	宮城大学 総合情報 センター	(1) 本学では、まだ完全に通常の運用に戻っていない状態です。そのため、今後の図書館の在り方を考えるには、まだその段階にきていないと考えております。今後しばらくの間は、感染状況やワクチン・薬等の開発・効果などに留意しながら、その段階に応じて、利用者が一番よい図書館の在り方をその都度模索していくということになるかと思っております。(2)も同様。 利用促進の取り組みといたしましては、前期は遠隔授業が主となっており、学生が満足に大学にきて授業を受けられる状況ではなかったため、図書館にできることとしては、無償公開されたさまざまなリソース情報や授業に必要な資料の迅速な提供、Zoomを使ってのオリエンテーション等の実施などです。また、参考図書を更新を例年よりも行いました。 イベントは、本学ではこれまで力を入れており、遠隔での実施も検討しておりますが、学内の状況を鑑みますと、まずは通常開館となる見通しが立ってからではないかと考えております。
福島大学 附属図書館	(1) コロナ禍により、3密となりがちな個室学習室の利用や、日曜祝日の開館は見送っている。また、学外者の利用についても同じである。いずれも、今後の状況をみながら戻す予定であるため、一時的な対応である。 利用促進についての独自の取組 ・来館できない学生への対応として郵送貸出サービスを実施 (実施期間 6/12～8/7、送料無料、返送は自己負担、1回につき1人2冊まで) ・リモートアクセス方法の広報 ・電子リソースの無償情報の広報 ・電子リソースのトライアル・試読実施 ・利用ガイダンス資料のオンライン化 (2) 新型コロナウイルス感染症や災害等における遠隔授業対応として来館を伴わない図書館資源の活用のための電子リソースの充実や、学外からのアクセスなど環境整備の在り方について検討している。	秋田県立 大学 図書・情報 センター	(1) 現時点で大幅な利用制限をしていないため、変更点は特にありません。 (2) 現時点で大幅な利用制限をしていないため、今後の状況に応じて検討していきたい。
青森公立 大学 図書館	(1) 昨年度はWi-Fi設置、フタつき飲料の館内利用可ルールの制定、学修用PCの増設を行い、今年度は「滞在型」図書館へと、さらなる発展を予定していたところであった。 コロナ禍を契機とし、密につながりかねない「滞在型」という目標から、図書館での学修・研究について、利用者の能動的な学びを促す「体験型」としての図書館へと目指すべき方向性をシフトした。 <利用促進> 毎月テーマを設定した展示(別紙参照)を実施し、図書館が学びの幅を広げるきっかけを提案している。		

秋田公立 美術大学 附属図書館	(1) 遠隔授業が開始された際には、自宅にインターネット環境がない学生への支援として、図書館内に個人専用席とパソコンを設置し Zoom の利用方法をレクチャーするなどサポートを行った。 (2) 図書館とは別に情報システムに特化したセクションの設置について検討が始まった。
国際教養 大 学 中嶋記念 図 書 館	(1) 学内居住型の大学であったため、学外からのデジタルリソースへのアクセスという点については、特にいままで目立った動きはなかった。しかし、コロナ禍を機に、春学期はすべてオンライン授業となったため、契約しているデジタルリソースの学外からのアクセスを 100%可能にし、デジタルリソースを可視化し、利用促進することが急務となった。図書館のウェブサイトデジタルリソースを簡単にリスト化したウェブページ (https://library.aiu.ac.jp/?page_id=34) ができあがっていたため、まずは入り口に正しくたどり着いてもらうため、図書館のオリエンテーションや、ガイダンス資料にデジタルリソースページを紹介し、利用の促進を図った。のちの統計結果でデジタルリソースページの閲覧数は上位に上る結果となった。また図書館の ZOOM のアカウントを取得し、そこからオンラインレファレンスも定期的に行った。さらに他部署の企画や授業に ZOOM アカウントで入室し、図書館のサポートをアピールし、学生のほか教員向けに短時間の図書館のワークショップなども企画したりして、デジタルリソースの利用を図った。 (2) 図書館の利用促進のためのワークショップは、これまでは学生向けの対面でのオリエンテーションがメインであったが、一挙に ZOOM の利用が広まったことと、ポストコロナの状況下でも忙しい教職員向けにランチアワー内のミニワークショップの定期的な開催の可能性が見えてきた。
山形県公立 大学法人 附属図書館	(1) 学生に良好な環境で質の高い教育を提供するため、施設整備、資料整備、維持管理により利用しやすい図書館の環境整備に努めている。コロナ禍の中で、利用促進の取組みにも制限はあります。今回変更した点は、毎年行っている利用ガイダンスを対面での説明ではなく、動画を大学HPに掲載し行いました。また、文献複写やレファレンスサービスについて、メールでの相談を開始しました。具体的な事例については、他の大学の事例をお聞きしたいです。 (2) 「感染拡大の予防と研究活動の両立に向けたガイドライン」や「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、感染症予防の対策を講じたうえで、利用サービスを提供していくことについて検討しています。

会津大学 情報センター 附属図書館	(1) 運営方針は内規で定めているが、現在のところ変更はない。利用促進については、授業内で行う図書館講習をリモートで実施したり、リモートアクセスのできる電子ブックを紹介する展示をしたりなど、利用者の安全を考慮しながら取り組んだ。 (2) コロナの状況が日々変化しているため、館運営に関する今後の方向性について、検討中であるが、館内の安全性や利便性の向上など、ポストコロナを念頭におきながら業務にあたっている。
福島県立 医科大学 附属学術 情報センター	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応状況を踏まえて今後検討していく予定。 (2) 上記に同じ。
八戸学院 図 書 館	(1) 過去において図書館への「集客」、「綺麗な図書館」をテーマに行ってきた。コロナ禍を契機とした訳ではないが、今年度は「知識と教養」のベースは読書であるとし、本と触れ合う機会を増やすため「読書推進」をテーマに、「展示企画」、「ブックハンティング」、「ビブリオバトル」等を実施していく予定である。 (2) コロナウイルス感染症に関わらず、インフルエンザなどが流行した場合には、今回の対策を踏襲し、入り口付近での消毒や検温、三密防止を心がけていく。
八戸学院 図 書 館	(1) 過去において図書館への「集客」、「綺麗な図書館」をテーマに行ってきた。コロナ禍を契機とした訳ではないが、今年度は「知識と教養」のベースは読書であるとし、本と触れ合う機会を増やすため「読書推進」をテーマに、「展示企画」、「ブックハンティング」、「ビブリオバトル」等を実施していく予定である。 (2) コロナウイルス感染症に関わらず、インフルエンザなどが流行した場合には、今回の対策を踏襲し、入り口付近での消毒や検温、三密防止を心がけていく。
八戸工業 大 学 図 書 館	(1) 検討中 (2) 特になし
弘前学院 大 学 附属図書館	(1) 特になし (2) 特になし
岩手医科 大 学 附属図書館	(1) コロナ禍を契機とした変更点 ・ 講義・実習 大学の方針に従って、図書館内での実習を中止し、座学のみで対応した。座学のみでも図書館の様子、資料の探し方がわかるように動画を用いた。 ・ 図書館発のイベント 大学の方針に従って、中止とした。 ・ 館内の感染防止対応 入館時の手指消毒 注意喚起の掲示（ソーシャルディスタンス保持、マスク着用、咳エチケット、会話を慎む、ゴミ放置禁止）

	<p>(2) 今後の方向性・検討した事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館窓口業務・運用・サービス感染が拡大したときには閉架書庫対応に移行するよう検討した。現状では、過剰な予防対策による図書館サービスの制限は利用者に多大な負担をかけることになるという点を考慮して、通常通りのサービスを行っている。(感染予防対策と図書館利用サービスとのバランスが必要) ・講義・実習 昨年度と今年度以降で講義・実習の成果に差が生じることはないように工夫して行っていくこと。 ・図書館発のイベント(参加型) 図書館利用促進を目指した参加型のイベントは安全性を保ちながらできる範囲で実施していく予定。(現状は実施が難しいことから休止中) 	<p>(2) 図書館職員の安全を考慮しつつ、来館型サービスと非来館型のサービス内容を早急に検討する必要がある。全自動無人開館サービスの検討。文部科学省も全国大学図書館もアクティブラーニング特にグループワークの場としてのスペースを拡充に努める方向性が確立されつつあったところ、大学教育の現場でもグループワークに大きく制限がかかるようになった。今後大学図書館もこの流れにのっとった次の練らねばならないと考えている。</p>
富士大学 図書館	<p>(1) コロナ禍以前から電子書籍等のオンライン資料導入について検討していたが、コロナ禍となりオンライン資料導入へのシフト変更が早まったと感じている。冊子媒体とオンライン資料のメリット・デメリットを鑑みながら、資料の充実をはかり、非来館でもできるだけ資料の提供が可能となるよう配慮することを検討中である。 利用促進についての独自の取組は、学生の暮らしに寄り添った展示、論文作成、地元に関連した書籍、先生からの協力を得ておススメの本の展示など行っている。展示は、入口近くやパソコンのある部屋など学生が集まる場所に置いている。期間は展示によって変わるが、5冊程度から10冊前後である。</p> <p>(2) 当館ではコロナ禍以前から、三密になることはテスト期間中以外あまり見受けられないのが現状の為、コロナ前後の「場」としての環境整備の変換については特に考えていない。アクティブラーニングとして使用するグループワークエリアの割合が少ないことも関係している。ソファ席の使用禁止、座席数の間引き、机の仕切り版の設置等に対応している。やはり(1)の回答と同様にオンライン資料の充実を図りたい。</p>	<p>(1) 運営方針というほど明確ではありませんが、卒業研究やグループワークでも図書館の利用を進めたり、園児を呼び授業を行ったりと、利用の活発化に力を入れてきました。現在は利用を控えてもらっている状況です。本学は学生数が少ないので、館内利用につきましては、できるだけ事前に相談や打ち合わせを行い、複数人での来館は避けるか、もしくは分散や時間差で来館してもらうなど、授業予定とも併せて状況に応じて進めていこうと考えています。またオンラインも活用していけるよう、検討中です。また、展示や企画につきましては、近々仕掛け絵本作家の資料を展示する予定です。</p> <p>(2) ポストコロナの見解や検討としましては、コロナが収束しても蜜は良くない、距離を取らなくては。という意識は定着していると思います。ですので、今後は制限されているのが当たり前。の状況になっていくのではと考えます。利用を制限しつつ、いかに利用者数を維持もしくは増やすか、図書館を活用していけるかが課題だろうと思っています。今のところ、学生には利用したい資料は大まかにでも事前に把握しておいてもらう、予約や打ち合わせをしたりなど、来館時は滞在時間を短くしたり、距離がとれるよう考慮し、また対策やお知らせも必要に応じて更新するなど、気づいたら都度対応し、進めていく予定です。</p>
盛岡大学 図書館	<p>(1) 図書館滞在時間や利用人数の制限を行っている。 ラーニング・コモンズの利用を禁止していることから、会話を伴うグループ学習の場を提供していない。 後期授業開始を機に検討しているところであるが、感染症対策と併せて学生サービスを行う場合、かなり制限せざるを得ない。 現在、学生支援の観点から学生アルバイトを雇用している。将来的に司書資格取得を目指す学生の目線を参考に、当館に必要なものは何かを考えるきっかけとしたい。</p>	<p>(1) 今年度の重点課題は「図書館利用者数の増加に向けた館内の学習環境の整備と各種企画展の開催及び広報活動」です。コロナ禍の状況下では「館内の学習環境の整備」は可能ですが、「各種企画展の開催」は困難であり、「図書館利用者数の増加」は見込めない状況にあります。</p> <p>(2) 提案理由に「収束の見込みは立たず、ウィズコロナ・ポストコロナにおける大学図書館の在り方を根本的に考え直す段階に入った」とありますが、1～2年後には収束してインフルエンザと同等の位置付けになると考えており、「根本的に考え直す段階に入った」とは考えておりません。現在は状況を注視しつつ、その状況にあった対策をとった上で図書館の役割をできるだけ果たせるようにしていきたいと考えております。</p>

東北学院 大 学 図 書 館	<p>(1) 新型コロナ感染症対策のため、4月下旬から5月末まで閉館を余儀なくされ、6月からサービスを再開したものの、開館時間の短縮や縮や学外者の利用停止が続いている。例年であれば授業と連携した図書館利用説明会を実施していたが、遠隔授業の実施により、利用説明会のコンテンツをオンラインで提供するなどの対応を実施している。また、郵送貸出サービスや学外からの接続にも対応した電子資料の積極的な導入を進めている。</p> <p>(2) 今後もワクチンや治療薬などの具体的な対策が打ち出されないかぎり、現在の状況が続くものと思われる。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を実践するため、いわゆる「3密」を避けるための対策として、開館時間の短縮や閲覧席の利用制限など、日常的な対応として今後も継続していくことが必然となる。人と人の接触の機会を減らす前提からも、電子コンテンツの普及と、オンラインレファレンスへの需要が進むことが予想され、早急な対策の必要に迫られていると認識している。</p>		<p>(2) 図書館独自で今後の方向性を決めるのではなく、大学全体で、ポストコロナ時代における在り方の検討が必要と考える。図書館としては、ポストコロナ環境下での、来館型・非来館型サービス両方の環境整備が課題。</p>
東北工業 大 学 附属図書館	<p>(1) これまでの運営方針 「場」の提供のため、館内での飲食緩和等の運用見直し、設備の更改、書架のレイアウトを見直す等図書館のイメージ改善を行い、非来館利用サービスの検討・試行や、資料の利用促進のため展示・ガイダンス等を推進。 ・コロナ過を契機とした変更点 学生・教職員の入構が制限されたため、非来館利用サービスとしてEBookの購入を増やし、学認による学外アクセスを至急設定した。 また、対面で行っていた新入生向けガイダンス、文献検索講習の動画配信を試みている。</p> <p>(2) 館運営に関する今後の方向性 ・図書館利用、サービスの在り方について、アナログ・デジタルを問わず様々な形態を模索する。 ・ポストコロナについては、大学全体の方針に沿って検討の予定。</p>	東北医科 薬科大学 附属図書館	<p>(1) 新入生対象のミニツアー、オリエンテーションでの図書館利用説明、各種データベース利用説明会を実施し、利用促進を図っている。 (今年度はコロナ禍のため中止) 現在は、通学日の学生を対象に、サービスを貸出・返却・文献複写に限定し開館している。電子資料についてはVPN接続等により学外から利用可能である。今後はコロナの状況をみて、段階的に利用対象者及びサービスを拡げていくこととなっている。</p> <p>(2) 限られた予算の中で、非来館型の資料を充実するよう努める。</p>
東北福祉 大 学 図 書 館	<p>(1) 電子資料の学外からのアクセス環境の整備について、多年にわたり検討を続けてきたがセキュリティ等の問題から実現化されてこなかったが、これを契機に関係部局とも協議し、早期環境整備の実現に向けて計画を進めていく。</p>	宮城学院 女子大学 図 書 館	<p>(1) 利用促進また図書館に興味をもってもらう取り組みとして、 ・1年生必修授業内での図書館ガイダンス ・書庫入庫オリエンテーション ・年4回の企画展示、 ・前期、後期ライティングサポートデスク ・レポート論文の書き方講座およびデータベース講習 ・選書ツアー などを実施しています。選書ツアー後は、選書図書を表示する際のポップ、レビュー作成などを参加学生に依頼する等をおこなっています。今後は感染防止対策を取りながら、できる範囲で実施していきます。</p>
東北文化 学園大学 総合情報 センター 図 書 館	<p>(1) これまで、図書は、冊子体中心に蔵書構築をしてきたが、新型コロナウイルスに伴う入構制限（現在は解除）をふまえ、電子書籍の所蔵を増やすことを決めた。利用促進は、入構制限解除がなされたばかりであり、現在模索中。利用ガイダンスは、口頭での説明をスライドに切り替える、参加者数を制限する、などの対策をとりながら実施予定。</p>	尚絅学院 大 学 図 書 館	<p>(1) 学生参加企画については3密を防止しつつ、大学としての方針のなかで実施可能な内容を模索している段階であり、図書館独自の方針としては確立していない。</p> <p>(2) 現在のところ、新型コロナウイルス感染防止の対策に追われており、現状への対応策に集中している。また上記のとおり、大学の対策会議の方針を受けて運営しており、図書館独自の見解、方針は検討していない。個人的見解ではあるがポストコロナに関して、図書館としては電子図書の整備の方向に進むとは予想している。しかしまだ蔵書の整備、提供、保管の意義は失われたいと考えている。</p>

聖和学園 短期大学 図書館	(1) 図書館ガイダンスについて（新入生対象） （過去）学科ごとに教室で行う （今年）・キャリア開発総合学科 少人数（各ゼミ 10 人程度）に分けて 10 分間で館内を案内 ・保育学科 館内の案内や利用方法についての動画 を作成して配信 利用促進について ・図書館学生ボランティアの展示 各自おすすめの本を選び、POP を作成し て展示 ・保育学科学生「図書館で本を借りて POP を作ろう」 保育学科 1 年生が授業で作成した POP を ゼミごと一週間ずつ展示図書館報で各 展示を紹介 (2) 本学は 6 月から対面授業を開始したこと に伴い、ラーニング・コモンズの利用休 止と閲覧席の削減の他は、感染対策を行っ たうえで、通常のサービスを行っています。 今後も、現状のサービスを継続する 予定ですが、状況が悪化した場合は、本 学の対応方針に合わせて、サービスの限 定を検討いたします。
仙台青葉 学院短期 大学図書館	(1) 過去：書架不足の理由から電子資料を購 入していました 現在：利用制限以降、電子資料の利用率 は以前の 10 倍に上っており、今後も有用 性は継続すると思われます。今後も電子 資料の充実を図り、学生に紙・電子の媒 体に関係なく、図書に触れる機会を増や していきたいと考えております。 (2) 他館様を参考にさせて頂きたいと思ひます。
東北生活 文化大学 ・東北生活 文化短期 大学部 附属図書館	(1) 特になし (2) ・貸出日数・冊数の見直し ・オンライン貸出等、貸出・返却の方法模索 ・インターネットを用いた情報提供の強化 （図書館ホームページ、メール用いた サービス）など
ノースアジア 大学 附属図書館	(1) これまでの運営方針について変更点はあ りません。 (2) なし
羽陽学園 短期大学 附属図書館	(1) 5 月中旬から対面授業が行なわれたこと により、図書館の運営方針に大きな変更 はありません。 学生の自宅待機を経て遠隔授業の間は、 主に SNS での情報発信に力を入れました。 特に、1 年次は図書館オリエンテーション が未実施だったことから「図書館の使い 方をつぶやいてみる」という利用案内を 図書館 Twitter で行いました。 (2) 現在のところ具体的な検討はしておりません。
東北公益 文科大学 図書館	(1) 運営方針について、大学の中期計画にお いて、「図書館の魅力向」を重点項目の一 つに定め、図書館運営を行っています。 コロナ禍の影響による変更は、現在のと ころ予定していませんが、実施できない 可能性の高い事業があるため、一部内容 が変更となる見込みです。

	利用促進としては、新入学生の基礎演習 （基礎ゼミ）の授業内で「図書館ツアー」 を行っていたが、今年度はオンライン授 業となったため、館内を紹介する動画や 利用方法を紹介する動画を新たに作成し、 授業で活用していただきました。 (2) 今後の方向性や見解については、まだ着 手できていません。
奥羽大学 図書館	(1) 特になし (2) 特になし
郡山女子 大学 図書館	(1) 今後検討すべき課題ですが、現在のとこ ろは未着手です。 (2) 今後検討すべき課題ですが、現在のとこ ろは未着手です。
東日本国際 大学・ いわき短期 大学 昌平図書館	(1) 今回のコロナ禍はデジタルコンテンツの 重視・拡充への好機と受け止めている。 詳細についてはまだ具体化していないが、 デジタル書籍の整備（これは従前より実 施中）、オンライン授業へのサポート策な どを検討したいと考えています。 (2) 承合事項 3 と重なりますが、中・長期的な資料整 備計画策定の検討が必要と考えています。
日本大学 図書館 工学部分館	(1) 当館では、毎年実施している学生選書ツ アーについて、書店での選書から Web 選 書に変更して実施する予定となっている。 (2) 当館では、コロナ禍により来館しての利 用が難しいことから、日本大学全体で、学外か ら利用できる電子資料の充実を推進している。
桜の聖母 短期大学 図書館 情報センター	(1) ○利用促進についての取り組み ・司書養成課程での選書ツアーの実施、 POP の作成、展示 ・授業内でのビブリオバトルの実施、チャ ンプ本の展示 ・学生会役員と短大との意見交換会（学長 との意見交換）で、学生からの提案を取り 入れ、館内に BGM を流す試みを行っている。 ・本学が行っている子育て支援活動との協 働で、おはなし会を開催 （今年度の開催は未定） (2) ・除菌 BOX 設置の検討を行っている。 ・電子書籍の積極的な導入と活用方法の検 討が必要と考えている。 ・新型コロナウイルス感染症がどのような 形で社会にとらえられていくのかを見 据えながら、これからの短大図書館の 地域開放の在り方について、検討を行っ ていく必要がある。
福島学院 大学 図書館 情報センター	(1) 貸し出しを増やすため、LINE 公式アカウ ントを設け、情報の提供を行うとともに、 現在閉架式であるための待ち時間をなく す「本の予約」を行っている。 (2) 図書館はラーニングコモンズなどの “集まっての利用”を縮小する必要がある。 資料にアクセスする窓口としての機能を 充実させるため、司書とのホットライン を設けるなど、1 対 1 の対応が必要になっ てくると思う。ラーニングコモンズは大 教室からグループ個室（10 人くらい）に なり、換気などの設備も必要になるだろ うが建物の改修を伴うので現実的ではない。 ラーニングコモンズのサービスを完全に やめるくらいに考えた方がよいかもしいない。

**承合事項3：中長期的な資料整備計画の策定及び
電子ブックの整備状況について**
(提案館：岩手県立大学メディアセンター、
秋田大学附属図書館)

<p>提案理由</p>	<p>本館では、次期中期計画に向け、中・長期的な資料整備計画策定の検討を進めています。背景として、予算削減や外国雑誌価格の高騰により、図書購入費や購読雑誌タイトルの削減で対応せざるを得ない状況が続いていることがあります。(岩手県立大学メディアセンター)</p> <p>また、コロナ禍の影響により本館では今後、非来館型の資料提供を推進したいと考えており、まずは加盟館における電子ブックの整備状況を把握したく提案させていただきました。(秋田大学附属図書館)</p> <p>については、各館における資料整備について、以下(1)～(4)をご教示いただきたくお願いいたします。</p> <p>(1) 中・長期的な資料整備計画を策定しているか (2) 策定している場合 ①計画年数 ②概要(重点項目等) (3) 外国雑誌価格の高騰への対策(全学共通経費化等) (4) 電子ブックの整備状況 ①令和2年7月現在での買切り型、購読型それぞれの提供タイトル数 ②電子ブック選定の工夫や電子ブック購入方針として明文化されたものがあるか ※有の場合は回答用紙の提供可否にチェックを入れてください。提案館の秋田大学附属図書館から個別に問い合わせさせていただきます。</p>	<p>岩手大学 図書館</p> <p>(1) 策定していない (3) 外国雑誌価格の高騰への対策(全学共通経費化等) 電子ジャーナルについてはすでに全学共通経費化済みであり、これまで価格上昇も含め必要経費は予算措置されている。冊子体の購読は2タイトルのみだったが、今年から1タイトル(Time)を国内雑誌扱い(Fujisan.co.jp)に変更し、経費を削減することができた。 (4) ①令和2年7月現在での買切り型、購読型それぞれの提供タイトル数 買切り型 7,159タイトル 購読型 1,428タイトル ②選定の工夫について、一定金額以上の購入義務のある電子ブックの試読サービスを昨年度実施し、効果的な選書ができたとは言えない利用状況だったが、今年度はコロナ禍対応として前期後期の2回実施予定。 電子ブック購入方針について、明文化されたものはないが、教員が推薦した学生用図書の購入については、今年度から電子ブックでの購入を優先することにした。</p>
<p>弘前大学 附属図書館</p>	<p>(1) 大学と進めている事業と連携しながら、大学の教育研究と学術基盤向上を図るため各学問分野において揃えるべき資料を整備する。 (2) ①平成27年度から整備計画を策定。 ②新しい教養教育や学部改組に関連した資料整備のうち、グローバル人材育成、地域志向型人材育成、イノベーション創出人材育成など教育研究支援のための資料整備を重点項目としている。 (3) 本学では、平成29年度より、附属図書館運営委員会で承認を得た主要な電子ジャーナルパッケージ及びデータベース(9製品)については全学共通経費として、部局(図書館)予算とは別に予算措置を受けている。この予算は部局(図書館)予算と異なり、一定割合のシーリングがかからないものとなっており、現在までのところ配分額の範囲内で当該年度の必要経費をまかなえている。ただし、単品の外国雑誌については部局(図書館)予算内での整備となっているため、図書の購入を抑制して外国雑誌の維持に充てている。 (4) ①買切り型：1,321点 購読型：4,507点 ②なし</p>	<p>東北大学 附属図書館</p> <p>(1) 策定していない (3) 教員で構成される各委員会における学術情報整備計画の下、全学的に利用可能で、且つ、大学として必要不可欠な電子ジャーナル、二次情報データベースを厳選し、価格高騰への策を検討している。財源は、毎年要求する全学的基盤経費・図書館経費・各部局負担であるが、全学的基盤経費と部局負の割合はほぼ半々である。 (4) ①買切り型：13,223件 購読型：7,275件 ②明文化されたものはないが、現時点での選定基準は冊子体と同様である。収書方針は本・分館毎に策定しているが、本館ではコロナ禍に対応するため令和2年度の方針を急遽決め、シラバス掲載図書を重点的に購入して4月以降のオンライン授業に対応した。 この他、冊子体の貸出回数や試読・トライアルのアクセス統計等を参考に購入している。今後は本・分館、図書室において整備拡充のための検討を進める予定である。</p>
<p>宮城教育 大学 附属図書館</p>	<p>(1) 策定していない (3) 実質的に予算は全学共通経費化されており、予算増額についても厳しい状況であるため、限られた予算の中でより多くの利用者へより多くかつ適切な資料を提供できるようパッケージ契約、アグリゲータ製品、コアジャーナル等の最適な組み合わせについて、これまでの枠組みに囚われることなく検討を進めている。 (4) ①買切り型：3,205 購読型：0 ②なし</p>	<p>宮城教育 大学 附属図書館</p> <p>(1) 策定していない (3) 実質的に予算は全学共通経費化されており、予算増額についても厳しい状況であるため、限られた予算の中でより多くの利用者へより多くかつ適切な資料を提供できるようパッケージ契約、アグリゲータ製品、コアジャーナル等の最適な組み合わせについて、これまでの枠組みに囚われることなく検討を進めている。 (4) ①買切り型：3,205 購読型：0 ②なし</p>

秋田大学 附属図書館	<p>(1) 長期的な資料整備は「秋田大学附属図書館蔵書構築基本要項」により定めている。うち、学生用図書については「秋田大学附属図書館学生用図書選書基準」により詳細を定めている。</p> <p>(2) ① 2点とも平成17年より実施し、終期は設定せず。</p> <p>② 「蔵書構築基本要項」目的 長期的な視野に立って教育・研究に必要な蔵書を効果的に収集整備し、特色ある蔵書の構築を目指すことにより、本学における教育研究基盤の強化充実を図り、本学の学生及び教職員並びに一般市民に対して情報提供面から支援を行う。</p> <p>「学生用図書選書基準」基本方針</p> <p>1 本学の授業内容・カリキュラムに対応する学問分野については、基礎的知識習得と体系的な学習に必要な資料を網羅的に選定する</p> <p>2 本学のカリキュラムに該当しない学問分野についても幅広い学習が可能となるように必要な資料を精選して選定する</p> <p>3 一般的教養、社会問題等に関連する知識の習得のために必要な資料を選定する</p> <p>(3) 全学共通経費により、複数の出版社と電子ジャーナルの包括的パッケージ契約を行っており、価格高騰への対策として以下の対応を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数年契約による価格上昇率の抑制 ・電子ブック等の買切製品の購入による購読規模維持金額の減額等のオプション契約の活用 ・新規購読需要に対する、購読誌の入れ替えによる対応の検討 <p>(4) ① 買切り型：1,484タイトル、購読型：4,531タイトル</p> <p>② シラバス掲載図書の網羅的な収集、電子ブック学生リクエストキャンペーンの実施、講座推薦時における電子ブックの積極的な選定のお願い</p> <p>平成29年に附属図書館委員会にて「電子書籍の購入方針」として明文化</p> <p>有の場合の提供可否 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否</p>
山形大学 小白川 図書館	<p>(1) 策定していない</p> <p>(3) 電子ジャーナルに関する経費については、6,000万を全額経費とし、不足分は各学部からの負担として予算化している。とはいえ、予算逼迫により複数契約中である出版社のパッケージ契約の一部について、解約も検討せざるを得ない状況である。</p> <p>(4) ① ・買切り型 外国 4,687タイトル、国内 1,131タイトル ・購読型 0タイトル</p> <p>② 明文化されたものは特になし</p>

山形大学 医学部 図書館	<p>(1) 策定していない</p> <p>(3) タイトル削減の見直しを行なうしかない状況。利用統計による費用対効果での削減は出尽くしたため、次の視点を模索している（エンバーゴの期間等）。</p> <p>(4) ① 医学部のみ ・買切り型 68タイトル ・購読型 メディカルオンラインイーブックスライブラリ（1400タイトル以上）</p> <p>② なし</p>
山形大学 医学部 図書館	<p>(1) 策定していない</p> <p>(3) タイトル削減の見直しを行なうしかない状況。利用統計による費用対効果での削減は出尽くしたため、次の視点を模索している（エンバーゴの期間等）。</p> <p>(4) ① 医学部のみ ・買切り型 68タイトル ・購読型 メディカルオンラインイーブックスライブラリ（1400タイトル以上）</p> <p>② なし</p>
山形大学 工学部 図書館	<p>(1) 策定していない</p> <p>(3) 対策していない</p> <p>(4) ① 購読 110 ② 無</p>
福島大学 附属図書館	<p>(1) なし</p> <p>(3) ・本学では電子ジャーナル・データベースのパッケージコレクションのみ全学経費化している。 ・購読雑誌タイトル数を削減している。</p> <p>(4) ① 買切り型：1,059、購読型：1,059 ② 有 今年度は、当館の運営委員会において、電子ブックの整備を含めた学生用図書全体の選書・購入方法を確認した。</p> <p>有の場合の提供可否 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否</p>
青森公立 大学 図書館	<p>(1) 大学組織として、明確な資料整備計画は策定していないが、近年の外国雑誌の高騰、書架の狭溢などの問題に、随時検討・対応を行っているところである。他大学の計画内容を今後の参考にさせていただきたい。</p> <p>(3) サイエンスダイレクト契約方法の変更 これまでサイエンスダイレクトについては27タイトルを購入形式で契約していたが、あらためて各ジャーナルの利用頻度等の利用状況について整理を行い、より本学にとって利用しやすい契約方法を模索した結果、トランザクション方式への変更が有効であり、コスト削減にもつながることとなった。 2021年1月から新たな契約方法にて運用予定</p> <p>(4) ① 購入なし ② なし</p>

青森県立 保健大学 附属図書館	(1) 策定していない (3) 利用が少ないタイトルの購入を中止し、代わりに教員の文献複写とドキュメントデリバリーを図書館予算化した。 (4) 令和2年7月31日現在 ①買切り型:79タイトル(内訳:和78、洋1) 購読型:19,726タイトル(内訳:和4,510、洋15,216) ②電子書籍の積極的購入方針を令和2年7月31日の図書館委員会で決定したが、明文化されていない。	山形県公立 大学法人 附属図書館	(1) 策定していない (3) 予算内で需要がある外国雑誌を最大限に充実させることに努めています。 (4) ①買切り型:173タイトル 購読型:0タイトル ②明文化した方針はありません。
岩手県立 大学 メディア センター	(1) 長期的な整備計画は策定していない。 (3) 定期的な雑誌の削減、冊子体から安価な電子ジャーナルへ形態の見直し、複数年契約に切替えなどを行っている。 (4) ①買切り型:1タイトル ②なし	会津大学 情報センター 附属図書館	(1) 策定していない (3) 教員から要望があり、一部雑誌についてpay-per-view方式での購入について検討している。 (4) ①買切り型:1,194タイトル 購読型:0タイトル ②なし(「会津大学情報センター附属図書館資料選定基準(内規)」に資料の選定について基準を定めているが、電子資料に特化した記載はない。)
宮城大学 総合情報 センター	(1) 次期中期計画の中で、資料の電子化により利活用を支援することを明記しています。 (2) ①6年間 ②資料整備方針にもとづいた所蔵資料の充実 (3) 次期中期計画において、外国雑誌およびデータベース等の価格高騰について取り上げ、現在のタイトル数を維持した場合の6年間の値上がり額を予測し、その分も次期中期計画中の資金計画に組み入れました。 (4) ①買切り型:570点 購読型:100点 ②基本的には冊子体の資料と同様、資料整備方針・資料選定基準に基づきますが、電子媒体資料の記載については、資料選定基準に簡単な記述があるのみとなっております。	福島県立 医科大学 附属学術 情報センター	(1) 約2年の計画で策定しています。 (2) ①2年間程度、現在は平成30年に策定し、31年度から運用している。本来は今年度検討であったが、事情により1年延長としている。 ②欧文雑誌の購読。 (3) 選定の方法のみ、予算措置などの対策は行っていない。 (4) ①買切り型:879 購読型:4,483 ②コロナ禍の状況を踏まえ、今後は明文化を進めていきたい。 有の場合の提供可否 □可 ■否 (1)の理由により
秋田県立 大学図書・ 情報センター	(1) 策定していない (3) 購読雑誌の見直し (4) ①買切り型:1,991タイトル ②なし	東北女子 大学 附属図書館	(1) 策定しておりません (3) 毎年購読数について検討 教員から希望調査をとり、購読数を決定している。算内で需要がある外国雑誌を最大限に充実させることに努めています。 (4) 本学では電子ブックを整備しておりませんので、回答を控えさせていただきます。
秋田公立 美術 大学附属 図書館	(1) 策定しておりません (3) 特になし (4) ①買切り型:400点 ②ありません	八戸学院 図書館	(1) 特になし
国際教養 大学 中嶋記念 図書館	(1) 中・長期的な資料整備計画を策定している (2) ①6年(2016～2021年度) ②学修支援の中期計画(第3期)として、図書館の蔵書・各種資料の充実を目標として掲げており、平成31年度(令和1年度)より本学の教育研究内容に密接に関連した図書及び資料の整備、特に洋書の参考図書更新と新カリキュラムで加わる分野、テーマを含む図書の整備を行っている。 (3) 3年ごとに雑誌契約の見直しを行い、教員、学生、大学院生、及び図書館職員からなる図書館運営委員会で新規契約、解約の必要性を審議・決定している。 (4) ①378,489タイトル(すべて購読型) ②無	八戸工業 大学 図書館	(1) 検討中 (2) 検討中 (3) 検討中 (4) ①電子ブックの導入はなし ②特になし
		弘前学院 大学 附属図書館	(1) 特になし (3) 定期購読雑誌を見直し、不要なものは中止している。 (4) 特になし
		青森中央 学院大学 ・青森中央 短期大学 図書館情報 センター	(1) 策定していない (3) 予算内に収まるように、購読タイトルの見直し・削減を行っているが、ほぼ毎年見直しをしなければならない状況にある。 (4) ①買切り型:22点 ②明文化されていない。

岩手医科大学 附属図書館	<p>(1) 学修および教育研究環境の整備を目的とした蔵書構築プランの策定これまで外国雑誌の継続を重視した予算及び蔵書構築を進めていたが、長期的な価格高騰や増税により、年々誌数の減少を余儀なくされている。</p> <p>昨今はオープンアクセスにより閲覧可能な論文が増加していることもあり、視点を変え、長期的な視野により学修、教育に必要な資料を重点的に収集する新たな蔵書構築プランを策定していく。</p> <p>教育に必要な資料の整備は、学生、教員のみならず、一般市民や県内公共図書館との連携による医療・健康情報提供にも少なからず効果があるものと思われる。</p> <p>(2) ① 4年間(2020年度～2024年度) ②・蔵書構築プランを機関会議で策定プランに基づいた蔵書構築マニュアルを事務室で作成 ・蔵書構築マニュアルに則した図書館運用の実施 プランに則した収書及び適正な在庫配置への変換 ・蔵書の在り方について評価・分析 >図書館員による振り返り >利用者からの意見収集方法の検討と実施 ・蔵書構築プラン、蔵書構築マニュアルの見直し</p> <p>(3) 雑誌購入見直しアンケートを全学部全講座に配布し、回答結果から順位付けを行い、予算を超過する電子版タイトルの削減を図る予定</p> <p>(4) ①買切り型：4,928タイトル、購読型：5,017タイトル (購読型種類：McGraw-Hill's Access Medicine、Elsevier Science Direct、メディカルオンラインイーブックス、化学書資料館、理科年表プレミアム、今日の診療 Web) ②特になし</p>
富士大学 図書館	<p>(1) していない</p> <p>(4) 今年度電子ブックの購入を検討している</p>
盛岡大学 図書館	<p>(1) 特に整備計画は策定していないが、コロナ禍の影響により今年度来館せずとも利用可能な電子ブックの整備は進めることとした。</p> <p>(3) 毎年外国雑誌の価格は高騰している。学部の教員に対し必要性の高い雑誌についての意見(アンケート)を聴取し、予算と照らし合わせながら冊子体からオンラインジャーナルに切り替えることもある。</p> <p>(4) ①買切型 和書24タイトル、洋書25タイトル ②電子ブック選定の工夫や購入方針として明文化されたものはないが、「盛岡大学図書館資料収集方針」に電子化資料として収集資料として位置づけられている。</p>
修紅短期 大学 図書館	<p>(1) 特に策定はしていません。</p> <p>(3) 購入していないため対策はしていません。</p> <p>(4) 電子ブックは運用していません。</p>

石巻専修 大学 図書館	<p>(1) 資料整備計画は策定していない。</p> <p>(3) 予算額に応じた毎年の見直しを行っている。また、5年毎に全体の見直しを行っている。</p> <p>(4) ①買切り 92タイトル(今年度より導入) ②導入時に他大学での利用実績のあるタイトルから予算の70～80%をめどに選定し購入した。購入方針は明文化していないが、予算残額に応じて購入希望の多い図書を購入する。</p>
東北学院 大学 図書館	<p>(1) 中・長期的な資料整備計画は策定していない。</p> <p>(3) 外国雑誌価格の高騰への対策としては、毎年各学科の図書館委員へ継続購入雑誌のアンケート(継続・中止等)を実施し、予算の削減の協力をお願いしている。あわせて図書費やオンランデータベースなどの図書館予算全体の調整を行っている。</p> <p>(4) ①買切り型 3,217種 購読型 24種 ②なし</p>
東北工業 大学 附属図書館	<p>(1) 新学部、新学科を2020年度より開設。開設前年(2019年)度より新学部・新学科用の資料整備を計画、実施している。書架狭隘化解消のため、積極的な資料整備(除籍)を検討している。</p> <p>(2) ①新学部・新学科用の資料整備：2019年度～2022年度(4ヵ年)、資料整備：未定(検討中) ②新学部、新学科と既存学部・学科用資料の購入、資料整備計画の策定</p> <p>(3) ・2019年度までに購読する雑誌タイトルを厳選(タイトル削減)。 ・教員が必要な文献を入手できるようILLの無償化(費用は図書館が負担)、論文等のダウンロード費用補助、PPVの契約・利用を試行している。</p> <p>(4) ①令和2年7月時点でのタイトル数 ・買切り型：263タイトル ・購読型：69タイトル ②電子ブックの選定は、図書の選書方針に準じている。 現在は、新型コロナウイルス感染症の影響による就職活動支援のため、就職に関する書籍の購入を増やしている。</p> <p>有の場合の提供可否 <input type="checkbox"/>可 <input checked="" type="checkbox"/>否</p>
東北福祉 大学 図書館	<p>(1) 中・長期的な資料整備計画は策定していないが、『第Ⅲ次東北福祉大学図書館整備基本計画』において基本的な収集方針は示してある。</p> <p>(3) パッケージ契約を単体契約への見直しを行っている。</p> <p>(4) ①買切り型：34タイトル 購読型：2タイトル (詳細はhttps://www.tfu.ac.jp/libr/s-e.htmlを参照ください) ②基本的にレファレンス資料を主としている</p>

東北文化 学園大学 総合情報 センター 図書館	(1) 策定していない (3) 購入形態 (PR・0J) の見直し 学科・専攻へ、利用状況の確認。利用がない タイトルは、継続可否を検討 (4) ①買切り型：8冊 購読型：0冊 ※購買型の購入は予算上の都合により、 購入予定なし。 ②なし
東北医科 薬科大学 附属図書館	(1) 策定していない (3) 契約タイトルの選定にあたっては、利用 統計を参考とし図書委員会で諮り利用頻度 の低いものは、契約中止としている。 予算については、図書館として配賦となっ ている。 (4) ①買切り型 9,572 購読型 16,662 ②明文化されたものはなしです。
宮城学院 女子大学 図書館	(3) 現時点では、毎年各学科に雑誌の継続 可否を判断、決定していただいています。 (4) ①350タイトル ②各学科が専攻する基礎的資料、就職、 資格に関するテキスト類、また参考図書 のため館外持出ができない辞書・事典類 を選定しています。そのほか各学科へ電 子ブックのご案内をし、要望をいただく 等もおこなっています。
尚綱学院 大学 図書館	(1) 策定していない (3) 全学共通経費化は全資料について既に 実施している。 外国雑誌価格高騰は主に電子ジャーナルのア グリゲーション・サービスの利用に拠っており、 コンソーシアムには参加していない。 (4) ①買切り型 123件 購読型 0件 ②なし
聖和学園 短期大学 図書館	(1) 年度毎に、図書購入費や雑誌購読タイト ルを検討しているため、中長期的な資料整備 計画はありません。また、現在、当館に電 子ブックはありません。今のところ、今後 の購入の予定もありません。 (3) 現在、外国雑誌を購読しておりません。
仙台青葉 学院短期 大学図書館	(1) 具体的な計画は立っておりません。 (4) ①買切り型：和書 930点 洋書 323点 動画資料 34点 購読型：なし ②買切り型の電子資料は紙媒体資料と 同様の資産として捉えているため、明 文化したものはありません。
東北生活 文化大学 ・東北生活 文化短期 大学部 附属図書館	(1) 中期的に未遡及資料と除籍候補の資料に ついての処理と整備 (2) ①5-10年以内 ②未遡及資料や不明図書の処理を行う (3) 外国雑誌は毎年決まった予算のため、 その範囲を超える見込みがある場合は、雑 誌のタイトル数を減らすことで対策を取っ てきた。今後の対策は、雑誌の見直しをし、 利用頻度が低いものについて減らすこと のできるものは減らしていく。同時に予算申 請や獲得交渉も行っている。 (4) ①電子書籍を所蔵している。 買切り型でタイトル数は87点ある。 ②購入方針など、明文化されたものは ありません。

ノースアジア 大学 附属図書館	(1) 特に策定はしておりません。 (3) 教員へアンケートをとるなどして、 利用の少ない外国雑誌について契約を続け るかどうかを検討するなどの対策をとって います。 (4) なし
羽陽学園 短期大学 附属図書館	(1) 策定しておりません (3) 購読していた外国雑誌は、数年かけて 全て取りやめました。 (4) ありません
東北公益 文科大学 図書館	(1) 策定している ※資料整備計画でなく中期計画の一部として (2) ①5年 ②学生リクエストの強化。語学資料の充実。 (3) 新しい外国雑誌を購入依頼があった場合 は、他の雑誌を削減してもらうなど、予 算内で調整している。高額な外国語雑誌 については予算上購入が難しいため、ILL で対応としている。 (4) ①買切り型 76点、購読型 0点 ②配架図書と同様のルールで運用
奥羽大学 図書館	(1) 策定していない (3) 現状タイトル維持に努めるが利用状況 を見て見直し等検討 (4) ②明文化されたものはなし
郡山女子 大学 図書館	(1) 現在のところ、中・長期的な資料整備計 画は策定しておりません。 (3) 特に対策はなく、購読雑誌タイトル削減 により対応せざるを得ませんでした。 (4) ①買切り型 11、購読型 5 ②明文化された購入方針はありませんが、 主に資格課程に関するタイトルを購入 するようにしています。
東日本国際 大学・ いわき短期 大学 昌平図書館	(1) 中・長期的な資料整備計画は策定してい ないため、今後、検討していきたいと考 えています。 (2) 今後の検討課題です。
日本大学 図書館 工学部分館	(1) 計画していない (3) 図書委員会において、利用統計を報告し ているほか、毎年早い段階で購読の見直し を実施して対応している。 (4) ①70,202タイトル(令和2年7月13日現在) ※購読及び買い切り合算 ②なし
桜の聖母 短期大学 図書館情報 センター	(1) 未策定 (3) ・購読タイトルの見直し ・Print+Online 版で、切り離して購読可 能なタイトルは、どちらか一方の購読 とし、費用を削減。 (4) ①買切り型 34タイトル ②未策定(現在のところ、電子ブックも 図書の選書方針に添って選定を行って いる。)
福島学院 大学 図書館情報 センター	(1) 策定していない (3) オープンアクセスの雑誌を用いるように し、その URL へアクセスをサポートし ている。 (4) ①電子ブックは利用がないので、青空文 庫など無償のもののみ ②ない

承合事項 4 : 特集・展示コーナーの運用方法について
(提案館：青森中央学院大学・青森中央短期大学
図書館情報センター)

提 案 理 由	本館では、一般書架の他に、特集・展示コーナーを設けており、「建学の精神」に関連する図書などの常設コーナーのほかに、定期的に更新する特集コーナーがあります。ですが、文学賞やイベント関連で内容が固定化しており、更新頻度も年間3～4回と低く活用しきれれておりません。定期的に更新する特集コーナーを設置している館がいらっしやいましたら、特集テーマの選定方法や内容、展示方法、期間、冊数やスペースの規模など、運用方法についてご教示ください。
---------	---

弘前大学 附属図書館	<p>当館では、1階に新着図書展示コーナー、2階に企画展示コーナーを設置している。1階、2階ともに、展示架4面(両面)を使って展示している。1階の新着図書展示コーナーは、新刊が入るたびに入れ替えしている。本学の教員が書かれた本を新聞記事と一緒に展示する等、工夫している。</p> <p>2階の企画展示コーナーは、4面のうち2面は主にPOPコンテストやブックハンティングの展示を行い、1面は弘前大学出版会の本、残りの1面は特集コーナーとして定期的に更新している。過去の例では、本学で開催される学術講演会に関連した本の展示や、多読本の展示、図書館職員イチオシ本、プレゼン特集、就活特集など、3か月くらいの間隔で更新している。特集テーマについてはその都度、時期にあったものを検討し、展示する本を20冊くらい用意して、展示する本にPOPを付けたり、ポスターを貼ったりするなど、利用者の興味を引くように工夫を凝らしている。展示の担当者によって展示の雰囲気も変わるので、担当者も交替しながら運用している。</p>
---------------	--



東北大学 附属図書館	<p>企画展示、新入生歓迎展示、オープンキャンパス展示、日・EUフレンドシップウィーク展示(*1) その他本館・分館それぞれによる展示を行っている。また、企画展示ではあわせて講演会を行っている。</p> <p>〈選定・内容〉</p> <p>企画展示は本館・分館のスタッフで構成する「展示ワーキンググループ」でテーマを設定し貴重図書も含めて選定をおこなっている。企画展示では宮城県図書館や仙台文学館と共同で開催したこともあった。他の展示は情報サービス課を中心に内容を構成している。また、新入生歓迎展示では学内の史料館、埋蔵文化財調査室と協働で行い、大学の歴史的史料やキャンパス(仙台城址)から発掘された埋蔵物等も展示している。</p>
---------------	--

	<p>展示内容の選定、パネル、展示資料へのキャプションは、ワーキングで作成して学内外の協力研究員の監修を得ている。</p> <p>その他ミニ展示は担当者が所蔵資料から適宜選定しており、留学生コンシェルジュの選定による企画もある。</p> <p>〈展示方法〉</p> <p>所蔵資料を中心に展示ケースに配置し、キャプションを付している。また、資料に関する解説パネルや年表などを掲示している。</p> <p>〈期間〉</p> <p>2週間～1カ月程度で行っている。受付を設置する場合は人的配置の都合もあり期間が短くなる。</p> <p>〈冊数〉</p> <p>冊数はその都度の展示規模による。</p> <p>〈スペース・規模〉</p> <p>企画展示では主に本館内の多目的室(112㎡)を使用し、特別企画展示の際には外部(仙台市中心部)の施設を利用することもある。本館のエントランスに20mの展示パネルがあり、企画展示以外ではパネルと展示ケースを置いて展示を行っている。その他ミニ展示は閲覧スペースにテーブルを設置して展示を行っている。本館エントランス展示コーナーやミニ展示では受付を置いていない。また、各分館では館内のスペースにパネルや展示ケースをその都度設置して展示を行っている。展示の概要は以下に掲載している。</p> <p>〈企画展〉</p> <p>http://www.library.tohoku.ac.jp/collection/exhibit/sp/exhib-sp.html</p> <p>〈常設展〉</p> <p>http://www.library.tohoku.ac.jp/collection/exhibit/gen/exhib-gen.html</p> <p>(*1) 欧州連合(EU)の行政執行機関である欧州委員会が世界中に設置している情報センター(EUi)で、日本では大学図書館を中心に19の期間が指定されており、毎年5月～7月に「日・EUフレンドシップウィーク」として展示・講演や各種イベントを行っている。東北大学は1983年にEDC(EUiの前身)指定され、フレンドシップウィークでは展示等のイベントを行っている。</p>
--	---

宮城教育 大 学 附属図書館	<p>当館では、季節や時事、イベント、文学賞等に合わせたミニ展示を職員が分担して実施している(昨年度は約37回実施)。また、ビブリオバトルサークルによる展示用ブックトラックも設置している(年数回更新)。さらに、学生発案による展示も希望により場所の提供をしている。</p> <p>展示内容は事前スケジュールを定めていないが、職員の自由な発想を活かし、飾り付けなども各自工夫して実施している。規模はブックトラック1台、またはテーブル1台や低書架の上等比較的小規模で、展示期間は2か月程度である。</p> <p>ホームページやSNSで展示開始のお知らせとともに、昨年度の途中から展示した図書をブックログにタグをつけて保存し、展示が終了しても確認できるようにした。</p> <p>ホームページ(お知らせ):</p> <p>http://library.miyakyo-u.ac.jp/</p> <p>ブックログ(タグでテーマを選択):</p> <p>https://booklog.jp/users/muelibrary</p>
----------------------	--

秋田大学 附属図書館	<p>・期間：1～2か月に1度、テーマを変えて企画展示を実施。</p> <p>・展示方法：ディスプレイ用の可動式書架に、1期2テーマで100冊前後を入口付近のホールに展示。</p> <p>・テーマの選定：その時の話題、季節、行事などから選定することが多いが、制約は特になく、多少の遊び心をもってテーマやタイトルを自由に決めている。他館の展示を参考にすることもある。主に利用サービス担当で企画するが、提案は誰でもできる。</p> <p>・対象：図書のほか雑誌特集号なども展示。</p> <p>・課題：貸出で空いたスペースの補充や、返却後展示へ戻らず一般書架へ配架されるためチェックが必要。</p> <p>最近のテーマ・タイトル例 「初めての大学生活」・「ようこそ秋田へ！」 「いざ、就活！」・「手紙にまつわる本」 「デジタルギャラリー公開記念 もっと知りたいシェイクスピア」 「令和 図書館資料で振り返る元号」「消費税up直前！何がどうなる？」 「俺の話しをきけ～人を惹きつける話術とは？心に響く言葉・文章を放とう！」 「こんなに面白そうなのにまだ図書館の外に出たことがない図書たち」 「あなたの隣の犯罪者～え！まさかあの人 が、、、被害にあわない為、自分自身ができる事～」 「二度見するタイトルの本」など。 このほか年に1回程度、展示ケースで当館所蔵の貴重書展示を実施。利用者が日ごろ目にできない貴重な資料を公開する。</p> <p>どちらの展示も、過去のものを含めホームページで確認できる。 https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/?q=ja/node/48</p>	福島大学 附属図書館	<p>※1・2は本の展示ではありませんが、参考までにお知らせします。</p> <p>1. 資料展示コーナー（本館 1F） 2019年度より、大学の震災記録や貴重資料を展示するコーナーとして、図書館職員だけでなく学内の他部局の教職員も交えたWGを結成し、展示の企画や実施を行っている。当初は、年に数回、展示を入れ替える予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、現在、2回目の展示が開催されているところである。</p> <p>2. ロビーにおける展示（本館 1F） 学生や教職員から申込を受け付け、2週間～1カ月程度で展示を行うことができるスペースとしてロビーを活用している。展示の内容としては、授業や学生のサークル活動の成果物などが多い。</p> <p>3. 学びのナビ展示コーナー（本館 2F） 本学での学生の学びを活性化させるため、図書館を拠点に活動している学生スタッフが、活動を支援する教員のアドバイスを受けながら定期的にテーマを決め、蔵書の展示（10冊未満、貸出可）とポップの作成を行っている。ただし、今年度は、遠隔授業などにより学生の活動ができていないため、展示も止まってしまっている状況である。</p> <p>4. 推薦図書コーナー（新館 2F） 図書館運営委員である5つの学類の教員を通して、図書（蔵書と新規購入図書）を推薦してもらい、一部については推薦文の提出もお願いしている（現在は、25冊を展示中で貸出も可能）。年1回、10月ごろに入替を行っている。本の内容と推薦文については、ブックログでも紹介している。 https://booklog.jp/users/toriokikun</p>
山形大学 小白川 図書館	<p>特集テーマ：新入生おすすめ図書（4-5月）教員推薦図書前期（6-7月）怖い本等（8-9月半ば）文科省教育文化週間（教員著書、9月半ば-11月）教員推薦図書後期（12-1月）職員推薦図書、学習サポートAA推薦図書等（2-3月） ※8-9月半ばのテーマは、固定ではなく、その年によって変わる場合もあり。 選定方法：教員選書（推薦）、教員著書、テーマに合う資料をピックアップ。 展示方法：専用の展示コーナーへ展示。 期間：1テーマにつき2か月程度。 冊数：30～50冊程度。 ※今年度はコロナ禍による臨時休館のため展示はなし。教員推薦図書のみ、新着図書コーナーへ新着図書と合わせて、配架。 【医学部図書館】該当なし 【工学部図書館】定期的に設置していない 【農学部図書館】なし</p>	青森公立 大学 図書館	<p>これまで下記のとおり展示を行ってまいりましたが、今年度よりテーマを増やし、図書館職員作成のPOPと一緒に資料の展示を開始した。新着図書は本の帯をPOP替わりに利用している。 （以前の展示） ・新着図書 ・新入生向け図書 ・就活用図書 ・ノーベル賞関連</p>
		青森県立 保健大学 附属図書館	<p>当館では、固定イベント関連で年4回前後更新しているのみで、特集・展示コーナーの活用まで手が回らない状態です。</p>

岩手県立 大 学 メディア センター	<p>学生協働による企画展示を年10回程度。職員による企画展示を年数回実施している。</p> <p>学生協働による企画展示は、学生が自由にテーマ設定する展示を年2回程度、期間約3か月、30冊から40冊程度で実施しているほか、話題になっていることや季節に関することなどをテーマに、月替わり（休業期間を除く）で、3冊から5冊程度で展示している。</p> <p>職員による展示は、前年度のベストリーダーの紹介や教員連携のイベントで紹介した本の展示などを行っている。</p> <p>これらの展示は、学生生活向け（料理レシピ、旅行ガイドブック、就職活動等）の本を配架しているコーナー近くで実施し、学生に手にとってもらいやすいよう工夫している。</p>	国際教養 大 学 中嶋記念 図 書 館	<p>新入生推薦図書（4月～5月）、就活を応援するためのCareer & Life（12月～2月）、国連寄託図書館としての国連展示（10月～11月）、そして学生選書ツアー企画で購入した図書の展示（8月～9月）を行っている。</p> <p>学生選書ツアー以外は、現役学生の意見もくみつつ、学長、副学長に新入生推薦図書をご推薦頂き、司書もほかのリソースを確認しながら選書している。</p> <p>展示はサービスカウンター前、入口付近のディスプレイエリアを利用し、ショーケースや、マネキン、パネルなども利用し、図書以外のものも併せて展示を実施している。</p> <p>また企画終了後も、展示の名称でOPACより検索できるように、タグをつけて、さらなる利用を図っている。約100冊をめどに展示し、EBookもQRコードを張り付けそこからアクセスできるように併せて展示している。</p>
宮城大学 総合情報 センター	<p>○常設コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新着図書 ・震災関連資料 ・アジア関連資料 など <p>○企画展示（3か所）</p> <p>定期的に更新しています。（年に4～6回程度）</p> <p>特集テーマは、カウンタースタッフが主に担当し、季節に関連したものや話題のものなど、自由に選定しています。それ以外に、イベントに関連した展示や他機関より依頼があったもの（仙台精神福祉保健センターの依頼により、若年層の自殺予防に関する展示を例年実施）は、職員が担当しています。</p>	山形県公立 大学法人 附属図書館	<p>①アルバイト学生のおすすめ図書の展示</p> <p>②山形県図書館協会事業のひとつ「山形県図書館大賞」で選ばれた図書の展示</p> <p>③司書が定期的にテーマを決め展示</p> <p>①②は毎年実施し一定期間展示している。③は1～2か月ごと更新している。特集テーマは、その時々話題になっていることから司書が決めている。展示方法は、館内でテーブルに図書を数冊展示する方法で行っている。</p>
秋田県立 大 学 図書・情報 センター	<p><選定方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による推薦図書（図書委員に依頼、年3～4回、約20冊展示） ・学生リクエスト図書（リクエスト図書購入時に入れ替え、約10冊展示） ・図書館職員による選定（学生が興味を持ちそうなテーマ「レポートの書き方」「旅行」「料理」等を決めて関連本を集める。約30冊展示） ・お薦め本（教員選書の新着図書の中からピックアップする。約50冊展示） <p><展示方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館カウンター前に展示棚設置 ・図書の内容紹介や推薦文を作成して図書と一緒に展示 <p><期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月～半年程度 	会津大学 情報センター 附属図書館	<p>常設コーナーの他、館内1Fと2Fにそれぞれ一か所ずつ展示コーナーを設けている。</p> <p>【テーマの選定方法】</p> <p>文学賞や本屋大賞などの各種受賞作のほか、学内外で話題となっているテーマを中心に選定</p> <p>【展示方法】</p> <p>ブックトラックや平台に資料の現物とポップを展示</p> <p>【期間】</p> <p>およそ2ヶ月更新</p> <p>【冊数・スペースの規模】</p> <p>20冊～40冊程度（ブックトラック2～3台分程度）</p> <p>【運用方法】</p> <p>展示する資料は、展示中であることがわかるよう、現物にテプラを貼り、所在を変更する。学内へのポスター掲示やウェブサイトへの情報掲載により広報を行っている。</p>
秋田公立 美術大学 附属図書館	<p>社会的問題の中から学生も関心が高いであろうテーマを選んだ展示と、夏休みや冬休みの長期貸出前に受賞作品等を扱った文芸書フェアを2ヶ月程度のスパンで入れ替え展示している。</p> <p>【その他工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示の際には、図書購入時に付いてくる帯等をラミネートしてそのままポップとして活用し、告知ポスターはなるべくフリー素材の中からセンスの良いものを背景に選んで作成するなど業務効率化を図っている。 ・展示で使用するブックスタンドや小物等もなるべくデザイン性の高いものを選んで使用するようにしている。 	会津大学 短期大学部 附属図書館	<p>本館では、学生生活応援（生活応援・論文作成・就活関連）コーナーと震災関連図書を常設展示コーナーとしているほかは、本屋大賞や文学賞、季節に関連するテーマ（クリスマス、ハロウィン、子どもの日といった行事等や梅雨、雪、海や山といった季節を連想させるような一般図書、レシピ本や絵本など）に関するもの、映画化された図書を集めて展示、講演会が行われたらその講師の先生の著書を集めて展示、テレビ番組や雑誌で紹介されていた図書を集めて展示、というふうに、その場のその場の思い付きや状況で展示していることが多いです。他の図書館のいろいろな事例を是非本館でも学ばせていただきたいです。</p>

福島県立 医科大学 附属学術 情報センター	特集・展示コーナーは、常設の本学関係、国家試験関係、東日本大震災関連コーナー、あとは新刊程度です。場所も無いので、定期的に更新するコーナー等は設けておりません。
八戸学院 図書館	特設展示コーナーを設置し、約2ヶ月毎にテーマを設定し、展示を行っている。 ・具体的な展示テーマ 本屋大賞特集 東日本大震災特集「キロクをキオクに」 映画・ドラマ原簿本特集 アスリート本特集 ・展示冊数 20～40冊 ・展示期間 3～4ヶ月程度 ・周知方法 HPと学内ポスター掲示ほか、FacebookやTwitter等 本学は短期大学部に幼児保育学科があるため、幼児教育に特化したコーナーを設けてあり、そこにアルバイト学生が選んだおすすめの絵本を年齢ごとに分けて5～6冊選び2～3ヶ月展示している。 また、近隣の大学図書館とコラボし、所蔵図書の交換展示も行っている。展示だけではなく、学生、教職員のみではあるが、相互利用により館外貸出も可能にしている。
八戸工業 大学 図書館	本学図書館では、昨年度以下の特集コーナーを設けました。 本学は2学部6学科（機械・電気電子・システム情報・土木建築・創生デザイン・生命環境科学）を有しており、それぞれ独自の特色を持っています。そのため、専門分野が違う他学科の学生にも見て、興味を少しでも持ってもらうために、「学科展示コーナー」を設けました。 ・運用目的…書庫に並び、普段学生の目に留まる機会が少ない資料の認知度・関心度の向上 ・内容…各学科関連の資料 ・選定方法…学科関連で、更に他学科の学生にも分かりやすく、興味をひくように書かれている事 ・期間…毎月（長期休業中は2カ月に2学科を同時展示） ・冊数…20冊～30冊 ・スペース…二段ワゴン（40cm×70cm）使用。二段に展示
弘前学院 大学 附属図書館	特になし
岩手医科 大学 附属図書館	・岩手県内図書館連携企画展示 岩手県内の図書館で参加館を募り、同時期に同テーマの医療・健康情報に関する企画展示を実施。 ・矢巾図書館企画展示・特別展示（現在、休止中） 所蔵している図書、古書を利用者に紹介するため、館員がテーマを企画して展示していた。 過去の展示内容は以下のURLから閲覧可能。 岩手医科大学附属図書館ホームページ > 利用案内：展示案内（矢巾） http://www.lib.iwate-med.ac.jp/tenji.html

富士大学 図書館	3つのカテゴリーに分けて展示を行っている。 ①「学修支援」②「学生生活・学生の暮らし」③「レクリエーション」に分類して、学習の場としての役割の他に学習の息抜きと同時に本や図書館を身近に感じてもらうことを目的に展示を行っている。 例： 「先生方の紹介コーナー」（現在開催中） 勉強に役立つ本、勉強以外の学生へのおススメ本、先生の好きな本、れに先生の人となりが見えるような軽めの質問コーナーを添えて、特に今年度はオンライン授業で接する機会もなかったため展示を通じて身近に感じてもらえるような展示を作った。一人2～5冊程度の紹介された中で図書館が集められる本と関連本（代表作など）を展示。 期間は3カ月程度。 場所は学生が多く利用するPCワークルームを活用。 新入生に向けた展示 ・岩手に関連した書籍の展示 （他県からの入学者が多いため） ・図書館の使い方の展示 （論文検索など） ・経済学・経営学の入門書 以上は学生が集まる図書館入り口近くの棚に6～10冊程度。3～6カ月。 今後は新型コロナに関連した「暮らし」や「経済」、卒業論文にまつわる展示等を今年度内に計画している。 静かに学習するスペースのある閲覧室に設置し今後は奥にも学生を誘導できればと考えている。
盛岡大学 図書館	本学に幼児教育科があるが、季節を感じる事ができる絵本を集めて展示している。また、時事問題に関連した状況を表現するような展示も行っている。（例：元号が変更した時など）さらに著名な作家が来館、来学することに合わせ、特集を組んで展示することもある。
修紅短期 大学 図書館	定期的な更新は出来ておりません。更新するきっかけは、社会的な話題（特に今は新型コロナ）や地域の学校行事、教員からの依頼、学生が制作した作品の提供があったときです。展示する冊数はあまり多くなく、スペースもあまり大きくありません。展示期間は、半年か内容によっては新年度まで（新入生に見せるため）展示しているコーナーもあります。
石巻専修 大学 図書館	本館では、東日本大震災関連として震災コーナー、テイラー文庫を常設している。また、今年度はコロナ禍の影響で実施していないが、随時、その時々話題に関連した図書や、各種文学賞等の図書の展示などを、年間を通じて行っている。過去には、各種著作中の言葉のパネル展示を行ったこともある。展示スペースは、テーブル1卓や本棚1列程度。展示期間は2～4週間程度。

東北学院 大 学 図 書 館	◇特集テーマの選定方法や内容：文学賞やイベント関連、時事問題等 ◇展示方法：閲覧スペースの一角に机または書棚を設置して展示 ◇期間：小展示：毎月更新・企画展示：年3～4回 ◇冊数やスペースの規模：数十冊程度・1坪程度 ◇運営：業務委託スタッフにより企画・運営	文芸書だけでなく学術書も手に取ってもらえるような企画を考えますが、学生には、やはり文芸書が中心となる企画が好評です。（例：映画原作を読むと題し、原作洋書と邦訳書を展示／ミステリをテーマに新旧の探偵小説、推理小説等を展示／受賞作を展示（文学賞だけでなく、ビジネス書大賞や講談社科学出版賞など多分野を網羅）／昨年はアポロ11号月面着陸50年で宇宙をテーマに天文学から宇宙科学までの資料を展示等々） 企画展示は、会議机が1台で展示資料100冊前後を用意します。ミニ展示や特別展示は専用の展示架が1台あり、最大20冊まで展示できます。 各部局主催行事の関連イベントとして、特別展示を行う際は、ほとんどが講演者の著作の展示と講演会ポスターの掲示が中心になります。場合によっては、講演会を準備する学生のポップやレビューも持ち込まれ、展示しています。
東北工業 大 学 附属図書館	本学附属図書館における特集・展示は、「所蔵資料の紹介・活用」を目的として、時事、教員の受賞、学生生活、就職支援、教員著書、貸出ランキングなど幅広いテーマで行っている。特に就職に関する場合は、本学キャリアサポート課と連携している。 期間はテーマによるが2週間から2ヶ月程度で設定し、利用者からの反応が多くある場合は適宜延長している。 頻度は、月1～3回のペースで入れ替えおり、2つ以上の展示を平行して行う場合もある。 展示冊数は所蔵資料によるため、1冊～数十冊で行っている。	壁面での展示スペース4か所と、小さな展示を2か所行っている。 ①ディスカバリーラウンジ3か所（うち1か所は大学の歴史に関する常設）1-2か月単位の50冊程を展示。年間スケジュールで、時事の話題や記念的な内容でのテーマを策定。学生団体や学科・学類の申込があるときは、その展示を受け入れている。 ②絵本展示 月単位でテーマを定めて20-30冊程度を展示。 ③ミニ展示 20冊程度の展示。名数のようなシリーズでの展示も行っている。 ④特設展示 講義での利用や学生団体の活動の一環で必要な場合に、一定範囲の資料をまとめて配架する場合に設置している。
東北福祉 大 学 図 書 館	定期的とはいきませんが、図書館内に設置されている「広報ワーキンググループ」において、年間計画を立案し、それに沿って図書館2F特設書架に展示しております。 基本的には新入生向けの宮城（仙台）紹介、東日本大震災関連の2回は内容を固定し、年間4～5回程度、1ヶ月間を目途に計画をしています。 また、900 X 2100の専用展示用書架を利用して展示し、実際に手に取って見ることが出来るように展示しています。	・図書館報コーナー 図書館報（年2回発行）で紹介した図書を、閲覧スペースの中央部分に設置されている低い書棚の上に、図書館報と並べて展示しています。図書館報を発行する時に、図書館報と展示図書を入れ替えています。 ・図書館学生ボランティアコーナー 学生ボランティアと図書館員で企画した展示コーナーを設けています。展示期間や場所は決めていません。現在は、カウンター前に「学生ボランティアが選んだ 私のおすすめ図書」（8冊）、文学の書架に「伊坂幸太郎コーナー」（27冊）、文学の書架の脇に「三毛猫ホームズシリーズ 生誕40周年！」（18冊）を、展示しています。掲示しているポスターやポップは、学生ボランティアが作成しました。 ・特別展示「東北・宮城の地域を知る」 2年ほど前から、カウンター前に、仙台の江戸時代の地図や東北の昔話の本など、現在27点の資料を展示しています。資料は、少しずつ購入して増やしています。
東北文化 学園大学 総合情報 センター 図 書 館	定期的に企画展示を実施している。内容により、規模は異なるが、年間で20回程度実施。 ※2020年度は新型コロナウイルスの影響で減少。 テーマ：時事的なもの、学部学科に関連するもの、学内イベントとコラボしたもの、文学賞に選ばれたもの、地域に関連するもの 期間：1～2か月程度 冊数・スペース：内容による 運用方法：展示担当者が考えた展示案をスタッフ間で検討。内容が決まったら、展示担当者が資料・掲示物等を準備し、展示する。展示中の貸出件数を控え、今後の展示の参考にしている。	他館様の工夫を参考にさせて頂きたいと思えます。
東北医科 薬科大学 附属図書館	設置なし。	
宮城学院 女子大学 図 書 館	企画展示は年4回、また12月にクリスマスミニ展示を実施しています。この他、学科や学内研究所、事務局からの依頼で、各部局主催行事の関連イベントとして、特別展示を実施しています。 年4回実施する企画展示は、第1回（4～5月）は新入生に向けた展示、第4回（1～3月）は11月に実施する選書ツアー選定図書展示と固定しています。第2回（6～8月）、第3回（10～12月）は担当職員で自由に企画しています。	
仙台青葉 学院短期 大学図書館		

東北生活文化大学・東北生活文化短期大学部附属図書館	定期的に更新するといった特別なコーナーは設けていないが、一般書架とは別に設置したコーナー（更新なし）はある。例えば、東日本大震災後、震災関連資料を紹介しコーナー化したものや、就職活動のために必要な試験、面接、ポートフォリオの資料や就職後に活かせる知識等を紹介する「就活本」のコーナーを設置している。また、絵本やマンガ本、小説等、卒業生の著書を紹介したコーナーも設けています。現在これらのコーナーを解体する予定はない。	【小展示】 小展示については、大まかな年間スケジュールを決めつつ、時事的な展示やイベントに合わせ、適時展示内容を変更し行っています。展示箇所は、各階に1か所ずつ。1人用テーブル程度～2人用テーブル4台程度の広さ。1～3か月毎更新。 展示冊数：20～100冊程度 〈展示内容〉 「ドラッガー特集」「留学特集(モンゴル)」「池上彰特集」「新生活応援特集」「海の特集」「職場体験中学生による展示」「学生アルバイトによる展示」など
ノースアジア大学附属図書館	本学では、現在2つの企画展示を行っています。毎年3～5回の企画展示を行っています。特集テーマの選定方法は図書委員の教員や図書館で行っています。展示方法は展示する図書の外、図書に対する説明文や掲示物を作成しし、一緒に展示する場合があります。（現在の企画では、企画を閲覧した利用者感想などを書いてもらう用紙を作成し展示しています） 期間や冊数についてはそれぞれの企画によって異なりますが、すべて図書館の閲覧室を利用して企画展示を行っています。	奥羽大学図書館 年に数回特集・展示コーナーを設けている。テーマは地域に沿った内容、学部（歯学部・薬学部）に関連した希少価値の高い図書の展示など。
羽陽学園短期大学附属図書館	年間を通して本の展示には力を入れています。しかし、特別な展示室があるわけではなく、展示スペースは長テーブル2本分程度です。この展示スペースでは学生の図書委員（2名ずつ）が毎月テーマを設定して展示を行い、展示用のポスター等も手作りしています。加えて、タイムリーな話題を取り上げた資料展示を頻繁に行っています。こちらは決まったスペースはなく、図書館スタッフが閲覧室内に工夫して展示しています。いずれの展示も数冊～数十冊程度です	郡山女子大学図書館 本館でも、文学賞（「本屋大賞」、「芥川賞・直木賞」）とイベント関連（「学生選書ツアー選定図書」、「全国大学ビブリオバトル」）が展示コーナーの中心となっています。「全国大学ビブリオバトル」は、例年地区予選会を開催しており、参加学生の書いたPOPを添えています。学生参加イベントでは、学生自身が選んだ本を展示しますが、内容が職員の想定する以上にバラエティに富み、変化が出るため、利用者の興味を引く展示になっていると思われます。
東北公益文科大学図書館	図書館内にエントランス展示（1か所）、小展示（3か所）を設け、展示を行っています。年4回、1回につき2ヶ月程度更新。 【エントランス展示（1階）】 スペース：610cm×440cm程度 壁面の展示ケースと、床置き展示ケース2つ、その他テーブル等を活用。 ディスプレイ用：10～20冊程度（展示中は貸出不可/閲覧複写は可） 貸出用：100冊程度 〈テーマについて〉 ジャンルに偏りがなく1年間のスケジュールを決めています。また学内のイベントや教員からの提案による展示も都度行っています。 〈展示内容（2019年度）〉 「文学でめぐる元号展」「山形を水で楽しむ展（山形散歩）」「デザインの世界」「図書館×スポーツ展」	東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館 学内の行事に合わせて不定期に特集コーナーを設けたり、学園関連の常設コーナーはありますが、定期的に更新する特集・展示コーナーは特に設けていません。
		日本大学工学部分館 当館では、教員推薦図書コーナーを設置しているが、新設して間もないことに加え、コロナ禍の影響により内容の更新までには至っていない。今後、定期的に更新することを検討している。
		桜の聖母短期大学図書館情報センター ・テーマの選定方法や内容： イベント関連以外に、学生選書やビブリオバトルの各ゼミチャンプ本、「福島学」関連など、授業と連携したテーマで展示を行っている。 ・展示方法、期間、冊数など： 新着図書の書架や閲覧席（4～6人掛け）の一部を展示に使用。 一つの展示につき、期間は2～3か月間、20冊程度。 ・運用方法： 貸出冊数や期間などは通常と同じく対応。 過去に行った展示についてはブックリストを作成し、Web上で公開している。
		福島学院大学図書館情報センター 展示コーナーで示すべき、タイムリーな話題、例えばCOVID-19とかに関係する書籍を集め展示している。展示方法は、図書館の入口にポップと共に示し、3冊から5冊、また、映画（DVD）、原作の組み合わせの展示など興味を持ってもらえるようにする。更新は1ヶ月くらい。 追悼（例 故 中村哲医師）の時はその活動を示す書籍、DVD、写真など展示。

第 75 回東北地区大学図書館協議会総会議事メモ

開催日 令和 2 年 9 月 2 4 日（木）～ 9 月 3 0 日（水）（メール会議）
当番館 弘前大学附属図書館

議 事

1. 報告事項

- (1) 令和元年度活動報告について
- (2) 令和元年度一般報告について
- (3) 令和元年度研修部会活動報告について
事務局から、上記報告事項について資料 1～3 に基づき報告があった。

2. 協議事項

- (1) 令和元年度決算報告について
- (2) 令和元年度記念事業基金決算報告について
- (3) 令和元年度監査報告について
事務局から、上記（1）～（3）について資料 4～6 に基づき報告があり、それぞれ原案のとおり承認された。
- (4) 令和 2 年度事業計画について
- (5) 令和 2 年度予算及び記念事業基金予算について
- (6) 東北地区大学図書館協議会会則の改正について
事務局から上記（4）～（6）について資料 7～9 に基づき提案があり、それぞれ原案のとおり承認された。
- (7) 第 7 6 回総会の当番地区（館）について
事務局から、資料 1 0 に基づき次回当番地区は宮城地区であり、会場大学は宮城大学とすることで承認された。

3. 承合事項

提案の主旨については、資料 1 1～1 4 の各提案館からの提案理由のとおりであり、特に意見等はなかった。

図 書 館 統 計 年 報

(1) 建物・蔵書状況

(令和2年3月31日現在)

図書館名	建 物 延面積	蔵 書 冊 数			令和元年度増加冊数		
		和 書	洋 書	計	和 書	洋 書	計
弘 前 大 学	6,111	514,920	160,006	674,926	5,590	597	6,187
〃 医学部分館	1,569	82,422	67,937	150,359	848	152	1,000
岩 手 大 学	9,088	695,922	198,563	894,485	5,853	799	6,652
東 北 大 学	18,215	1,663,398	1,179,099	2,842,497	14,895	3,756	18,651
〃 医学分館	4,476	173,205	241,785	414,990	-1,188	-3,198	-4,386
〃 北青葉山分館	3,356	93,922	307,912	401,834	1,008	720	1,728
〃 工学分館	5,365	182,743	183,466	366,209	2,782	833	3,615
〃 農学分館	5,732	92,918	62,518	155,436	2,652	624	3,276
宮 城 教 育 大 学	2,857	328,127	51,144	379,271	3,480	139	3,619
秋 田 大 学	4,604	316,243	113,916	430,159	3,524	815	4,339
〃 医学図書館	1,717	56,052	56,718	112,770	953	136	1,089
山形大学小白川図書館	7,626	537,491	185,433	722,924	1,952	-836	1,116
〃 医学部図書館	1,195	37,874	55,950	93,824	454	22	476
〃 工学部図書館	3,259	118,058	58,236	176,294	308	54	362
〃 農学部図書館	969	84,727	17,301	102,028	463	22	485
福 島 大 学	10,084	716,936	236,221	953,157	8,554	457	9,011
青 森 公 立 大 学	3,337	150,782	46,709	197,491	4,119	502	4,621
青 森 県 立 保 健 大 学	1,850	100,808	24,420	125,228	2,301	12	2,313
岩 手 県 立 大 学	6,828	270,918	67,384	338,302	6,105	436	6,541
宮城大学大和キャンパス	2,192	111,329	17,112	128,441	1,156	24	1,180
宮城大学太白キャンパス	943	63,072	7,290	70,362	371	23	394
秋 田 県 立 大 学	4,900	236,844	57,264	294,108	6,355	1,629	7,984
秋 田 公 立 美 術 大 学	1,194	47,427	9,043	56,470	1,148	45	1,193
国 際 教 養 大 学	1,831	30,715	52,911	83,626	371	420	791
山形県立保健医療大学	903	63,750	6,869	70,619	986	20	1,006
山 形 県 公 立 大 学	984	112,906	9,561	122,467	1,042	26	1,068
会 津 大 学	2,446	61,246	69,182	130,428	529	-17	512
〃 短期大学部	443	72,860	8,865	81,725	78	882	960
福 島 県 立 医 科 大 学	3,400	134,414	95,160	229,574	1,596	226	1,822
東 北 女 子 大 学	559	41,786	4,907	46,693	625	28	653
八 戸 学 院 大 学	1,636	159,981	14,071	174,052	18,651	1,059	19,710
八 戸 工 業 大 学	2,126	98,598	25,788	124,386	513	2	515
弘 前 学 院 大 学	1,280	90,957	19,567	110,524	718	43	761
青森中央学院大学・同短期大学	2,137	93,605	5,376	98,981	1,724	7	1,731
岩 手 医 科 大 学	5,054	158,307	136,341	294,648	2,366	105	2,471
〃 岩手看護短期大学	—	—	—	—	-21	0	-21
富 士 大 学	1,225	173,951	31,037	204,988	1,255	45	1,300
盛 岡 大 学	2,081	162,401	22,196	184,597	2,128	75	2,203
修 紅 短 期 大 学	205	15,411	230	15,883	556	0	556
仙 台 大 学	1,120	122,554	18,039	140,593	3,276	109	3,385
仙 台 白 百 合 女 子 大 学	1,446	89,359	10,396	99,755	325	94	419
石 巻 専 修 大 学	3,496	120,772	63,238	184,010	1,022	164	1,186
東 北 学 院 大 学 中 央	7,602	470,276	293,083	763,359	3,654	929	4,583
〃 泉キャンパス	6,100	241,998	108,264	350,262	4,211	522	4,733
〃 多賀城キャンパス	2,899	93,827	43,254	137,081	1,383	54	1,437
東 北 工 業 大 学	2,977	186,449	55,739	242,188	2,772	47	2,819
東 北 福 祉 大 学	4,205	343,877	74,456	418,333	4,444	730	5,174
東 北 文 化 学 園 大 学	1,744	119,684	15,921	135,605	2,840	8	2,848
東 北 医 科 薬 科 大 学	2,036	70,614	42,221	112,835	1,527	50	1,577
〃 医学分館	589	9,645	476	10,121	1,317	29	1,346
宮 城 学 院 女 子 大 学	3,216	303,383	106,712	410,095	3,385	680	4,065
尚 綱 学 院 大 学	2,337	131,456	25,901	157,357	3,405	580	3,985
聖 和 学 園 短 期 大 学	427	58,551	1,281	59,832	589	0	589
仙 台 青 葉 学 院 短 期 大 学	356	29,409	1,987	31,396	68	0	68
東北生活文化大学・同短期大学部	660	66,962	5,504	72,466	298	4	302
ノースアジア大学	1,689	180,227	20,428	200,655	902	44	946
東 北 芸 術 工 科 大 学	1,795	138,786	16,236	155,022	1,758	70	1,828
羽 陽 学 園 短 期 大 学	705	63,537	2,451	65,988	1,162	7	1,169
東北文教大学・同短期大学部	1,533	117,657	8,455	126,112	917	5	922
東 北 公 益 文 科 大 学	1,517	102,308	12,126	114,434	1,879	97	1,976
医 療 創 生 大 学	4,860	217,257	60,357	277,614	1,260	67	1,327
奥 羽 大 学	2,062	148,983	94,596	243,579	448	12	460
郡 山 女 子 大 学	1,651	104,866	13,809	118,675	678	1	679
東 日 本 国 際 大 学	1,221	77,084	10,718	87,802	1,722	15	1,737
日 本 大 学 工 学 部 分 館	5,006	201,720	117,121	318,841	622	121	743
桜 の 聖 母 短 期 大 学	642	53,469	9,600	63,069	729	9	738
福 島 学 院 大 学	1,990	81,855	6,031	87,886	825	19	844

(2) 利用状況

(令和元年度分)

図書館名	図書館利用状況						文献複写		
	対象学生数	学生：館外貸出		対象職員数	教職員：館外貸出		学内分	学外分	計
		人員	冊数		人員	冊数			
弘前大学	人	人	冊	人	人	冊	件	件	件
医学部分館	6,876	20,639	33,933	3,226	1,892	3,966	183	890	1,073
岩手大学	-	7,037	12,063	-	775	1,408	103	1,877	1,980
東北大学	5,470	13,308	26,430	749	1,545	3,131	982	800	1,782
医学分館	18,188	89,894	174,070	10,292	9,395	22,137	2,007	2,685	4,692
北青葉山分館	3,071	9,096	14,173	6,839	2,050	3,701	1,230	4,250	5,480
工学分館	2,930	14,775	21,577	868	1,428	2,426	100	733	833
農学分館	6,611	25,292	41,337	2,488	1,711	3,399	148	1,088	1,236
宮城教育大学	1,097	5,308	8,471	185	837	1,557	118	387	505
秋田大学	1,589	11,145	21,990	526	1,181	3,338	240	292	532
医学図書館	5,142	15,182	36,629	2,597	905	2,935	670	255	925
山形大学小白川図書館	1,425	4,849	8,233	1,643	679	1,351	756	1,701	2,457
医学部図書館	4,290	13,917	26,646	716	1,353	2,765	158	605	763
工学部図書館	1,015	2,239	3,692	1,802	484	932	72	2,243	2,315
農学部図書館	3,532	5,734	10,733	465	236	535	22	95	117
福島大学	611	1,084	2,087	131	120	198	4	46	50
青森公立大学	4,342	18,711	34,699	591	2,097	5,652	2,508	781	3,289
青森県立保健大学	1,297	3,185	6,491	156	480	1,218	64	11	75
岩手県立大学	971	8,011	20,488	393	844	2,788	937	798	1,735
宮城大学大和キャンパス	2,552	9,477	18,810	518	1,587	3,853	509	147	656
宮城大学太白キャンパス	1,322	-	8,316	342	-	1,435	665	760	1,425
秋田県立大学	548	-	3,483	127	-	467	47	101	148
秋田公立美術大学	1,829	-	37,943	449	-	4,213	422	273	695
国際教養大学	423	2,211	4,118	169	361	637	12	8	20
山形県立保健医療大学	999	-	6,610	195	-	740	48	24	72
山形県公立大学	466	2,048	3,934	67	441	661	321	400	721
会津大学	765	4,092	8,516	151	325	866	1,291	106	1,397
短期大学部	1,272	6,849	14,156	149	556	1,139	4	147	151
福島県立医科大学	311	1,570	3,877	175	504	2,242	250	35	285
東北女子大学	1,134	5,363	10,618	3,826	1,526	3,773	-	1,854	1,854
八戸学院大学	288	1,149	2,381	88	232	451	1,026	0	1,026
弘前学院大学	917	2,069	4,381	181	941	2,720	106	147	253
青森中央学院大学・同短期大学	1,198	816	1,016	256	225	285	29	12	41
岩手医科大学	742	1,413	2,791	177	184	634	130	8	138
岩手看護短期大学	1,445	648	4,918	330	65	930	-	216	216
富盛岡大学	2,291	1,919	3,675	3,870	1,653	4,165	434	2,009	2,443
修紅短期大学	35	117	181	63	18	28	0	0	0
仙台白百合女子大学	731	921	1,167	149	177	451	179	217	396
石巻専修大学	2,015	4,387	10,092	167	539	1,531	1,513	147	1,660
東北学院大学中央	147	427	837	54	186	795	0	0	0
東北学院大学泉キャンパス	2,579	880	1,432	214	144	354	0	0	0
東北学院大学多賀城キャンパス	935	1,610	3,466	95	291	688	1,800	134	1,934
東北工業大学	1,274	-	2,594	241	-	968	159	131	290
東北福祉大学	11,104	6,598	12,430	1,233	1,471	5,167	4,344	453	4,797
東北文化学園大学	11,104	11,148	21,591	1,233	1,124	2,561	2,906	270	3,176
東北医科薬科大学	11,104	2,626	4,707	1,233	298	777	213	161	374
宮城学院女子大学	3,549	3,923	7,355	207	907	2,271	141	12	153
尚綱学院大学	5,954	11,810	22,027	820	1,622	4,845	81	64	145
聖和学園短期大学	2,352	6,318	10,843	675	974	2,264	909	326	1,235
仙台青葉学院短期大学	2,410	2,167	3,752	1,752	213	485	1,052	56	1,108
東北生活文化大学・同短期大学部	2,410	1,972	3,573	1,752	829	1,709	-	52	52
ノースアジア大学	3,311	14,658	33,828	621	1,392	4,284	1,098	704	1,802
東北芸術工科大学	2,044	8,609	25,481	268	751	3,965	207	70	277
羽陽学園短期大学	542	1,103	2,074	163	184	373	29	1	30
東北文科大学・同短期大学部	1,676	6,948	12,645	283	730	2,448	329	66	395
東北公益文科大学	513	-	1,069	83	-	587	36	13	49
医療創生大学	876	689	1,047	103	154	645	112	2	114
奥山女子大学	2,456	8,982	21,183	385	689	2,056	967	55	1,022
日本国際大学	200	1,330	4,504	59	105	500	-	2	2
日本の聖母短期大学	2,501	4,600	204	256	620	189	11	200	
福島学院大学	763	2,501	7,228	100	-	1,554	197	180	377
岩手看護短期大学	991	-	7,228	100	-	1,554	197	180	377
岩手看護短期大学	1,118	3,251	6,843	100	402	2,291	162	326	488
岩手看護短期大学	1,093	2,653	3,780	451	417	864	1,373	85	1,458
岩手看護短期大学	868	-	1,407	185	-	603	88	21	109
岩手看護短期大学	823	1,211	2,220	175	315	790	30	8	38
岩手看護短期大学	4,583	2,633	5,559	368	312	4,653	268	140	408
岩手看護短期大学	297	1,072	2,146	84	403	1,040	-	16	16
岩手看護短期大学	748	1,364	2,191	154	205	418	-	32	32

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数

(令和元年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数		
	和	洋	計	和	洋	計
弘前大学	14,542	3,863	18,405	1,435	65	1,500
" 医学部分館	4,125	2,467	6,592	483	119	602
岩手大学	9,322	2,178	11,500	6,462	253	6,715
東北大学	27,519	17,725	45,244	3,470	1,859	5,329
" 医学分館	5,447	9,425	14,872	672	857	1,529
" 北青葉山分館	2,750	8,971	11,721	525	992	1,517
" 工学分館	3,739	4,370	8,109	618	519	1,137
" 農学分館	4,381	2,305	6,686	784	226	1,010
宮城教育大学	2,341	643	2,984	246	32	278
秋田大学	6,627	2,640	9,267	548	37	585
" 医学図書館	1,721	1,672	3,393	383	44	427
山形大学小白川図書館	10,060	3,201	13,261	713	52	765
" 医学部図書館	3,118	1,876	4,994	291	23	314
" 工学部図書館	2,046	1,384	3,430	187	15	202
" 農学部図書館	2,630	624	3,254	190	12	202
福島大学	10,958	2,766	13,724	1,710	90	1,800
青森公立大学	388	714	1,102	157	20	177
青森県立保健大学	940	241	1,181	486	12	498
岩手県立大学	707	455	1,162	312	67	379
宮城大学大和キャンパス	1,979	489	2,468	351	38	389
宮城大学太白キャンパス	2,259	261	2,520	236	37	273
秋田県立大学	2,794	1,075	3,869	653	146	799
秋田公立美術大学	75	21	96	68	21	89
国際教養大学	106	124	230	74	41	115
山形県立保健医療大学	1,093	226	1,319	220	10	230
山形県公立大学	219	37	256	125	25	150
会津大学	630	834	1,464	191	9	200
会津大学短期大学部	102	88	190	111	9	120
福島県立医科大学	4,522	3,101	7,623	705	86	791
東北女子大学	100	47	147	79	17	96
八戸学院	145	8	153	145	8	153
八戸工業大学	795	611	1,406	65	2	67
弘前学院	718	43	761	98	16	114
青森中央学院大学・同短期大学	235	76	311	158	51	209
岩手医科大学	5,826	2,580	8,406	1,347	71	1,418
" 岩手看護短期大学	52	1	53	54	0	54
富士大学	3,623	251	3,874	825	23	848
盛岡大学	2,813	258	3,071	404	20	424
修紅短期大学	5	0	5	43	1	44
仙台台	1,316	163	1,479	122	42	164
" 白百合女子大学	325	94	419	193	30	223
石巻専修大学	1,328	921	2,249	220	37	257
東北学院大学中央	7,780	2,441	10,221	1,509	170	1,679
" 泉キャンパス	2,798	1,147	3,945	650	115	765
" 多賀城キャンパス	1,851	1,407	3,258	390	101	491
東北工業大学	1,208	1,043	2,251	239	1,693	1,932
東北福祉大学	4,328	706	5,034	1,654	124	1,778
東北文化学園大学	1,127	136	1,263	281	21	302
東北薬科大学	557	485	1,042	171	22	193
" 医学分館	117	57	174	56	5	61
宮城学院女子大学	5,757	768	6,525	1,154	117	1,271
尚綱学院	933	179	1,112	262	52	314
聖和学園短期大学	390	4	394	300	0	300
仙台青葉学院短期大学	315	19	334	117	20	137
東北生活文化大学・同短期大学部	187	42	229	75	10	85
ノースアジア大学	2,479	306	2,785	704	44	748
東北芸術工科大学	227	129	356	206	36	242
羽陽学園短期大学	153	14	167	77	0	77
東北文教大学・同短期大学部	1,195	44	1,239	410	10	420
東北公益文科大学	164	39	203	100	11	111
医療創生大学	921	500	1,421	67	17	84
奥羽大学	1,141	1,253	2,394	258	27	285
郡山女子大学	911	90	1,001	138	5	143
東日本国際大学	244	94	338	65	2	67
日本大学工学部分館	1,105	1,368	2,473	108	65	173
桜の聖母短期大学	114	31	145	67	10	77
福島学院	132	54	186	55	8	63

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当番大学
1	昭和22	宮城	東北大学
2	23	〃	仙台工業専門学校
3	24	〃	東北学院大学
4	24	〃	東北大学
5	25	岩手	岩手大学
6	26	山形	山形大学
7	27	青森	弘前大学
8	28	福島	福島大学
9	29	秋田	秋田大学
10	30	宮城	宮城学院女子大学
11	31	岩手	岩手医科大学
12	32	山形	山形大学
13	33	秋田	秋田大学
14	34	青森	弘前大学
15	35	福島	福島県立医科大学
16	36	宮城	東北大学
17	37	岩手	岩手大学
18	38	福島	福島大学
19	39	宮城	東北学院大学
20	40	秋田	秋田大学
21	41	山形	山形大学
22	42	宮城	東北薬科大学
23	43	青森	弘前大学
24	44	岩手	奥州大学
25	45	宮城	東北工業大学
26	46	福島	福島県立医科大学
27	47	秋田	秋田経済大学
28	48	宮城	宮城教育大学
29	49	山形	山形大学
30	50	青森	弘前大学
31	51	宮城	東北大学
32	52	岩手	岩手大学
33	53	福島	福島大学
34	54	宮城	東北福祉大学
35	55	秋田	秋田大学
36	56	山形	山形大学
37	57	宮城	宮城学院女子大学
38	58	青森	弘前大学
39	59	岩手	岩手医科大学
40	60	宮城	東北大学
41	61	福島	福島県立医科大学
42	62	秋田	秋田大学
43	63	宮城	東北学院大学

回	年	当番地区	当番大学
44	平成元	山形	山形大学
45	2	青森	弘前大学
46	3	宮城	石巻専修大学
47	4	岩手	富士大学
48	5	福島	郡山女子大学
49	6	宮城	東北薬科大学
50	7	秋田	秋田経済法科大学
51	8	山形	山形大学
52	9	宮城	東北工業大学
53	10	青森	青森公立大学
54	11	岩手	盛岡大学・盛岡短期大学
55	12	宮城	宮城教育大学
56	13	福島	奥羽大学
57	14	秋田	秋田県立大学
58	15	宮城	東北福祉大学
59	16	山形	山形大学
60	17	青森	青森大学・青森短期大学
61	18	宮城	宮城大学
62	19	岩手	岩手県立大学
63	20	福島	いわき明星大学
64	21	宮城	仙台白百合女子大学
65	22	秋田	国際教養大学
66	23	山形	山形大学
67	24	宮城	東北大学
68	25	青森	八戸工業大学
69	26	岩手	岩手大学
70	27	宮城	宮城教育大学
71	28	福島	福島大学
72	29	秋田	秋田公立美術大学
73	30	宮城	東北学院大学
	令和		
74	元	山形	山形大学
75	2	青森	弘前大学
76	3	宮城	(宮城大学)
77	4	岩手	
78	5	福島	
79	6	宮城	
80	7	秋田	
81	8	山形	

※第72回総会において、81回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧

回次 (任期)	常任 幹事館	幹事館			監査館			審査委員館(平成19年8月までは論文審査館)		
		(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	(私立)	
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学	宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学	東北福祉大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学	東北工業大学 日本大学工学部	
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学	
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学	
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学	
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工業短期大学	仙台大学 盛岡大学	
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台百百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸工業大学 東北工業大学	
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	仙台百百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森県立保健大学	仙台大学 郡山女子大学	
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北 文教大学短期大学部	山形県立保健医療大学	岩手医科大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北 文教大学短期大学部	
第68回総会 (H25.9～H27.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子 短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	秋田公立美術大学	東北工業大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	
第70回総会 (H27.9～H29.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	宮城大学	東北文化学園大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	
第72回総会 (H29.9～R1.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	岩手県立大学	東北医科薬科大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	
第74回総会 (R1.9～R3.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学	青森公立大学	尚絅学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北学院大学 八戸工業大学	

東北地区大学図書館協議会会則

昭和 22 年 5 月 30 日 制定

令和 2 年 9 月 30 日 最近改正

改正：昭和 28 年 11 月 13 日（第 1 条（名称）改正）、昭和 29 年 6 月 11 日（第 7 条（会費）、第 8 条（票決権）

改正）、昭和 31 年 10 月 5 日（第 6 条（監査館）追加）、昭和 33 年 10 月 7 日（第 5 条（顧問）追加）、昭和 34 年 8 月 4 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 39 年 7 月 9 日（第 9 条（会費）改正・同第 2 項（会計年度）制定）、昭和 43 年 5 月 10 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 46 年 5 月 13 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 50 年 5 月 16 日（第 2 条（加盟組織の追加）改正）、昭和 53 年 10 月 19 日（第 9 条（会費・会計年度）改正）、昭和 56 年 10 月 22 日（第 6 条（幹事館を追加）改正）、昭和 61 年 9 月 25 日（第 9 条（会費）改正）、平成 3 年 9 月 26 日（第 9 条（会費）改正）、平成 6 年 9 月 21 日（第 9 条（会費）改正）、令和 2 年 9 月 30 日（第 9 条（会費）改正）

第 1 条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第 2 条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第 3 条 本会は毎年 1 回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第 4 条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第 5 条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。顧問は総会に出席し、また随時意見を述べるができる。

第 6 条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも 1 回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 7 条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 8 条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第 9 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額 12,000 円とする。

2 本会の会計年度は毎年 9 月 1 日にはじまり、翌年 8 月 31 日に終わる。

第 10 条 総会の票決権は 1 館につき 1 票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第 11 条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和 24 年 12 月 2 日から施行する。

(略)

附 則（昭和 53 年 10 月 19 日第 33 回総会）

この改正による会則は、昭和 53 年 10 月 19 日から施行し、昭和 54 年 9 月 1 日から適用する。

附 則（昭和 56 年 10 月 22 日第 36 回総会）

この改正による会則は、昭和 56 年 10 月 24 日から施行し、昭和 56 年 10 月 24 日から適用する。

附 則（昭和 61 年 9 月 25 日第 41 回総会）

この改正による会則は昭和 61 年 9 月 27 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 26 日第 46 回総会）

@ この改正による会則は平成 3 年 9 月 26 日から施行する。

附 則（平成 6 年 9 月 21 日第 49 回総会）

この会則は、平成6年9月21日から施行する。

附 則（令和2年9月30日第75回総会）

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
 - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
 - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
 - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

- 1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....
表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....
表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号
平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学(附属)図書館長
〇〇〇〇 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

〇 〇 〇 〇

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

〇〇大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由						
業績等	研究のテーマ 又は調査事項					
	発表集会等名					
	発表年月日					
	掲載誌名及び巻号					
	発行年月日					
	発行機関					
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)						
図書館業務歴						

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

表彰者推薦調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履 歴 事 項								
年	月	日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

制定 平成 20 年 9 月 18 日

改正 平成 30 年 2 月 1 日

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 部会が主体となって実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修への協力
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討 WG は、廃止する。

附 則

この要項は、平成 30 年 2 月 1 日から施行する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和 57 年 10 月 14 日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の 10%を限度とする。
2. 期間は昭和 57 年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成 14 年 9 月 20 日 第 57 回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第 56 回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立
大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回東北
地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協定会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。

2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成 24 年 10 月 19 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第 3 条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2 人
- 二 公立大学部会の委員 1 人
- 三 私立大学部会の委員 3 人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 24 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第 5 条本文の規定にかかわらず、平成 25 年 8 月 31 日までとする。

東北地区大学図書館協議会加盟館名簿一覧

令和3年4月1日現在

図書館名 (国立 15館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
			氏名	氏名
1 弘前大学附属図書館	(0172)39-3155	036-8560 青森県弘前市文京町1 jm3155@hirosaki-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	事務長
			今井正浩	三上豊
2 岩手大学図書館	(019)621-6082	020-8550 盛岡市上田三丁目18-8 lsomu@iwate-u.ac.jp	図書館長 (併副学長:情報統括・図書館担当)	学術情報課長
			山本欣郎	庭田昌紀
3 東北大学附属図書館	(022)795-5911	980-8576 仙台市青葉区川内27-1 lib-som@grp.tohoku.ac.jp	図書館長(併:副学長)	事務部長
			大隅典子	小陳左和子
			副館長(併:教授)	
			有光秀行	
4 同医学分館	(022)717-7973	980-8575 仙台市青葉区星陵町1-1 lib-med@grp.tohoku.ac.jp	医学分館長(併:教授)	専門員
			笹野公伸	照内弘通
5 同北青葉山分館	(022)795-6368	980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 klib-k@grp.tohoku.ac.jp	北青葉山分館長(併:教授)	図書係長
			土井隆行	代田有紗
6 同工学分館	(022)795-5892	980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03 elib-k@grp.tohoku.ac.jp	工学分館長(併:教授)	専門員
			金井浩	横山美佳
7 同農学分館	(022)757-4022	980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 alib@grp.tohoku.ac.jp	農学分館長(併:教授)	図書係長
			大越和加	田中朱美
8 宮城教育大学 附属図書館	(022)214-3348	980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149 toshokan@adm.miyako-u.ac.jp	図書館長(併:副学長)	学術情報課長
			前田順一	大沼忠弘
9 秋田大学附属図書館	(018)889-2273	010-8502 秋田市手形学園町1-1 libsomu@jim.u.akita-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	図書館・情報推進課長
			涌井秀樹	藤井和明
10 同医学部分館	(018)884-6052	010-8543 秋田市本道1丁目1-1 ibun@jim.u.akita-u.ac.jp	分館長(併:教授)	事務職員
			八月朔日 泰和	高橋寛
山形大学附属図書館	(023)628-4840	990-8560 山形市小白川町1-4-12 k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	図書館担当理事	エンロールメント・マネジメント部学生支援課長
			矢作清	小山和佳
11 山形大学小白川図書館	(023)628-4914	990-8560 山形市小白川町1-4-12 jsagaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	学務課長
			池田光則	片桐茂則
12 同医学部図書館	(023)628-5054	990-9585 山形市飯田西2丁目2-2 itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	医学部図書館長(併:教授)	係長
			大谷浩一	会田忠弘
13 同工学部図書館	(0238)26-3019	992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	工学部図書館長(併:教授)	主任
			小坂哲夫	高橋圭
14 同農学部図書館	(0235)28-2810	997-8555 鶴岡市若葉町1-23 notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	農学部図書館長(併:教授)	係長
			堀口健一	原夏子
15 福島大学附属図書館	(024)548-8083	960-1293 福島市金谷川1番地 k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp	図書館長(副学長)	学術情報課長
			塘忠顕	木村勝典

図書館名 (公立 1 2 館)		電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
				氏 名	氏 名
16	青森公立大学図書館	(017) 764-1551	030-0196 青森市合子沢山崎 153-4 lib@b.nebuta.ac.jp	図書館長 (併:教授)	教務・学生チーム 主査
				香 取 真 理	一町田 学
17	青森県立保健大学 附属図書館	(017) 765-2011	030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1 library@auhw.ac.jp	図書館長 (併:教授)	経営企画室副参事 (図書課長兼務)
				神 成 一 哉	小 寺 隆 子
18	岩手県立大学 メディアセンター	(019) 694-2070	020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 library@ml.iwate-pu.ac.jp	メディアセンター長 (併:教授)	教育支援室長
				猪 股 俊 光	
				宮古短期大学部図書館長 (併:教授)	関 屋 一 博
三 村 敬 之					
19	宮城大学学術情報 センター (大和キャンパス図書館)	(022) 377-8313	981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 tosh@myu.ac.jp	学術情報センター長 (併:教授)	事務局学務課学術情報 室長
	宮城大学学術情報 センター (太白キャンパス図書館)	(022) 245-1046	982-0215 仙台市太白区旗立 2-2-1 f-tosh@myu.ac.jp	学術情報センター長 (併:教授)	事務局太白事務室教務・ 学生支援グループリーダー
20	秋田県立大学附属図書館	(018) 872-1561	010-0195 秋田市下新城中野字街道 端西 241-438 a_library@akita-pu.ac.jp	図書館長 (副学長)	事務局次長
				吉 澤 結 子	鈴 木 修
21	秋田公立美術大学 附属図書館	(018) 888-8106	010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 library01@akibi.ac.jp	図書館長 (併:教授)	総務課長補佐 兼 附属図書館事務長
				天 貝 義 教	進 藤 英 樹
22	国際教養大学 中嶋記念図書館	(018) 886-5907	010-1292 秋田市雄和字奥椿岱 193-2 lib1@aiu.ac.jp	図書館長 (併:特任教授)	学修支援室長
				加 藤 信 哉	須 田 幸 子
23	山形県立保健医療大学 附属図書館	(023) 686-6671	990-2212 山形市上柳 260 番地 kanri@yachts.ac.jp	図書館長 (併:教授)	図書・調整主査
				高 橋 俊 章	菅 井 猛 信
24	山形県公立大学法人 附属図書館	(0238) 22-7334	992-0025 米沢市通町 6-15-1 tosh@yone.ac.jp	図書館長 (併:教授)	図書館管理主査
				高 橋 永 行	佐 藤 由 香 理
25	会津大学情報センター 附属図書館	(0242) 37-2544	965-8580 会津若松市一箕町鶴賀 library@u-aizu.ac.jp	情報センター長 (併:教授)	事務長
				北 道 淳 司	平 野 早 苗
26	会津大学短期大学部 附属図書館	(0242) 37-2458	965-8570 会津若松市一箕町 大字八幡字門田 1-1 tosh@jc.u-aizu.ac.jp	図書館長 (併:教授)	
				鈴 木 秀 子	
27	福島県立医科大学 附属学術情報センター	(024) 547-1687	960-1297 福島市光が丘 1 lib@fmu.ac.jp	附属学術情報センター長 (併:教授)	総務課長兼 学術情報室長
				河 野 浩 二	松 山 政 行

図書館名 (私立 36館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
			氏名	氏名
28 柴田学園大学 附属図書館	(0172)33-2289	036-8530 弘前市大字清原1丁目1-16 univ_tosyokan@shibata.ac.jp	図書館長(併:教授)	坂本友美
			富田雅弘	
29 八戸学院図書館	(0178)30-1695	031-8588 八戸市美保野13-98 tosyokan@hachinohe-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	図書館事務室長
			奈良卓	織戸浩
30 八戸工業大学図書館	(0178)25-8032	031-8501 八戸市大字妙字大開88-1 tosyo@hi-tech.ac.jp	図書館長(教授)	事務長代行
			川本清	谷津昌樹
31 弘前学院大学 附属図書館	(0172)34-5211	036-8577 弘前市稔町13-1 sisyo2@hirogaku-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	
			佐藤和博	
32 青森中央学院大学・ 青森中央短期大学 図書館情報センター	(017)728-0131	030-0132 青森市横内字神田12番地 lib@aomoricgu.ac.jp	図書館情報センター長 (併:教授)	(併)学事担当次長
			北原かな子	石田智久
33 岩手医科大学 附属図書館	(019)651-5111	028-3694 紫波郡矢巾町医大通1-1-1 toshio@j.iwate-med.ac.jp	図書館長(併:教授)	総括課長
			石崎明	
			副館長(併:教授)	川崎かおる
34 富士大学図書館	(0198)22-4986	025-8501 岩手県花巻市下根子450番地3 tosyokan@fuji-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	調査役
			早川光彦	小原陽子
35 盛岡大学図書館	(019)688-5561	020-0694 岩手県滝沢市砂込808 library@morioaka-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	事務室長
			上白石実	畑村とも子
			副館長(併:准教授)	
36 修紅短期大学図書館	(0191)24-2211	021-0902 岩手県一関市萩荘字竹際49-1 library@shuko.ac.jp	図書館長(併:教授)	職員(司書補)
			鈴木美樹子	齋藤美紀子
37 仙台大学附属図書館	(0224)55-1399	989-1693 宮城県柴田郡柴田町 船岡南2-2-18 library@sendai-u.ac.jp	図書館長(併:教授)	事務室長
			齋藤浩二	今村絵里香
38 仙台白百合女子大学 図書館	(022)374-5090	981-3107 仙台市泉区本町6-1 library@sendai-shirayuri.ac.jp	図書館長(併:教授)	図書館事務長
			大本泉	石岡宏美
39 石巻専修大学図書館	(0225)22-7718	986-8580 石巻市南境新水戸1 lib@isenshu-u.ac.jp	図書館長(教授)	事務課長
			西方守	鷹崎正彦
40 東北学院大学図書館 (中央図書館)	(022)264-6493	980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	図書館長(併:教授)	図書情報課長
			佐藤義則	佐々木徳貴
41 同工学部分館 (多賀城キャンパス図書館)	(022)368-1206	985-8537 多賀城市中央1-13-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	分館長(併:教授)	図書情報課課長補佐
			齋藤修	鈴木文明
42 同泉分館 (泉キャンパス図書館)	(022)375-1174	981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	分館長(併:教授)	図書情報課係長
			津上誠	三澤康士
43 東北工業大学 附属図書館	(022)305-3178	982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1 library-yagiyama@tohotech.ac.jp	図書館長(教授)	図書館事務長(兼務)
			丸尾容子	目黒裕二

44	東北福祉大学図書館	(022)717-3319	981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8-1 lib@tfu-mail.tfu.ac.jp	図書館長(教授)	課長
				鍛代敏雄	中塚晶
45	東北文化学園大学総合情報センター図書館	(022)233-3878	981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1 lib@office.tbgu.ac.jp	総合情報センター長(併:教授)	事務室課長代理
				鈴木伸夫	松浦宝志
46	東北医科薬科大学附属図書館	(022)727-0061	981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1 library@tohoku-mpu.ac.jp	図書館長(併:教授)	学務部図書事務課 課長
				久下周佐	
				医学分館長(併:教授)	畑中亨
47	宮城学院女子大学図書館	(022)279-5658	981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 library@mgu.ac.jp	図書館長(併:教授)	庶務課長
				大橋智樹	桜井由美
48	尚綱学院大学図書館	(022)381-3440	981-1295 名取市ゆりが丘4-10-1 library@shokei.ac.jp	図書館長(併:教授)	教育研究支援課長
				小原俊文	小島里美
49	聖和学園短期大学図書館	(022)376-8257	981-3213 仙台市泉区南中山5-5-2 seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp	図書館長(併:教授)	
				川辺博	
50	仙台青葉学院短期大学図書館	(022)369-8003	984-0022 仙台市若林区五橋3-5-75 lib@seiyougakuin.ac.jp	図書館長(併:教授)	
				伊藤てる子	
51	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	(022)272-7518	981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目18-2 library@mishima.ac.jp	図書館長(併:教授)	
				伊藤常久	
52	ノースアジア大学附属図書館	(018)836-2406	010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 naulib@nau.ac.jp	図書館長(併:教授)	教務次長
				藤本剛	高橋裕之
53	東北芸術工科大学図書館	(023)627-2044	990-9530 山形市上桜田3-4-5 library@aga.tuad.ac.jp	教学1課長	教学1課リーダー
				須藤知美	小野瑠美
54	羽陽学園短期大学附属図書館	(023)655-2385	994-0065 山形県天童市大字清池1559 toshou@uyo.ac.jp	図書館長(併:教授)	係長
				柏倉弘和	高橋明子
55	東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	(023)688-7544	990-2316 山形市片谷地515 library@t-bunkyo.ac.jp	図書館長(併:教授)	係長
				松田浩平	青柳友恵
56	東北公益文科大学図書館	(0234)41-1177	998-8580 酒田市飯森山3-5-1 media@koeki-u.ac.jp	図書館長(併:准教授)	図書館・IMC事務室事務長
				西村まどか	小松奈保美
57	医療創生大学図書館	(0246)29-7121	970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1 library@isu.ac.jp	図書館長(併:教授)	図書館事務室課長
				久呉高之	半澤智祐
58	奥羽大学図書館	(024)932-9061	963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp	図書館長	係長
				安藤勝	吉田貴弘
59	郡山女子大学図書館	(024)932-4848	963-8503 福島県郡山市開成3-25-2 library@koriyama-kgc.ac.jp	図書館長代理(併:教授)	司書係長(併)講師
				齋藤美保子	
				副館長(併:教授)	和知剛
				桑野聡	

60	東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	(0246)35-0416	970-8567 福島県いわき市平鎌田 字寿金沢 37 番地 shk_lib@tonichi-kokusai-u. ac. jp	図書館長（併：教授）	課長補佐
				三重野 徹	織内 春江
61	日本大学図書館 工学部分館	(024)956-8642	963-8642 福島県郡山市田村町 徳定字中河原 1 ceb. toshokan@nihon-u. ac. jp	工学部分館長（併：教授）	図書館事務課長
				加瀬澤 正	高橋 史典
62	桜の聖母短期大学 図書館情報センター	(024)534-7137	960-8585 福島県福島市花園町 3-6 lib-c@ssjc. ac. jp	図書館情報センター長	司書
				遠藤 修司	菅野 愛美 川村 瑠利花
63	福島学院大学 図書館情報センター	(024)553-2087	960-0181 福島市宮代乳見池 1-1 toshof@fukushima-college. ac. jp	図書館長（併：教授）	司書
				梅宮 れいか	斎藤 多美子

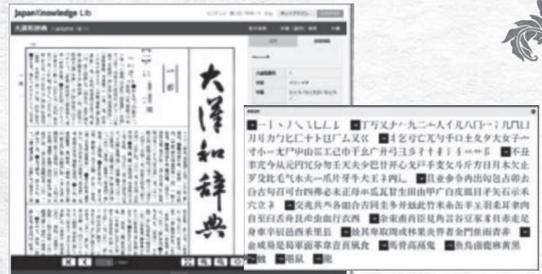
Japan Knowledge Lib

2021年4月
ジャパンナレッジ
にてサービス開始

諸橋 轍次「著」
鎌田正・米山寅太郎「修訂増補」

大漢和辞典

大修館書店



漢字文化の一大宝庫

親字5万字、熟語53万語を収録。詩経・論語など先秦の時代の古典から、史記・漢書をはじめとする歴史書、文選、さらに唐・清の小説にいたるまで、あらゆる時代の語彙を網羅し、博搜した文献の範囲は、仏典・医書・本草学・法則・地誌・日本の漢詩文にまで及ぶ。ジャパンナレッジ版では、漢字の直接入力による検索はもちろん、部首・画数・読みでの検索だけでなく、漢字の字形の一部を一覧から選択する部品検索なども可能。

※大漢和辞典はジャパンナレッジLibの有料オプションです。

ジャパンナレッジLibコンテンツ更新

基本メニューでご利用いただけるコンテンツの拡充を行っています。

岩波 数学辞典 第4版



世界的にも定評を得た前版を全面大改訂。科学の他領域や社会の諸問題など応用分野もカバー。数学を専攻する学生、研究者だけでなく、関係諸分野に携わる方にも必携の辞典。

日本国勢図会 日本統計年鑑 日本長期統計総覧



国土、人口、経済、社会、文化等広範な分野にわたるデータを総合的、体系的に収録した統計資料を掲載。毎年最新の年度版を追加。

文藝春秋 アーカイブズ



作家・菊池寛が創刊した国民的総合雑誌。随筆、創作作品だけでなく、昭和初期からは時事問題に関する記事も掲載。創刊号から28年間の全323冊を完全収録。全文検索が可能。

Web版 日本近代文学館「太陽」



日清戦争から昭和初期にわたる、近代日本研究に不可欠な博文館発行の総合雑誌。執筆も各界著名人を網羅。

2021年6月末日まで
長期トライアル実施中

販売総代理店: 紀伊國屋書店

弘前営業所 (TEL 0172-36-3755) 仙台営業所 (TEL 022-227-0301)

『教育と研究の未来』お問い合わせフォーム <https://mirai.kinokuniya.co.jp/contact/>

NEC

ともに奏で、ともに創る。
私たちの未来。



私たちは世界中の人びとと協奏しながら、
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

\Orchestrating a brighter world

NEC東北支社 〒980-6025 仙台市青葉区中央4-6-1 (SS30 25階) TEL:022-267-8760

快適な空間を創造・ご提案

※トータルプランニングから設計・施工迄

- ・経験豊富なスタッフが対応します。
- ・安心・安全・エコな商品を提供します。
- ・スピーディーな対応をいたします。



営業品目

木製家具・事務用家具・間仕切家具
内装工事(壁・床)・カーテン・ブラインド工事
看板サイン工事・アクリル・ステンレス加工
図書用品・家具リニューアル
建築工事一式・リフォーム工事(レイアウト変更)

取引メーカー

- ・(株)天童木工・カリモク家具(株)・ナゼロ(株)・(株)アダル
- ・(株)イトーキ・愛知(株)・コクヨ東北販売(株)・アイリスチトセ(株)
- ・(株)スミノエ・(株)川島織物セルコン・立川ブラインド工業(株)
- ・トーソー(株)・(株)品川アート・プロ



建設業 国土交通大臣許可(般30・第25354号)

大沼クリエーションサービス株式会社

<http://www.onuma-cs.co.jp/>



本社 〒990-2142 山形県山形市松山三丁目12番14号
TEL 023(642)1390 FAX 023(624)1392
仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目5番20号 2F
TEL 022(290)5461 FAX 022(290)5462

時代の半歩先を提案する OCS

かけがえのない図書・資料を守ります

日本ファイリングの カビ対策

貴重な資料に、カビの酵素が原因で紙の力が極端に落ちる「老け」や「シミ」が発生することがあります。カビは人体にとっても有害である上、条件さえ整えば瞬間に大量繁殖します。日本ファイリングは多数の実績に基づいた、被害の状況に応じた処置やカビ対策をご提供いたします。

3種のサービスを用意しています。発生してしまったカビの規模・程度に応じて最適なサービスをご提案いたします。

コストとカビ被害への対応を基にした提供サービスのイメージ



低コストで防カビ・防虫ができる無酸素パック

モルデナイベ

バリアフィルム内を無酸素状態にすることで、カビの発生を防ぎます。水損した図書に対しても、高い防カビ効果を上げた実績があります。



簡単確実に密封できます

現地で出来るクリーニングサービス

カビ除去サービス

発生状況を確認し、現地でカビを確実に不活化します。図書だけでなく書架等の周辺環境のクリーニングも承ります。



ウェットクリーニング

図書内部までの完全な殺カビ

殺カビサービス

カビが発生してしまった図書を専用チャンバーで真空引きし確実に殺カビします。処理済の図書はそのまま安全にご利用いただけます。

「殺カビ サービス」の特長

- 表面だけではなく、図書の内部まで殺カビ
- ビジネス文書、雑誌等にも対応可能
- 処理済の図書・資料はそのままの状態で使用可能

殺カビ サービス フロー

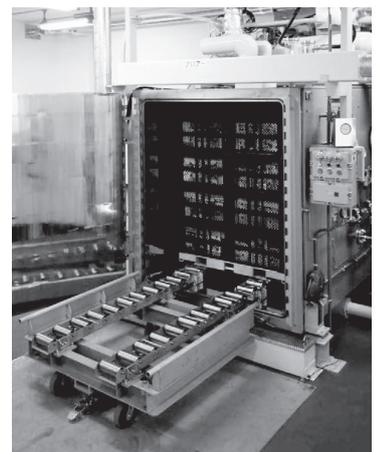
コンテナ引取り
(もしくは当社へ送品)



お預かりから再納品までは
最短で約2週間



処理済みコンテナを納品



当社の専用処理チャンバー

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

お申込み・
お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

☎ 0120-808-977 ※電話受付:月~金(土・日・祝日を除く)9:00~17:00

ISO14001 / ISO9001 認証取得企業

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

図書館の新設 改修・耐震工事 書架の増設時には

ナカバヤシの書籍移動

- ・図書館の新設、改築による旧図書館からの移転に伴う図書資料の移動
- ・図書館の改修、耐震工事による図書資料の移動
- ・書架の増設、レイアウト変更による図書資料の移動

資料の移動期間を生かして、様々なサービスも一括して行なうことができます

図書装備

資料の移動時に発生する装備の変更も合わせて行えます。

- ・バーコード貼付
- ・ICタグ貼付
- ・分類変更 など



修理製本・資料修復

劣化が激しい資料をお預かりして、資料の修理・修復を行い、新館での美しい資料提供をお手伝いします。



修復前



修復後

燻蒸

燻蒸とは、専用の薬剤により殺カビ・殺虫・殺卵することです。

現地または持ち帰りでの燻蒸作業をお客様のご要望に応じて行います。



図書クリーニング

ホコリ・カビのついたままの資料は新館での保存環境を著しく悪化させます。書庫内での作業のほか、お預かりしての作業も対応します。



保存用品

貴重資料・劣化資料の保存環境を整備する保存用品です。様々なサイズ・仕様を取り揃えています。



環境整備用品の設置

除湿機・地震対策用品など新図書館の館内環境整備にお役立ていただけるアイテムもご用意しています。



[お問い合わせは、最寄りの営業所までお気軽にお問合せください]



ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
 大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 TEL:06-6930-6668 FAX:06-6935-2667
 名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

札幌営業所 仙台営業所 横浜営業所 広島営業所 高松出張所

HP : <http://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL : toshokan@nakabayashi.co.jp

東北地区大学図書館協議会誌 第72号

令和3年5月

発行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
☎ (022) 795-5910
編集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
